

## 学 長 挨 拶

桐蔭横浜大学

学長 小 島 武 司

「学術交流レポート 2009」が刊行されて、学術活動などの進展が一覧できることになり、大変喜ばしく思います。

このレポート刊行の意義は極めて大きいと考えます。大学は、研究と教育を同時に推進していくところに、組織としての独自性があります。教育は、研究の裏打ちを得てこそ真の輝きをもち、若者の精神に鋭い刻印を与え、また深い感動をもたらすでしょう。自由な知的ピアツツアである大学においては、知的好奇心に富む柔軟な若い心に生じる素朴な疑問が端緒となって、時代を越える理論等が生み出されることも少なくないのです。大学において教育と研究が支え合って展開されることで、社会に対する大きな貢献が可能になるのだと思います。このことは、学問が大きく進歩し、その最先端が加速度的な伸びを示している今日についてとりわけ重要であり、その意義は一段と大きくなっているといえます。

何年か前のことですが、私はイタリアのボローニャ大学創立 900 年記念シンポジウムに招かれ、学術報告を行ったことがあります。世界最古の大学の足跡を聞きながら、教育と研究のコラボレーションの中に宿る可能性の大きさを感じることに入りました。

「学術交流レポート 2009」は、2009 年度の専任教員の学術研究活動を中心にまとめたものです。本学は、2008 年度よりスポーツ健康政策学部が発足したことから、法学、医用工学を併せて 3 つの方向に将来展開を進め、また、2 つの学術大学院と 1 つの専門職大学院（法科大学院）がその上に配置されております。こうした進展のなかで、本当の高等教育機関として総合的体制が固まりつつあるのではないかと自負しております。そこから生まれるところの学術研究活動の成果を社会に発信する本レポートが刊行されることで、幅広い交流の機会が生まれ、そのプロセスの中で、研究と教育の間のよき相乗作用が促進されることになれば、社会的意義は大なるものがあると感じております。

現在、本学において、地域社会と海外都市を結ぶデルタ型の多角的な仕組みを動かそうとする志が共有され、本学をいわばハブ組織として、研究と教育をグローバルに展開するエネルギーが盛り上がってきています。本レポートは、大学で一段と高い役割を果たしていくスプリングボードの一つとなるものと確信致します。

## 学術交流レポート2009 目次

■ 学長挨拶	1
■ 建学の精神	3
■ 大学組織図	4
■ 学部・学科概要	5～ 9
■ 研究科・専攻概要	10～ 11
■ 法学部	
法律学科	12～ 40
■ 医用工学部	
生命医工学科	41～ 56
臨床工学科	57～ 87
■ 工学部	
電子情報工学科	88～105
ロボット工学科	106～110
■ スポーツ健康政策学部	
スポーツ教育学科	111～126
スポーツテクノロジー学科	127～134
スポーツ健康政策学科	135～145
■ 工学研究科 医用工学専攻・情報・機械工学専攻	146～162
■ 法務研究科 法務専攻	163～175
■ 先端医用工学センター	176～178
■ 2009年度退職者	179～196
■ 公開講座・セミナー・シンポジウム・イベント等開催	197～207

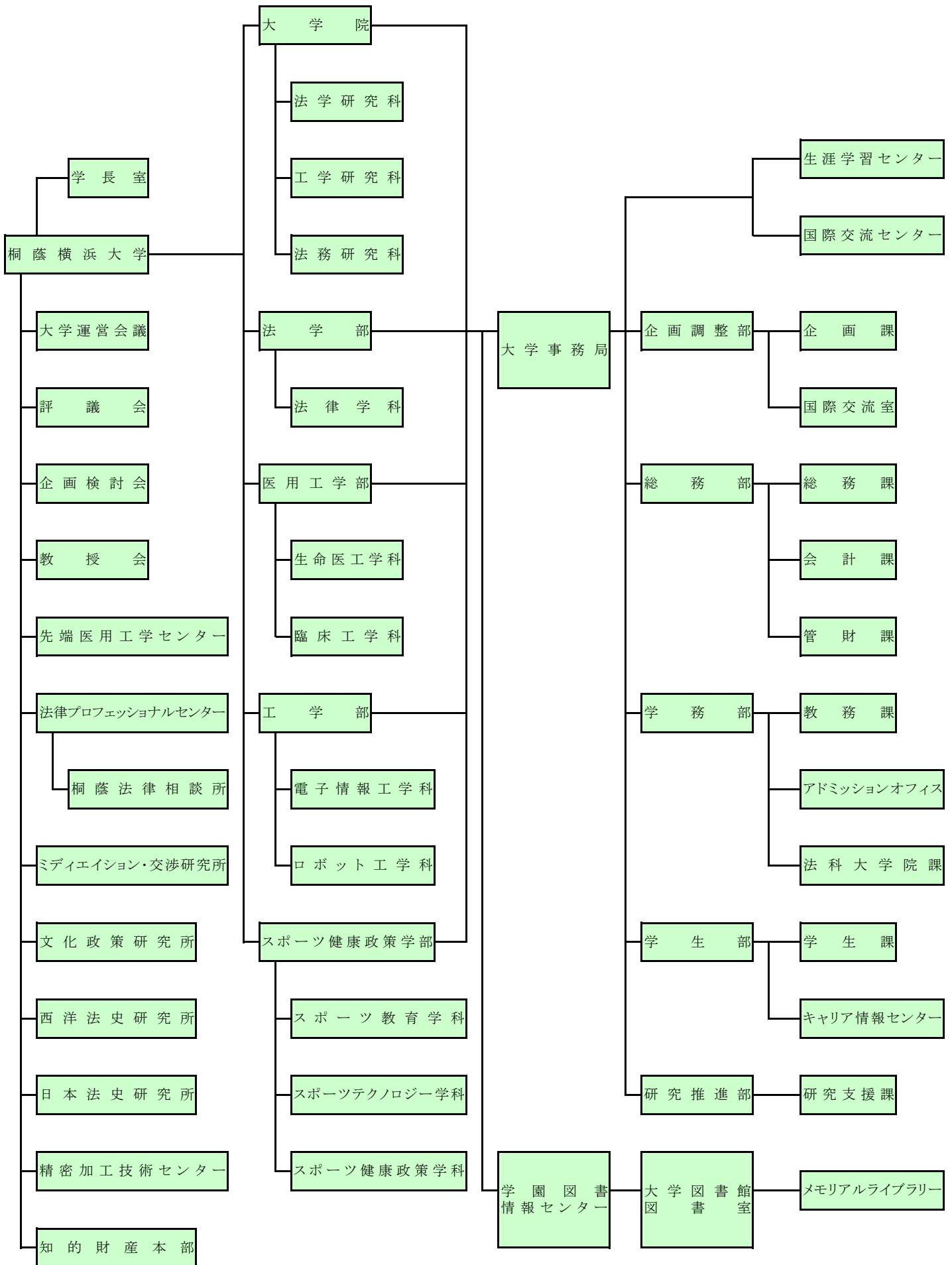
## 建学の精神

社会連帯を基調とした、義務を実行する自由人たれ。

学問に徹し、求学の精神の持主たれ。

道義の精神を高揚し、誇り高き人格者たれ。

国を愛し、民族を愛する国民たれ。



## 学部・学科概要

### 法学部 (Faculty of Law)

#### 法律学科 (Department of Law)

法学部は、1993年4月、複雑・多様化する社会に対応できる法律の専門家を育成する目的でスタートしました。

2004年4月からは法科大学院を設置し、法科大学院と連携して法学部の法学教育の充実をはかっています。

法学部が目指しているのは、法科大学院への進学も視野に入れて、比較法や司法政策などの知識を備えた「裁判官、検察官、弁護士」にふさわしい人材、外資系企業や国際機関で法的知識を駆使できる「国際法務者」、企業内の法的トラブルの解決策や防止策を考える「企業法務者」、主に登記や法律書面の作成にあたる「司法書士」や「行政書士」などの法律専門職、公務員や警察官、消防官など公共の分野で活躍する人材を養成することにあります。アメリカや中国のロースクールなど、海外留学にも重点的に取り組んでいます。

カリキュラムは、将来の目標に応じたコースを設け、法律の各分野(たとえば憲法、民法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法、商法、行政法、労働法、経済法など)の他に、新しい法律分野(たとえば知的財産権法、国際取引法、会社法務、電子商取引法など)の科目、加えて、多彩な教養科目、さらに英語を中心に外国語を豊富に用意して、柔軟に学習ができるようにさまざまな工夫を凝らしています。特にゼミナール中心の対話による授業が特徴です。

### 医用工学部 (Faculty of Biomedical Engineering)

近年、医学領域においては急速な技術革新が行われています。特に、遺伝子工学や医用材料工学の発展には目覚ましいものがあります。医用工学部は生命医工学科と臨床工学科の2学科からなり、「医学」と「工学」を融合したメディカル新時代を担う新しいタイプの学部です。

生命医工学科は、生命・環境システム工学科を募集停止とし、本年度新たに開設された学科です。生命工学の技術を基礎として、医用材料開発と再生工学技術を扱いながら工学(バイオエレクトロニクス)、医学・医療への貢献を目的としています。さらに、生命医工学科では、医療分野において医療方針を決定するための情報の収集を担当する医療国家資格である臨床検査技師国家試験受験資格を取得する為のカリキュラムを有しています。また、危険物取扱者、ME技術実力認定試験、放射線取扱主任者第1種・第2種、基本情報技術者などの合格を目指した指導も実施しています。

臨床工学科は医用工学を臨床領域へ展開し、医療器具などの開発研究を通して、現代医療の質の向上に貢献し得る人材教育を行うことにより、医療技術の発展に寄与することを目的としています。さらに、工学技術を担当する医療国家資格である臨床工学技士国家試験受験資格を取得するためのカリキュラムに加え、ME技術実力認定試験、放射線取扱主任者第1種・第2種、基本情報技術者、CAD利用技術者1級・2級、デジタル1種・2種などの合格を目指した指導を実施しています。

医用工学部では、毎年、桐蔭医用工学国際シンポジウムを開催し、世界でトップレベルの医用工学研究者を招待し、最先端の技術・研究に英語で接するとともに、学生自ら英語でのプレゼンテーションを行うことによりその英語力・国際感覚を養っています。また、アメリカ留学を奨励し、これからの国際化社会に対応できる学生の育成を積極的に進めています。

## 生命医工学科 (Department of Medical Technology)

生命医工学科では、生命工学の技術を基礎として、医用材料開発と再生工学技術を研究します。人材育成については、幅広い教養を備えた技術者・科学者の育成を目的として、数理学・物質科学の基礎教育を徹底し、生物工学諸分野、医用工学諸分野、医療系諸分野の専門的知識を教授し、基礎医学、臨床医学の体系を概観してもらいます。さらに、卒業研究、臨地実習を通じて専門知識の応用力と技術経営力を涵養し、医用材料・医薬品開発、食品・化粧品等製造業、医療機関、基礎医学研究機関等への卒業生の活路を開拓します。

これらの教育、研究を実践する場を提供するために生命医工学科では、そのカリキュラムに国家資格である臨床検査技師の受験資格を取得できる授業を盛り込んでいます。医療現場でチーム医療の中核をなす臨床検査技師の国家資格を取得することにより幅広い医療分野での学生の活躍を期待しています。

初年度から学生たちの医療に対するモチベーションを高めるために、実際の現場を知っておくことが大切と考え、積極的な関連学会への参加・検査センターへの見学など様々なイベントを企画しています。

## 臨床工学科 (Department of Clinical Engineering)

近年、医学領域においては急速な技術革新が行われています。特に、遺伝子工学や医用材料工学の発展には目覚ましいものがあります。また、NMR・X線CT・超音波診断装置をはじめとする画像診断機器や人工心肺、透析装置などのハイテク機器が医療の世界にもたらした貢献は絶大です。今後、医療現場におけるこのような医用工学機器や医用工学技術に期待される役割がますます重大なものになることは明らかです。

一方、病院等での医療現場では、これまでの医師、看護師中心の治療から、臨床工学技士等を含めたチーム医療が益々重要になってきております。

本学の臨床工学科は、臨床工学技士の養成を第一の使命とし、さらにこれまで培ってきた医用機器工学、医用材料工学、生化学、遺伝子工学などをベースとして、社会の要請に応えられる広い視野を有する医用工学の研究者・技術者等を育成することを目的とした学科です。

学科の教育では、医療国家資格である臨床工学技士国家試験受験資格（臨床工学技士法第14条第4号による）を取得する為のカリキュラムに加え、第1種・第2種ME技術実力検定試験（日本ME学会）の合格を目指した指導を実施しています。また、独創性のある研究者・技術者を育成するために、知識の詰め込みだけでなく、自ら現象を確認・分析し、その結果を次世代の医用工学へと発展させるためのアイデアを膨らませる能力の育成に力を注いでいます。また、国際的な視野とIT時代の技術者に必要な情報・通信技術のスキルを身につけさせるため、語学教育とコンピュータ教育も充実させています。

## 工学部 (Faculty of Engineering)

この21世紀は、20世紀に成長したIT、ロボット、環境の分野を総合的に結びつけ、直面するエネルギーや環境に関する課題を解決し、この世界で生きる全ての人類と生物、そして地球環境の永続的（持続可能な）発展と明るい未来をしっかりと築きあげる世紀であると言えます。

こうした明るい未来の実現に貢献できる人材の育成には、これまでの工学の分野の知識や技術だけでなく、エネルギーや環境に関するセンスが養われた本物のデザインや設計という、人間と広義の環境を中心にした分野の知識や専門性が、今までの文系の分野までを含めた新しい工学教育として必要になっています。

桐蔭横浜大学工学部は、こうした新しい教育の展開により明るい未来を築き、社会に貢献できる人材を育成します。これを実現する全く新しいカリキュラムは、高等学校で理系の科目を中心に学んできた生徒も、文系の科目を中心に学習してきた生徒も、それぞれの得意な科目で、専門の分野をゼロから学ぶことができる積極的で斬新な教育体系を目指しています。いわば、文系・理系の垣根のない工学部を目指しています。

## 電子情報工学科 (Department of Electronics and Information Engineering)

コンピュータ、インターネット、携帯電話、デジタル家電などの言葉で知られる電子情報関連の技術は、現代における社会生活、産業活動にとって不可欠なものになっています。いわゆるIT(情報技術)と呼ばれるこの分野は日進月歩の進歩・発展をしていますが、その一方で新聞などで話題になる様々な陰の部分と表裏一体になっていて、技術的にも社会的にも多くの問題の解決が必要になっています。

電子情報工学科では、このようなIT時代に対応できる技術者・研究者・教育者の養成を目指しています。カリキュラムは、ハードとしての電子工学とソフトとしての情報工学、それらを応用した通信関連の技術について、基礎から段階を追って系統的に修得できるように構成されています。講義、演習、実験、少人数のセミナー、プロジェクト研究、卒業研究など、いろいろな授業形態を通して主体的に学ぶことによって、いつの時代にも通用する実力を身に付けることができます。

また、技術だけの世界に閉じ込めることなく、現実の社会生活に適応できる社会人としての素養も身に付けられるような教育も実施しています。たとえば、情報倫理や知的財産権などにも関心を持てるようにする科目を用意し、情報技術者としての社会的義務・責任を理解して行動できるよう配慮しています。

電子情報工学科では、多様な経歴をもつ教員が協力して、大学4年間にどのような内容と手順で教育するのが学生にとって効果的か、ということについても研究を続け、研鑽を重ねています。卒業までに、学生一人ひとりを、一人の自立した社会人としてIT分野で活躍できる人材に育てることが目標です。

## ロボット工学科 (Department of Robotics & Bio-mechatronics)

これからの世界で私たちの生活を支えるのは、IT(情報技術)とRT(ロボット技術)だと言われています。このうち、ロボットとは、自動的に動く機械のことです。極端な言い方をすれば、電気洗濯機や自動ドアもロボットの一種です。これが言いすぎだというのであれば、電気洗濯機や自動ドアのように自動的に動く部分を持った機械にも、ロボット技術が生かされていると言うことはできると思います。

ロボットには、動く部分と動かす部分があるので、学科のカリキュラムではその両方について学びます。

〈 人の場合 〉 動く部分: 手足など

動かす部分: 脳、神経(本当はエネルギーも必要です)

〈 ロボットの場合 〉 動く部分: モータ、ギヤなど

動かす部分: コンピュータ(+プログラミング)、電気回路、センサ

ロボットについて学ぶために、私たちの学科では、実際に物に触れたり作ったりすることからスタートします。実物で体感したイメージに学問的な知識の肉付けをしていくことで、実社会でものをいう実力を養っていきます。また、学生と教員が互いに声を掛けやすいアットホームな雰囲気の中で、学生同士が協力し教え合う機会を通して、それぞれが人間的にも成長していく場を提供しています。

## スポーツ健康政策学部 (Faculty of Culture and Sport Policy)

桐蔭横浜大学では 2008 年 4 月、旧来の体育系・スポーツ学部とは異なる「文化スポーツ」というコンセプトを掲げた、全く新しいスポーツの学部を創設しました。今までスポーツは、勝ち負けを争う競技や健康増進のためのものと考えられてきました。しかし「マッスル(筋肉)ミュージカル」や「YOSAKOI ソーラン祭り」が文化でもありスポーツでもあるように、スポーツをもっと大きな無限の世界につながる扉だと考えてください。スポーツやさまざまな身体運動は、私たちのあらゆる感覚を刺激し、新しい表現やコミュニケーションを生み出します。そこから、福祉や教育、街づくりや国際関係など、現代社会が抱える諸問題を解決する糸口が生まれてくるのではないのでしょうか。

それゆえにスポーツ健康政策学部が育みたい人材は、プロ選手や体育教師にとどまりません。たとえばスポーツ行政に取り組む公務員、アスリートから高齢者・障害者まで応用できるスポーツ用品やトレーニング機器の技術開発者、からだを動かして豊かな心を育むことができる小学校教師や中・高保健体育教師、スポーツを通して国際交流を促進する NGO 職員、科学的な分析ができるスポーツトレーナーなど、実にさまざまです。

スポーツ経験者には、自分を表現する「積極性」と、チームプレーで身につく「他人を理解する力」という立派なベースがあります。そんな可能性にあふれた学生に、4 年間で「想像する力」「コミュニケーションする力」「つらくてもがんばる力」をつけ、これからの社会を変えるような人材を育成していきたいと思っています。自分が取り組んできたスポーツの可能性がどこまで広がるか、「文化スポーツ」の視点から私たちと一緒に考えていこうではありませんか。

## スポーツ教育学科 (Department of Sport Education)

この学科は、今日的な教育課題の解決に応えることができかつ的確で柔軟な指導法などを身に付けた学校教員や、生涯学習社会で活躍できるスポーツ指導者を養成することを目的としています。

基本的な生活習慣の乱れ、体力低下、いじめ、不登校などの教育課題、加えて教員の指導力不足など学校は多くの課題を抱えており、これらの解決が急務となっています。この学科では、単にスポーツや健康のみならず、広く学校教育について学べる履修科目やそれを専門的に教授できる教員を揃えていますので、教員として求められる資質・能力と指導力を十分に研いでいくことができます。この学科はスポーツ系学部では全国で初めて小学校1種免許を取得できるということでもユニークな存在です。子どもたちの心身を巡る課題の多くは、特に義務教育の初期の段階においてスポーツ教育などを充実することによりかなり解決できると考えています。

また、現在は生涯学習社会といわれていますが、中でもスポーツは人々の生活を豊かにする文化として重視されています。最近では生涯スポーツを継続的に実践している人々も増えています。当然、文化スポーツについて理解し、適切なスポーツ指導によって人々の生活をより豊かにする人材も社会から求められています。誰もが楽しくスポーツに親しめる社会の建設に向け、その指導者を養成していくこともこの学科の使命です。



## スポーツテクノロジー学科 (Department of Sport Technology)

本学科は、スポーツを理論、実践の両面から支援できる指導者や、スポーツエンジニアの養成を目指し、スポーツ科学や工学そして関連する領域の専門的知識とともに、科学的・総合的な識見や技能を持つ人材を養成することを目的とし、「スポーツトレーナーコース」と、「スポーツテクノロジーコース」の2コースで構成されています。

近年のスポーツ科学は、医学と工学と結びつき、飛躍的に進化を遂げました。「スポーツトレーナーコース」では最新のトレーニング理論やデータ分析方法を学び、その最前線を推し進めます。トレーニングに関する専門知識に加え、技術や戦術、心理やチームワークなどを学び、スポーツ界だけでなく、競技や表現を支えるからだづくりに広く貢献できる指導者やトレーナーを育成します。

また、スポーツ・トレーニング機器は、工学技術の応用によって発展し、アスリートの競技能力を向上させてきました。「スポーツテクノロジーコース」では、こうした機器の次のステージとして、アスリートに限らず、高齢者や障害者向けなど、広く社会への応用を探ります。身体機能に関する科学的知識と工学技術を兼ね備えた新しいスポーツエンジニアを育成します。

## スポーツ健康政策学科 (Department of Culture and Sport Policy)

スポーツ健康政策学科は、スポーツはもとより、儀礼や芸術表現などの身体運動や身体表現も含め、「からだを動かすこと」を通して、仕事や生きかたの可能性を柔軟かつ大胆に広げていくことを目指す、これまでにない新たな領域を追究する学科です。

スポーツは未だに勝敗や記録を求める競技・競争という狭いイメージから脱し切れいていません。しかしスポーツや身体運動、身体表現などは、個々人が健康なからだをつくるにも、活力ある地域社会を育むにも、異文化社会で言葉を超えたコミュニケーションをはかつて交流していくにも、ますます不可欠のファクターとなりつつあります。

そのため、スポーツ健康政策学科では、政治や行政、日本をはじめとする多様な文化・社会に関する知識、外国語コミュニケーション力(英語、中国語、韓国語)を身につけ、それらを基礎として、文化スポーツを手がかりに街づくりや地域振興をはかる行政スタッフ、文化スポーツによる国際交流や国際協力を推進する人材、スポーツや身体運動などの楽しさや大切さを的確かつ魅力的に伝えられるジャーナリスト等の育成をはかります。

主に国内をフィールドに仕事を展開していくことを目指す「健康政策コース」と、国際的なフィールドを視野に入れる「国際交流政策コース」の2つのコースがあります。

学術的な知見が、現実社会における具体的なことがらとどのように関わっているかを、体験を通して「全体的知識」として体得できるよう、サービス・ラーニングや国際コミュニケーション実習など、実習を充実させ、座学と実習を有機的に結びつけるカリキュラムとなっています。

## 研究科・専攻概要

### 法学研究科 (Graduate School of Law)

#### 修士課程法律学専攻

大学院法学研究科は、法律学専攻のみを設置し、すべての法分野について、広く国際的な視野に立った深度ある教育と研究を行うことを目的としています。したがって、細分化された専攻の枠を超えて、主体的に任意の授業科目を選択することができます。法律学専攻の中に、相互の関連性の高い授業科目を系統的に配置して、公法学、刑事法学、民事法学、基礎法・比較法学の4つの研究分野を設置。それぞれの研究分野ごとに、国内の研究機関はもとより、海外の大学等との連携強化により、教育と研究の可能性は大きく広がっています。

#### 博士後期課程法律学専攻

博士後期課程は、既設の大学院法学研究科修士課程における法学研究教育を基礎とし、かつ、それに接続して、日本の将来の法律学および法実務のより高度な発展を支えることができる研究者および高度の専門的職業人を養成します。特に、比較法的方法を体得し、外国法や国際関係法に精通し、高度の専門的実務に従事する資質を備えた人材を養成します。

### 工学研究科 (Graduate School of Engineering)

#### 修士課程医用工学専攻

医用工学専攻では、医用工学ならびに生命・環境工学の分野において新たな研究を提案し、実践する研究者、技術者の養成を目的とします。医療に貢献する理工学技術の開発、健康管理にかかわる生態環境、化学環境、生活環境の問題の科学的な解明と処理、環境改善にかかわる新技術の開発などを扱う専門家の育成を目指しています。

研究分野は下記の通りです。

1. 医用工学研究分野
2. 生態環境工学研究分野
3. 遺伝子工学研究分野
4. 生体機能分子工学研究分野

#### 修士課程情報・機械工学専攻

情報・機械工学専攻の研究分野は大きく二つに分けられますが、ひとつは情報とそれを扱う人間との間のインターフェイスに関する研究であり、他はわれわれの生活の様々な局面で利用されようとしている各種機械の機能化さらには知能化に関する研究です。これらの研究において独自の技術を扱う専門家の育成を目指しています。

研究分野は下記の通りです。

1. 応用情報工学研究分野
2. 知能機械工学研究分野

## 博士後期課程医用工学専攻

本専攻は、新たな研究の視点を持った医用工学ならびに環境工学の研究者の育成、医工学の技術開発に貢献する専門家の養成を目的とします。

医用工学においては、医用材料と医療用診断装置の開発、理化学的治療技術の開発、そして罹病以前の健康管理にかかわる科学的研究、特に健康維持に対して生態環境、化学環境、生活環境が絡む問題の科学的解明などを課題とします。

研究分野は下記の通りです。

- 1.医用工学研究分野
- 2.生態環境工学研究分野
- 3.遺伝子工学研究分野
- 4.生体機能分子工学研究分野
- 5.ナノテクノロジーおよびエネルギー工学研究分野

## 法務研究科法務専攻（法科大学院）（Law School）

2004年4月から法科大学院を設置し、法律実務家の養成に力を入れています。

それまでは、法学部法律学科を卒業した学生が司法試験を受け、合格した者だけが司法研修所に入って実務家になるための訓練を受けていたのですが、それでは今日の社会の需要に追いつけないということから、大学院の中に法律の理論のみならず、法律実務を教える法務研究科を設けることになったのです。これが、法科大学院（いわゆる Law School）です。ここでは、教員として裁判官、検事、弁護士など相当数の実務経験者を擁し、実際の実例を通して、社会に生起する現実の問題をどのように適切に処理するかを学びます。そのためには、単なる法的理論や基礎理論だけではなく、高い見識と広い視野に支えられたリーガル・マインドの涵養も必要とされます。

この Law School を卒業した者は、多くは新たな司法試験を受けて裁判官、検事、弁護士などの法律家になることが期待されていますが、各企業の法務部や国その他の公共団体の職員、更には司法書士など法律関係の他の部署で働くことも期待されており、今後この分野の発展は、大学のみならず社会全体にとって、非常に重要な部門になると思われまます。

法学部 (Faculty of Law)

法律学科 (Department of Law)

**内ヶ崎 善 英 (うちがさき よしひで) 教授**

---



出 生 年 : 1958 年  
在 籍 : 1993 年 4 月～  
最 終 学 歴 : 中央大学大学院法学研究科博士後期課程  
学 位 : 法学修士(中央大学)、Master of Laws (N.Y.U)  
学 位 論 文 : 勧告的意見の機能について  
専 門 分 野 : 国際法  
前 職 : 日本学術振興会特別研究員  
留 学 : New York University, School of Law  
非 常 勤 講 師 : 中央大学法学部  
学 会 : 国際法学会、世界法学会

**その他**

---

**○補助金・助成金等**

科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究代表者

「国際司法裁判所における証明責任法理及び証拠法の研究」(2007年-2009年)

**鹿児嶋 繁 雄 (かごしま しげお) 教授**

---



出 生 年 : 1950 年  
在 籍 : 1993 年 4 月～  
最 終 学 歴 : 立教大学大学院文学研究科  
学 位 : 文学修士  
学 位 論 文 : ゴート語の現在分詞について  
専 門 分 野 : ゲルマン語学  
前 職 : 成蹊大学工学部非常勤講師  
非 常 勤 講 師 : 中央大学法学部  
学 会 : 日本独文学会

**論文掲載**

---

「ゲルマン語における子音省略について(1)」

(単著) 桐蔭論叢 第21号 77-82頁

2009年12月15日

## 笠原 毅彦 (かさはら たけひこ) 教授

---



出生年 : 1957 年  
在籍 : 1993 年 4 月～  
最終学歴 : 慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程満期退学  
学位 : 法学修士(慶應義塾大学)  
学位論文 : 法判断権の所在  
専門分野 : 民事法、法情報学  
前職 : 常磐大学短期大学部講師  
留学 : ドイツ連邦共和国ザールラント大学(1984～1986 , 1994～1995)  
学会 : 日本私法学会、比較法学会、慶應法学会、民事訴訟法学会、法とコンピュータ学会、日本経営実務法学会、情報ネットワーク法学会  
社会的活動 : 手続法研究所(慶應)理事、私立大学情報教育協会法律学教育 FDIIT 活用研究委員会委員、同協会、産官学連携サイバーユニバーシティ構想推進会議委員、情報ネットワーク法学会理事・サイバーコート研究会主査、総務省戦略的情報通信研究開発推進制度専門評価委員

## 加藤 幸嗣 (かとう こうじ) 教授

---



出生年 : 1953 年  
在籍 : 2004 年 10 月～  
最終学歴 : 東京大学法学部  
学位 : 法学士  
専門分野 : 行政法、地方自治法、環境法  
前職 : 参議院法制局参事、山口大学助教授、国士舘大学教授等  
学会 : 日本公法学会、日本行政学会、自治体学会、日本環境学会



出生年 : 1960 年  
在籍 : 1993 年 4 月～  
最終学歴 : 京都大学法学部博士後期課程  
学位 : 法学修士  
学位論文 : アメリカにおける被害者の権利運動  
専門分野 : 法社会学  
前職 : 京都大学法学部助手  
留学 : パリ第 2 大学博士課程  
非常勤講師 : 一橋大学法学部・法科大学院  
学会 : 日本法社会学会、日本法哲学学会、日本犯罪社会学会、  
日本被害者学会、比較法史学会  
社会的活動 : 法務省矯正局「矯正処遇に関する政策研究会」委員、日本  
法社会学会理事、日本犯罪社会学会常任理事、横浜刑務  
所視察委員会委員長、警察大学校嘱託教員、特定非営利  
法人文化創造理事長  
受賞・表彰 : 第六回日本法社会学会奨励賞

---

## 著書出版

### 『日本の殺人』

(単著) ちくま新書 270 頁  
2009 年 6 月 10 日

### 『終身刑の死角』

(単著) 洋泉社 190 頁  
2009 年 9 月 21 日

---

## 論文掲載

### 「公訴時効廃止は被害者のためになるのか」

(単著)『世界』2009 年 10 月号 no.796 岩波書店 57～65 頁  
2009 年 9 月 8 日

### 「証拠収集の容易化と訴訟社会 -タブーの消滅とIT社会の到来を生きる-」

(単著)『小島武司先生古希祝賀<続>権利実効化のための法政策と司法改革』1013～1024 頁  
2009 年 9 月 30 日

### 「周りの力で更生に成功 日本における非行少年を諸外国と比較して」

(単著)『世界の児童と母性 特集:少年法改正と子どもの未来』VOL.67 2009 年 10 月号 50～53 頁  
2009 年 10 月 1 日

### 「治安の法社会学から見た都市・地域の将来像」

(単著)『都市計画』282 Vol.58/No.6 日本都市計画学会 23～26 頁  
2009 年 12 月 25 日

「刑事司法の大転換 ―企画趣旨説明」

(単著)『刑事司法の大転換 法社会学第 72 号』日本法社会学会編 有斐閣 1～5 頁  
2010 年 3 月 16 日

#### **学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演**

---

「刑事司法の大転換 ―企画趣旨説明」

2009 年度日本法社会学会 明治大学  
2009 年 5 月 10 日

「ミニシンポジウム⑥:市民の司法参加の歩み―検察審査会から裁判員制度へ―」

2009 年度日本法社会学会 明治大学  
2009 年 5 月 9 日

「訴訟が活発な業界と企業があるのか」

2009 年度日本法社会学会 明治大学  
2009 年 5 月 10 日

「底辺社会とマイノリティーの研究」

一橋大学地域社会研究会 一橋大学マーキュリータワー3406 室  
2009 年 10 月 28 日

「終身刑について―無期刑囚のデータに基づく議論と社会秩序の象徴としての刑罰論」

第 98 回東京犯罪社会学研究会 国学院大学若木タワー5 階 509 号教室  
2010 年 2 月 17 日

#### **講演会・研修会・セミナー講師**

---

「非行少年の実態と少年達の環境 ～変化したのは何か～」

神奈川県公立中学校長会総会講演 川崎市教職員互助会館とどろき  
2009 年 2 月 26 日

「政策研究課題:基調講義・全体討議「治安・犯罪対策」」

平成 21 年度初任行政研修 人事院公務員研修所  
2009 年 6 月 1 日、5 日

「治安の現状と地域社会」

神奈川県安全防災局安全・安心まちづくり推進課主催「平成 21 年度安全・安心まちづくり公開講座(リーダー養成講座)」(かながわ県民センター)  
2009 年 9 月 9 日

「裁判員制度の意義」

平成 20 年度 川崎市教育委員会 幸市民館 平和・人権学習「裁判員制度を考える」  
2009 年 10 月 23 日

## その他

---

### ○雑誌・新聞記事掲載

(2007年度未掲載分 1件)

「真実がわからない『取り残され感』が格段に良くなった社会で不安を生む」

『人間会議』90-95頁

2007年12月5日

「当事者は民事裁判に何を求めるのか？ 訴訟行動調査と実務の対話PART I (上)」

(共著:河合幹雄、守屋明、垣内秀介、前田智彦、永石一郎、須藤典明、加藤新太郎)

『判例タイムス』第60巻第9号 通巻1289号 5-27頁

2009年4月15日

「国民自らが「社会」をつくる意識を」

『Liberty』2009年5月号 Number170 55-57頁

2009年5月1日

「実施迫る！裁判員制度 賛成派:国民が主体的に行動する社会に」

上智新聞 3面

2009年5月1日

「国民の意識改革に有効」

東京新聞

2009年5月26日

「更生に十分配慮」

毎日新聞岡山版 21頁

2009年6月18日

「BOOK HUNTING 村上春樹1Q84「世界のヒズミ」はいつ始まったのか」

『フォーサイト』2009年8月号 55頁

2009年7月18日

「死刑と無期の境 下 終身刑 絶望という死角」

朝日新聞 2010年2月18日

2010年2月18日

「特別インタビュー 気鋭の法社会学者・河合幹雄、「津山三十人殺し」と21世紀の殺人を語る 取材・構成 マーダー・ウォッチャー編集部」

『実録 殺人事件がわかる本』2010 Spring 洋泉社MOOK 72-81頁

2010年3月8日

「ニュース追跡 児童殺害予告で少年聴取いわき 書き込み 薄い罪悪感「ネット炎上」の被害誘発 い  
たずら心犯罪に」

河北新報 2010年3月17日

2010年3月17日



## ○その他特記事項

「日本の治安は大丈夫か? 河合幹雄 x 宮崎哲弥」

朝日ニュースター

2009年7月24日

---

## 小島武司(こじま たけし) 教授

---



出生年 : 1936年  
在籍 : 2006年9月～  
最終学歴 : 中央大学大学院法学研究科  
学位 : 法学博士(中央大学)  
学位論文 : 訴訟改革の理論等  
専門分野 : 民事訴訟法、仲裁法、弁護士法  
前職 : 中央大学法学部教授、中央大学法科大学院教授  
現職 : 桐蔭横浜大学学長  
留学 : ミシガン大学ロースクール(アメリカ)、フィレンツェ大学(イタリア)、ケルン大学(ドイツ)  
客員教授 : フランクフルト大学客員教授(ドイツ)、エクスマルセイユ大学客員教授(フランス)、コロンビア大学ロースクール(アメリカ・ADRセミナー担当)等  
資格 : 法曹資格  
司法試験合格(1958年)後に司法修習(最高裁判所司法研修所)  
学会 : 民事訴訟法学会(元理事長)、仲裁ADR法学会(前理事長)、司法アクセス学会(会長)  
社会的活動 : 独立行政法人司法支援センター審査委員会(委員長)  
法務省、文部科学省、経済産業省の各審議会(元専門委員)

---

## 著書出版

『基本講義民事訴訟法〔新装補訂版〕』

(共著:小島武司、小林学) 信山社

2009年5月

---

## 論文掲載

「日本における権利保護保険制度の誕生と成長—中間層の人々に法の光を」

(共著:小島武司、韓寧) 2009年東アジア国際民事訴訟法学会論文集

広東商学院発行 12-22頁

2009年12月20日

---

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

「日本の民事訴訟代理制度」

(小島武司、小林学) 第4回東北アジア民事訴訟法国際学会シンポジウム(於、韓国ソウル延世大学)

2009年10月23日

## 「コメント」

桐蔭横浜大学メディアエイション交渉研究所主催、特別公開研究会(桐蔭横浜大学)  
2009年12月12日

## その他

### ○海外出張

2009年10月22日～25日  
第4回東北アジア民事訴訟法国際学会シンポジウム(韓国ソウル・延世大学)

### ○雑誌・新聞記事掲載

「【学長インタビュー】桐蔭横浜大学イコール・パートナーシップを中軸に真のチームプレーヤーを育てる」  
文部科学教育通信 218号、4-9頁  
2009年4月

## 鈴木直志(すずき ただし) 教授



出生年 : 1967年  
在籍 : 1997年4月～  
最終学歴 : 中央大学大学院文学研究科博士後期課程  
学位 : 文学修士  
学位論文 : プロイセン絶対王政における将校団について  
専門分野 : ドイツ近世史・近代史、ヨーロッパ軍隊社会史  
前職 : 大妻女子大学社会情報学部非常勤講師  
留学 : ドイツ連邦共和国ヴュルツブルク大学  
非常勤講師 : 中央大学文学部  
学会 : 日本西洋史学会、歴史学研究会、法文化学会、戦略研究学会  
受賞・表彰 : 戦略研究学会研究奨励賞(小野賞)受賞(2006年)

## 著書出版

「『教養ある将校』と『気高い兵士』 — 一八世紀後半のドイツにおける軍隊の自己改革運動」  
(共著: 鈴木直志 阪口修平・丸嶋宏太編著)  
『近代ヨーロッパの探求⑫軍隊』145-186頁 ミネルヴァ書房  
2009年6月30日

## 論文掲載

(2006年度未掲載分 1件)  
「平和なき近世 — ヨーロッパの恒常的戦争状態に関する試論(下)」  
(著者: ヨハネス・ブルクハルト、訳: 鈴木直志) 『桐蔭法学』第13巻 第1号、91-146頁  
2006年7月25日

「ベローナが解き放たれる時 — 啓蒙期ヨーロッパの戦争論と平和論」  
(単著) 『史林』第93巻第1号、71-97頁  
2010年1月

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「ペローナが解き放たれる時－近代転換期ヨーロッパの戦争論」

2009年度史学研究会例会(京都大学文学部)

2009年4月18日

## 鈴木 達次 (すずき たつじ) 教授

---



出生年 : 1964年  
在籍 : 2002年4月～  
最終学歴 : 慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得  
学位 : 法学修士  
専門分野 : 商法  
前職 : 愛媛大学法文学部助教授  
学 会 : 日本私法学会、保険学会

## 論文掲載

---

「失念株と株主の権利」

(単著) 法学研究 82巻12号 403-435頁

2009年12月

## 竹内 明世 (たけうち あきよ) 教授

---



出生年 : 1969年  
在籍 : 1998年4月～  
最終学歴 : 中央大学大学院法学研究科博士後期課程  
学位 : 法学修士  
学位論文 : 金融機関の決済システムとその法的諸問題  
専門分野 : 商法、銀行取引法、民法  
学 会 : 日本私法学会、金融法学会、日本交通法学会、  
法文化学会、科学技術社会論学会、臨床法学教育学会

## その他

---

### ○雑誌・新聞記事掲載

模擬裁判劇『「ハーバーライト」殺人未遂被告事件』

東京新聞神奈川版

2009年5月24日

## 竹村典良（たけむら のりよし）教授

---



出生年 : 1957 年  
在籍 : 1993 年 4 月～  
最終学歴 : 中央大学大学院法学研究科刑事法専攻博士後期課程  
学位 : 法学修士  
学位論文 : 刑事学的コープテーションの動因・諸相・帰趨(中央大学)  
専門分野 : 刑事政策、犯罪学、被害者学、刑事法  
前職 : 中央大学法学部兼任講師  
留学 : チュービンゲン大学(ドイツ)(2002 年 8 月～2003 年 3 月)  
学会 : Société Internationale de Criminologie、European Society of Criminology、American Society of Criminology、Australian and New Zealand Society of Criminology、Academy of Criminal Justice Sciences. 日本刑法学会、日本犯罪社会学会、日本被害者学会  
社会的活動 : Twelfth United Nations Congress on the Prevention of Crime and Criminal Justice, 12-19 April 2010, Salvador, Brazil, Individual Expert invited by United Nations、Eleventh United Nations Congress on the Prevention of Crime and Criminal Justice, 18-25 April 2005, Bangkok, Thailand, Individual Observer invited by United Nations、Tenth United Nations Congress on the Prevention of Crime and the Treatment of Offenders, Vienna, 10-17 April 2000, Individual Expert Observer invited by United Nations、Editorial Board Member of Asian Journal of Criminology、都市生活に関する調査研究会委員(東京都企画審議室)(1994 年 4 月～1995 年 3 月)  
受賞・表彰 : 第3回菊田クリミノジー賞(2002 年 1 月)

### 著書出版

---

“Global Environmental Harm: Criminological perspectives”

(Noriyoshi Takemura, Rob White, et al.) Willan Publishing, March, 2010

2010 年 3 月

『八木國之博士追悼論文集・刑事法学の新展開』

(共著: 竹村典良、原口伸夫ほか)

酒井書店 304-292 頁

(Criticality of Complex System: Nuclear Power Plant, Earthquake and Environment～Are nuclear power plants on earthquake-prone islands ‘safe panacea’ or ‘catastrophe’?～)

2009 年 7 月

### 論文掲載

---

“Factitious Castastrophe, Global Warning, and Chaos/ Complexity Green Criminology/ Justice  
～Tug-of-war: environmental ‘injustice’ vs. ‘green social justice’ 1～”

Research Bulletin (Toin University of Yokohama) No.21, pp.83-93, 15 December, 2009.

2009 年 12 月 15 日

“Hazardous Waste Trafficking, Human Right to Clean Environment and Environmental Social Justice  
～Tug-of-war: environmental ‘injustice’ vs. ‘green social justice’ 2～”

Research Bulletin No.21, pp.95-105, 15 December, 2009.

2009年12月15日

#### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(Session Presentation)

“Spreading Environmental/Ecological ‘Injustice’ and Struggle for ‘Complexity Green Justice’”

Stockholm Criminology Symposium 2009, Stockholm University, Stockholm, Sweden, 22-24 June, 2009.

2009年6月

“Water Crisis, Environmental Crimes and Complexity Green Criminology”

9<sup>th</sup> Annual Conference of European Society of Criminology, Ljubljana University, Ljubljana, Slovenia,  
9-12 September, 2009.

2009年9月

“Global Water Crisis, Privatization and Complexity Green Criminology: Struggle for ‘green social justice’”

American Society of Criminology 61<sup>st</sup> Annual Meeting, Philadelphia, PA, United States of America, 4-7  
November, 2009.

2009年11月

#### その他

---

##### ○補助金・助成金等

科学研究費補助金基盤研究C(研究代表者)

「地球環境危機における複雑系グリーン犯罪学に関する研究」

2008年4月～2012年3月

##### ○海外出張

2009年6月22日～24日

Stockholm Criminology Symposium 2009, Stockholm University, Stockholm, Sweden

2009年9月9日～12日

9<sup>th</sup> Annual Conference of European Society of Criminology, Ljubljana University, Ljubljana, Slovenia

2009年11月4日～7日

American Society of Criminology 61<sup>st</sup> Annual Meeting, Philadelphia, PA, United States of America

## 原 千砂子 (はら ちさこ) 教授

---



出生年 : 1955 年  
在籍 : 1993 年 4 月～  
最終学歴 : 国際基督教大学大学院比較文化研究科博士後期課程  
学位 : 法学修士  
専門分野 : 政治思想史  
前職 : 長崎大学商科短期大学部助教授  
学会 : アメリカ学会、日本政治学会、政治思想学会、初期アメリカ学会

### 著書出版

---

アラン・カハーン「分析装置としてのアリストクラシー」

(翻訳:原千砂子/松本礼二他編) 『トクヴィルとデモクラシーの現在』

東京大学出版会 169～204 頁

2009 年 6 月

## ペマ・ギャルポ (ペマ・ぎやるぽ) 教授

---



出生年 : 1953 年  
在籍 : 2004 年 1 月～  
最終学歴 : モンゴル国立大学  
学位 : 政治学博士  
学位論文 : 中国とチベットの国際関係  
専門分野 : 国際政治  
前職 : ダライ・ラマ法王アジア・太平洋地区担当初代代表(1980～1990)  
岐阜女子大学 客員教授(1990～1996)  
岐阜女子大学 教授 (1996～2004.3)  
拓殖大学海外事情研究所客員教授 (1997～ )  
拓殖大学海外事情研究所研究員・講師 (1982～1997)  
現職 : チベット文化研究所名誉所長  
岐阜女子大学名誉教授  
学会 : アジア政経学会、国際政治学会、南アジア学会チベット学会、国際コミュニケーション学会  
社会的活動 : NPO法人チベット教育福祉基金理事長、(社)国際青年文化交流協会 理事、(財)OISCA顧問・講師団 副団長、日印親善協会理事など、約 20 団体に役職  
受賞・表彰 : 1995 年 11 月 第 32 回翻訳出版文化賞  
1998 年 2 月 ベストチューター賞  
2009 年 7 月 モンゴル国友好勲章受章

## 著書出版

---

『迷走 日本外交に物申す！ 暴走する中国を止められるのか』

(単著) 北星堂

2009年7月10日

『愛を祝う』

(著者:シュリシュリ・ラヴィ・シャンカール 監訳:ペマ・ギャルポ) あ・うん出版

2009年10月

## 論文掲載

---

「チベット文化と伝統の崩壊を憂う」

(単著) アジア文化研究学会 アジア文化フォーラム抄録集「展望のアジア」第1号 7-20頁

2009年7月20日

「チベット問題の根底にあるもの」

(共著者:ペマ・ギャルポほか)

(有)地人館 桐ヶ谷寺法話録 204-226頁

2009年7月27日

「ダライ・ラマ 心の宝石」

(単著) 東京書籍 110頁

2009年9月14日

## 講演会・研修会・セミナー講師

---

「暴走する中国、迷走する日本」

国防協会(市ヶ谷グランドパレス)

2009年5月15日

タシ塾

2009年5月21日

「チベット問題から日本は何を学ぶか」

CRS 研究会(OSA 電気ビル会議室)

2009年5月22日

「迷走する日本外交」

マスコミ研究フォーラム(青山)

2009年7月14日

「北京五輪後のチベット」

拓殖大学公開講座

2009年7月18日

西南ロータリークラブ スピーチ(ホテルニューオータニ)

2009年8月4日

「迷走する日本外交」

倫理法人会(ラフォーラル千住閣)

2009年8月6日

「現代の国際情勢」

マスコミ研究会

2009年8月19日

「チベット問題から日本が学ぶべきことーアジアにおける日本の役割ー」

国民文化研究会(七沢自然ふれあいセンター)

2009年8月21日

よこはま開講塾「東洋と横浜Ⅰーインドと横浜」

司会進行(桐蔭横浜大学)

2009年9月12日

「チベット文化とダライ・ラマ法王」

ロータリークラブ東京北(ホテルニューオータニ)

2009年9月25日

「迷走する日本外交」

護王神社(京都ガーデンパレス)

2009年9月27日

「チベット文化とダライ・ラマ法王」

ロータリークラブ東京東(帝国ホテル)

2009年9月29日

「アジアの時代」

オイスカ中部日本研修センター(明治用水会館)(碧南商工会議所)

2009年10月3日・4日

「生と死について」

高德寺 法話(高德寺)

2009年10月10日

「交渉学について」

桐蔭横浜大学学生向け講演会

2009年10月31日

「おかげさまのころ」

まほろば会(仙台市民ホール)

2009年11月22日

「チベット文化の魅力」

千葉県高等教育研究会(千葉県総合教育センター)

2009年12月1日



「北京オリンピック後のチベット情勢」

岐阜農林高校  
2009年12月2日

「地政学的見地から見たインド」

防衛省情報本部  
2009年12月7日

「野菜王国岩手町とブータンのGNHにみる国民総幸福度」

岩手県岩手町  
2010年2月3日

「日本の現状とアジアの将来」

全日本学生文化会議(京都ユースホテル)  
2010年3月17日

「宗教と人権」

宗教新聞社(スクワール麴町)  
2010年3月19日

「鳩山内閣六ヶ月の批評」

横浜有志の会(横浜市民センター)  
2010年3月20日

**その他**

---

**○海外出張**

首相訪日事前協議とブータン教育事情調査研究(ブータン王国)  
2009年4月29日～5月3日

経済教育視察研究(モンゴル国)  
2009年5月4日～6日

政情調査(ブータン王国)  
2009年10月19日～24日

**○雑誌・新聞記事掲載**

「中国建国60年、天安門20年目の憂鬱」  
月刊Will 5月号 226-239頁  
2009年5月

修養団機関誌 月刊「向上」エッセイ連載  
2009年4月号～2010年3月号

世界日報コラム「ビューポイント」

「政治家と企業年金を考える」2009年4月1日

「チベットで拷問される親族」2009年5月4日

「インド総選挙の成功に思う」2009年6月4日

「天安門事件 20年の軽い人権」2009年7月6日

「国が発展する明確な目標を」2009年8月12日

「田中元外相発言に抗議する」2009年9月1日

「人権無き中国 60年を悲しむ」2009年10月13日

「日・ブータン関係への期待」2009年11月16日

「新政権 3ヶ月に懸念する点」2009年12月2日

「天皇陛下の政治利用に怒る」2010年1月6日

「期待薄い中・チベット対話」2010年2月9日

「国家軽視で国運傾いた日本」2010年3月4日

川喜田二郎先生追悼文 掲載 週間新潮 7月22日号  
2009年7月

雑誌 WEDGE 7月号 「中国南進の脅威を直視せよ」  
2009年7月

「宗教人こそ勇気を持って行動すべし」

世界連邦日本仏教徒協議会会報「世連仏」夏季号 寄稿 24-25頁  
2009年7月

「暴走する中国と迷走する日本」

(財)日本国防協会「安全保障」8月盛夏号 25-44頁  
2009年8月

「世界の屋根から島国日本へ」

(財)都市計画協会 8月号 6-7頁  
2009年8月

## 升 信 夫 (ます のぶお) 教授

---



出 生 年 : 1958 年  
在 籍 : 1997 年 4 月～  
最 終 学 歴 : 東京大学大学院法学政治学研究科博士課程  
学 位 : 法学博士  
学 位 論 文 : J. S. ミルの自由主義思想  
専 門 分 野 : 欧州政治思想史  
前 職 : 立教大学文学部非常勤講師  
留 学 : ドイツ・チュービンゲン大学(2000 年 9 月～2001 年 3 月)  
学 会 : 日本政治学会

### 論文掲載

---

「CSR、ソーシャル・エンタープライズについて考える」

(単著) 桐蔭論叢 第 21 号 55-61 頁

2009 年 12 月 15 日

## 村 上 秀 明 (むらかみ ひであき) 教授

---



出 生 年 : 1951 年  
在 籍 : 1993 年 4 月～  
最 終 学 歴 : 筑波大学大学院体育科学研究科運動生化学専攻修了  
学 位 : 体育学修士、農学修士  
学 位 論 文 : 運動誘発性喘息(EIA)の成因について  
—chemical mediator を中心として—(体育学)  
光合成細菌の肥料化について(農学)  
専 門 分 野 : 公衆衛生学、健康科学、生理学、体育学  
前 職 : 東京工業大学工学部助手  
国立身体障害者リハビリテーション研究所研究員  
国立小児病院アレルギー科研究員  
学 会 : 日本体力医学会、日本学校保健学会、日本体育学会、日  
本生理学会、日本運動生理学会、日本公衆衛生学会、ア  
ジア障害者体育・スポーツ学会、日本陸上競技学会、日本  
ゴルフ学会、日本発育発達学会

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「高齢者における気功呼吸法実践者の末梢循環応答」

第 64 回日本体力医学会(新潟市朱鷺メッセ)

2009 年 9 月 20 日

「理工系大学におけるスポーツ実技・気功呼吸法の成果と課題」

第 11 回日本養生学会(東京女子大学)

2010 年 3 月 23 日

## 講演会・研修会・セミナー講師

---

(2008年度 未掲載分 1件)

「内部疾患と処方(免疫を中心として)」

学院集中セミナー(国立障害者リハビリテーションセンター)

2009年3月14日

## 山口裕博(やまぐち やすひろ) 教授

---



出生年 : 1951年  
在籍 : 1994年4月～  
最終学歴 : 中央大学大学院法学研究科博士後期課程民事法専攻  
学位 : 法学博士  
学位論文 : 芸術と法—英米法を中心とする学際的研究—  
専門分野 : 英米法、民法  
前職 : 女子美術大学芸術学部助教授  
非常勤講師 : 国立音楽大学音楽学部  
学会 : 比較法学会、日米法学会、信託法学会、日本EU学会、日本私法学会

## 論文掲載

---

「イギリス法における契約解釈の柔軟化」

(単著) 桐蔭論叢 第21号 63-75頁

2009年12月15日

「法廷における名誉毀損—イギリス法における絶対的特権法理の射程」

(共著:山口裕博、棚瀬孝雄他編) 商事法務『小島武司先生古稀祝賀<続> 権利実効化のための法政策と司法改革』所収、1055頁～1093頁

2009年9月30日

## 山城崇夫(やましろう たかお) 教授

---



出生年 : 1951年  
在籍 : 1993年4月～  
最終学歴 : 中央大学大学院法学研究科博士課程  
学位 : 法学修士  
学位論文 : アメリカ合衆国の民事訴訟における除斥・忌避制度の展開  
専門分野 : 民事訴訟法、裁判法  
前職 : 山口大学経済学部経済法学科教授  
学会 : 民事訴訟法学会、日本交渉学会、仲裁 ADR 学会、司法アクセス学会 日本法律家協会  
社会的活動 : 日本交渉学会理事、司法アクセス学会理事

## 著書出版

---

「小島武司先生古希祝賀(続)『権利実効化のための法政策と司法改革』

(共著: 棚瀬孝雄、豊田博昭、**山城崇夫**、**大澤恒夫**(共編))

商事法務

2009年9月

## 論文掲載

---

「法律扶助の魂、理論、そして政策」

(単著) 商事法務『権利実効化のための法政策と司法改革』所収 161-188頁

2009年9月

## 秋田知子(あきた ともこ) 准教授

---



出生年 : 1973年

在籍 : 2005年4月～

最終学歴 : 桐蔭横浜大学法学研究科博士後期課程

学位 : 法学修士

学位論文 : 文書提出命令の改正と文書管理のあり方  
～特に企業法務部門における訴訟管理対策への指針として

専門分野 : 民法

前職 : 桐蔭横浜大学法科大学院教育助手

学会 : 日本交渉学会、日本民事訴訟法学会

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「アメリカにおける家族法弁護士の役割」

桐蔭横浜大学メディアエイション交渉研究所第4回公開研究会

2010年3月

## 麻妻和人(あさづま かずひと) 准教授

---



出生年 : 1969年

在籍 : 2005年4月～

最終学歴 : 中央大学大学院法学研究科博士前期課程

学位 : 法学修士

学位論文 : 捜査の規律に関する一考察 ―盗聴―

専門分野 : 刑事訴訟法

前職 : 桐蔭横浜大学法科大学院教育助手

学会 : 日本刑法学会 日本被害者学会、警察政策学会

## 勝 亦 啓 文 (かつまた ひろふみ) 准教授

---



出生年 : 1973 年  
在籍 : 2005 年 4 月～  
最終学歴 : 中央大学大学院法学研究科民事法専攻博士後期課程単  
位取得退学  
学位 : 法学修士  
学位論文 : フランス労働法上の非典型協定  
専門分野 : 労働法  
前職 : 東京国際大学非常勤講師、青山学院大学非常勤講師  
学会 : 日本労働法学会  
社会的活動 : 元神奈川県横浜労働センター相談員  
元東京都労働情報センター民間相談員

### 総説・論説

---

「人事・教育スタッフのための労働法」

(単著) 企業と人材 951 号 4～33 頁

2009 年 7 月 20 日

### 講演会・研修会・セミナー講師

---

「押さえておきたい法律知識～パートタイマーの権利～」

労働セミナー(東京しごとセンター)

2009 年 9 月 2 日

「労働法総論、労働基準法①、同②、同③」

知っておきたい労働法(平塚市勤労センター)

2009 年 9 月 30 日

「雇用関係法(賃金)、同(労働時間・休日・休暇)」

多摩労働カレッジ(労働相談情報センター国分寺事務所)

2009 年 11 月 18 日

「平成 22 年度から施行される主要労働法令の改正内容について」

(神奈川県県央地域県政総合センター／大和市)

2010 年 2 月 16 日

## 韓 寧 (かん ねい) 准教授

---



出生年 : 1974 年  
在籍 : 2007 年 4 月～  
最終学歴 : 中央大学大学院法学研究科博士後期課程  
学位 : 法学博士  
学位論文 : 中国における調停に関する理論及び実証的な検討—日・米法との比較の視点から  
専門分野 : 紛争処理法、比較法、中国法  
前職 : 北京法務局  
留学 : 群馬大学社会情報学研究科修士課程、中央大学法学研究科博士後期課程  
資格 : 中国弁護士  
学会 : 仲裁ADR法学会

### 論文掲載

---

「中国の行政調停に関する一考察——日本法との比較の視点から」  
(単著) 『権利実効化のための法政策と司法改革<小島武司先生古稀祝賀・続>』  
商事法務 247-281 頁  
2009 年 9 月 30 日

「日本における権利保護保険制度の誕生と成長—中間層の人々に法の光を」  
(共著:小島武司、韓寧)  
2009 年東アジア国際民事訴訟法学会大会論文集  
広東商学院発行 12-22 頁  
2009 年 12 月 20 日

### 講演会・研修会・セミナー講師

---

(講演)  
「日本诉讼外纠纷解决机制(日本の裁判外紛争解決制度)」  
於中国西北政法大学経済法学院(中国・西安)  
2009 年 10 月 19 日

### その他

---

#### ○海外出張

2009 年 10 月 17 日～20 日  
西北政法大学再建 30 周年記念講演 西北政法大学(中国)

2009 年 10 月 22 日～25 日  
第 4 回東北アジア民事訴訟法国際シンポジウム 延世大学校(韓国)

2009 年 12 月 18 日～21 日  
2009 年東アジア民事訴訟法学国際シンポジウム 広東商学院(中国)

#### ○雑誌・新聞記事掲載

<翻訳・中国語>「日本権利保护保険制度的の建立及发展—让法律的光芒洒向中间阶层」  
2009 年東アジア国際民事訴訟法学会大会論文集 広東商学院発行 PP.1-11

## 小島 奈津子 (こじま なつこ) 准教授

---



出生年 : 1970 年  
在籍 : 2004 年 4 月～  
最終学歴 : 法政大学大学院社会科学部法律学専攻満期中退  
学位 : 法学修士  
学位論文 : 債務額に争いがある場合の一部供託の効力(早稲田大学大学院)  
専門分野 : 民法  
学会 : 私法学会

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(口頭発表)

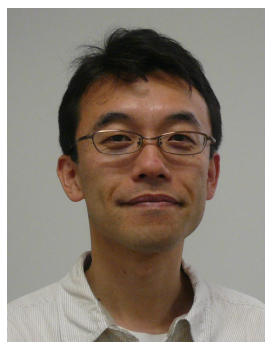
「報償的贈与についての一考察」

財産法研究会(慶應義塾大学三田キャンパス南館)

2009 年 4 月

## 小林 学 (こばやし まなぶ) 准教授

---



出生年 : 1969 年  
在籍 : 2002 年 4 月～  
最終学歴 : 中央大学大学院法学研究科博士後期課程  
学位 : 法学修士  
学位論文 : 自律的規範構造モデルの構築による民事訴訟法学の学問的復権—実体法と訴訟法の規範的連関論—  
専門分野 : 民事手続法学  
学会 : 日本民事訴訟法学会、東北アジア民事訴訟法国際学会、日本私法学会、情報ネットワーク法学会、仲裁 ADR 法学会、司法アクセス学会

### 著書出版

---

『基本講義民事訴訟法〔新装補訂版〕』

(共著:小島武司、小林学)

信山社

2009 年 5 月

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「日本の民事訴訟代理制度」

(小島武司、小林学)

第 4 回東北アジア民事訴訟法国際学会シンポジウム(於、韓国ソウル延世大学)

2009 年 10 月 23 日



## その他

### ○海外出張

2009年10月22日～25日

第4回東北アジア民事訴訟法国際学会シンポジウム(韓国ソウル・延世大学)

### ○その他特記事項

(エッセイ)

『「協調・対話の世界」における法律学試論』

白門 62 卷 2 号 55-68 頁

2010年2月

## 谷 脇 真 渡 (たにわき まさと) 准教授



出生年 : 1974年

在籍 : 2005年4月～

最終学歴 : 桐蔭横浜大学大学院法学研究科博士後期課程

学位 : 法学修士

学位論文 : 抽象的事実の錯誤における「符合の実質化」とその限界

専門分野 : 刑法

前職 : 桐蔭横浜大学法科大学院教育助手

学会 : 日本刑法学会

### 論文掲載

「刑法 36 条 1 項における『やむを得ずにした行為』に関する一考察」

(単著) 桐蔭論叢第 21 号 107～114 頁

2009年12月15日

## 出 口 雄 一 (でぐち ゆういち) 准教授



出生年 : 1972年

在籍 : 2004年4月～

最終学歴 : 慶應義塾大学大学院法学研究科公法学専攻後期博士課程単位取得退学

学位 : 法学修士

学位論文 : 占領期司法改革における法継受とA・C・オプラー

専門分野 : 日本法制史、日本近現代史、法文化論

前職 : 桐蔭横浜大学法学部非常勤講師

非常勤講師 : 慶應義塾大学法学部

学会 : 法制史学会、法文化学会、法社会学会

社会的活動 : 法文化学会幹事、占領・戦後史研究会事務局

## 著書出版

---

### 『憲法——運用と解釈を中心に』(第4章)

(単著) 山中永之祐監修『日本現代法史論 近代から現代へ』(法律文化社) 50-63 頁

2010年3月31日

## 論文掲載

---

### 「検察審査会法制定の経緯 GHQにおける議論を中心に」

(単著) 『法律のひろば』62巻6号 12-18 頁

2009年6月1日

### 「法務図書館所蔵「未整理図書」について 刑事法関係史料を中心に(1)」

(単著) 『研修』733号 37-44 頁

2009年7月1日

### 「法務図書館所蔵「未整理図書」について 刑事法関係史料を中心に(2・完)」

(単著) 『研修』734号 15-24 頁

2009年8月1日

### 「法務図書館所蔵「未整理図書」の整理作業について」

(単著) 『刑政』120巻8号 90-97 頁

2009年8月1日

### 「検察補佐官から検察事務官へ」

(単著) 『研修』737号 31-44 頁

2009年11月1日

### 「占領管理体制の法的特質」

(単著) 鈴木秀光他編『法制史学会 60周年記念論文集 法の流通』(慈学社) 667-690 頁

2009年12月20日

### 「法務図書館所蔵「未整理図書」について——民事法関係史料を中心に(上)」

(単著) 『民事研修』634号 77-82 頁

2010年2月1日

### 「法務図書館所蔵「未整理図書」について——民事法関係史料を中心に(下)」

(単著) 『民事研修』635号 77-85 頁

2010年3月1日

### 「検察審査会法制定の経緯」

(単著) 『法社会学』72号 153-166 頁

2010年3月16日

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

### 「検察審査会法の制定過程 日本法制史の観点から」

日本法社会学会(明治大学)

2009年5月9日

「トーマス・L・ブレイクモアと日本法 東京帝国大学の学生として、GHQの法律スタッフとして」  
トーマス・L・ブレイクモア記念シンポジウム 戦後日本の法と実務:戦後の法改正とその影響(国際文化  
会館)  
2009年5月28日

「法務図書館所蔵の戦前戦後における未整理図書の整理作業について」  
法律図書館連絡会総会(明治大学アカデミーコモン2F)  
2009年10月16日

「日本近現代史における市民の刑事司法参加」  
東アジアにおける市民の刑事司法参加(日本学術振興会アジア研究教育拠点事業 東アジアにおける  
法の継受と創造:東アジア共通法の基盤形成に向けて)(一橋大学マーキュリータワー7F)  
2009年11月7日

「我が国の近代的法制の確立と宇和島」  
宇和島と近代日本社会のリーダーたち(宇和島市生涯学習センター)  
2010年2月28日

## その他

### ○雑誌・新聞記事掲載

「法務図書館所蔵の日本占領関係資料について」  
『書齋の窓』590号 27-31頁  
2009年12月1日

---

## 中野邦保(なかのくにやす) 准教授

---



出生年 : 1976年  
在籍 : 2005年4月～  
最終学歴 : 名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程  
学位 : 法学修士  
学位論文 : 行為基礎論における等価関係破壊の評価  
専門分野 : 民法  
学会 : 日本私法学会

## 著書出版

民法改正研究会『民法改正と世界の民法典』  
(共著:中野邦保 他)  
信山社 431-453頁(第18章第2節「韓国における民法典の改正」を担当)  
2009年6月15日

民法改正研究会編『民法改正 国民・法曹・学界有志案』  
(共著:中野邦保 他) 日本評論社 ①「星野英一先生を囲んで」(中野邦保、伊藤栄寿) 20-25頁、②  
「奥田昌道先生を囲んで」(中野邦保、伊藤栄寿) 26-31頁、③「民法改正フォーラム・実務家編の展開」  
92-95頁  
2009年10月

## 論文掲載

---

「急展開した『韓国民法典改正』と近時の動向」

(共著:加藤雅信、**中野邦保**)

ジュリスト 1379 号 96-99 頁

2009 年 5 月 25 日

「民法改正を考える(4)民法改正フォーラム・学界編——星野英一先生を囲んで」

(共著:**中野邦保**、伊藤栄寿)

法律時報 81 卷 6 号(通巻 1009 号)100-103 頁

2009 年 6 月 1 日

「民法改正を考える(5)民法改正フォーラム・学界編——奥田昌道先生を囲んで」

(共著:**中野邦保**、伊藤栄寿)

法律時報 81 卷 8 号(通巻 1011 号)94-97 頁

2009 年 7 月 1 日

「民法改正を考える(10-2)『民法改正国民シンポジウム:『民法改正 国民・法曹・学界有志案』の提示のために』を終えて(上)」

(共著:加藤雅信、芦野訓和、**中野邦保**、伊藤栄寿)

法律時報 82 卷 2 号(通巻 1018 号)82-90 頁

2010 年 2 月 1 日

「民法改正を考える(12)『民法改正国民シンポジウム:『民法改正 国民・法曹・学界有志案』の提示のために』を終えて(下)」

(共著:加藤雅信、芦野訓和、**中野邦保**、伊藤栄寿)

法律時報 82 卷 3 号(通巻 1019 号)95-105 頁

2010 年 3 月 1 日

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(口頭発表)

「法律行為論再考——法体系における法構造と思考原理」

名古屋大学民法研究会(名古屋大学・愛知県)

2009 年 10 月 3 日

「法律行為論再考——法体系における法構造と思考原理」

第 73 回日本私法学会(成蹊大学・東京都)

2009 年 10 月 11 日

(口頭発表・討論)

「法人と組合——団体の規律」

民法改正日韓共同シンポジウム(韓国民事法学会・民法改正研究会共催、韓国法務部後援) (ソウル大学・韓国ソウル)

2009 年 11 月 15 日

## その他

---

### ○補助金・助成金等

科学研究費補助金基盤研究(B) (研究分担者)

「日本民法典財産法編の全面改正に向けた立法論的研究」(代表・加藤雅信)

2008年～2012年

### ○海外出張

2009年3月31日～4月4日

韓国民法改正のヒアリング調査 韓国ソウル

2009年11月14日～16日

民法改正日韓共同シンポジウムへの参加 韓国ソウル

## 原 口 伸 夫 (はらぐち のぶお) 准教授

---



出生年 : 1968年

在籍 : 2002年9月～

最終学歴 : 中央大学大学院法学研究科博士後期課程

学位 : 法学修士

学位論文 : 不能未遂に関する一考察——危険性は未遂犯のメルクマー  
ルたり得るのか?——

専門分野 : 刑法

前職 : 中央大学法学部兼任講師、駒澤大学法学部非常勤講師

学会 : 日本刑法学会

## 論文掲載

---

「不能犯論についての若干の覚え書」

(単著) 酒井書店『刑事法学の新展開—八木國之先生追悼論文集』、41-65頁

2009年10月10日

「先行する殴打行為について誤想防衛を認め、後続する包丁での刺突行為について殺人未遂罪を認めた事例」

(単著) 日本評論社『速報判例解説 Vol.5』、159-162頁

2009年10月25日

## 山本龍彦（やまもと たつひこ）准教授

---



出生年：1976年  
在籍：2005年4月～  
最終学歴：慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程単位取得退学  
学位：法学博士  
学位論文：遺伝子プライバシーの憲法学的考察  
専門分野：憲法、医事法  
非常勤講師：慶應義塾大学法科大学院  
学会：日本公法学会、全国憲法研究会、日本医事法学会 他  
社会的活動：国立医薬品食品衛生研究所研究倫理委員会委員 他  
受賞・表彰：比較憲法学会田上穰治賞（2009年10月）

### 著書出版

---

「アメリカにおける対テロ戦略と情報プライバシー —自己情報コントロール権論の再構成に向けて—」

（共著：山本龍彦 他）

尚学社『自由と安全』

2009年7月

「遺伝子プライバシー論 —『遺伝情報』は例外か？—」

（共著：山本龍彦 他）

敬文堂『憲法理論叢書⑩憲法学の最先端』

2009年10月

「(第9章)日本における遺伝情報の扱いをめぐるルール作り —アメリカ法との比較憲法的視点から—」

（共著：山本龍彦 他）

信山社『ポストゲノム社会と医事法(医事法講座1巻)』

2009年12月

「(第10章)リチャード・ポズナー —境界の魔術師—」

（共編著：山本龍彦 他）

尚学社『アメリカ憲法の群像』

2010年1月

### 論文掲載

---

「判例回顧と展望 憲法」『判例回顧と展望 2008』

（共著：山本龍彦、小山剛、小谷順子、新井誠、葛西まゆこ、大林啓吾）

法律時報6月臨時増刊

2009年6月

「新司法試験論文問題の分析 公法系科目〔第1問〕(憲法)」

（単著）受験新報8月号

2009年7月

「生殖補助医療と憲法13条 —「自己決定権」の構造と適用—」

（単著）法律時報第81巻第11号

2009年10月

「ローカルな法秩序の可能性 ―日本国憲法における入会」

(単著) 法学セミナー第 660 号

2009 年 12 月

#### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「遺伝情報、コード、プライバシー ―「遺伝情報」は従来の情報概念と異なるのか？」

憲法理論研究会・春季研究集会(青山学院大学)

2009 年 5 月

「警察による情報の収集・保存と憲法」

警察政策フォーラム「自由と安全 ―テロ対策の理論と実務の架橋」(慶應義塾大学)

2010 年 3 月 19 日

#### その他

---

##### ○表彰・受賞

田上穰治賞

『遺伝情報の法理論 ―憲法的視座の構築と応用』

比較憲法学会

2009 年 10 月

#### 浅岡 慶太 (あさおか けいた) 助教

---



出生年 : 1974 年

在籍 : 2001 年 4 月～

最終学歴 : 桐蔭横浜大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学

学位 : 法学修士

学位論文 : 若者から少年へ―ドイツ少年刑法の歴史的前提

専門分野 : ヨーロッパ近代法史

留学 : チュービンゲン大学(ドイツ)(2004.7～2005.3)

学会 : 日独法学会

## ○法学系

### 村上 淳一（むらかみ じゅんいち）終身教授

---



出生年：1933年  
在籍：1993年4月～  
最終学歴：東京大学法学部  
専門分野：ドイツ法、比較法、法史学  
前職：東京大学大学院法学政治学研究科教授  
留学：ハンブルク大学（1964～1965）、チュービンゲン大学（1965～1966）  
学会：日独法学会、日本ドイツ学会、ドイツ比較法学会（外国人特別会員）  
社会的活動：日本学士院会員（2001～）  
受賞・表彰：チュービンゲン大学名誉法学博士（1991）、ドイツ連邦共和国大功労十字勲章（2006）

### 著書出版

---

（2007年度未掲載分 1件）

“Globalisierung Und Recht: Beitrage Japans Und Deutschlands Zu Einer Internationalen Rechtsordnung Im 21. Jahrhundert”

（Junichi Murakami, Hans-Peter Marutschke, Kari Riesenhuber）

Walter de Gruyter

2007年2月

### 論文掲載

---

（2008年度未掲載分 1件）

「ポリコンテクスチュラリティーとはなにか？」

（単著）日本学士院紀要 63 卷 1 号、35-47 頁

2008年9月

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「ドイツにおける高齢化問題」

日本学士院第一部会報告（日本学士院会館・東京都台東区上野公園）

2009年11月



医用工学部 (Faculty of Biomedical Engineering)

生命医工学科 (Department of Medical Technology)

後藤 真 (ごとう まこと) 教授

---



出生年 : 1947 年  
在籍 : 2004 年 10 月～  
最終学歴 : 東京大学医学部  
学位 : 医学博士  
学位論文 : Immunological abnormalities of aging  
専門分野 : 老化学、内科学、リウマチ学、免疫学、遺伝学  
前職 : 東京都立大塚病院リウマチ膠原病科部長  
現職 : 医師(日本、アメリカ)  
留学 : 米国カリフォルニア大学(サンディエゴ校)(1981～1984)  
資格 : 聖マリアンナ医大難病治療研究所、金沢医大腎臓内科  
非常勤講師 : 東京女子医大東医療センター整形外科  
学会 : 日本リウマチ学会(評議員)、日本炎症再生学会(評議員)、  
日本老年病学会(評議員)、日本アンチエイジング学会(評議員)、  
日本内科学会、米国リウマチ学会  
社会的活動 : Nifty インターネット医科大学リウマチ膠原病科教授、  
リウマチ財団・財団ニュース編集委員長  
受賞・表彰 : 昭和 56 年 日本リウマチ学会フェロシッパ賞  
昭和 58 年 アメリカ・リウマチ学会研究員賞  
平成元年 関節疾患基礎研究賞  
平成元年 日本リウマチ学会賞  
平成 16 年 ノバルチス・リウマチ賞  
平成 18 年 イギリス・BBSRC JAPAN PARTNERING 賞

著書出版

---

『見て知る介護特定疾患第2版』

(単著) 丸善 DVD Vol.5

2009 年 11 月 25 日

『ハリソン内科学 第3版』

(単著) メデカル・サイエンス・インターナショナル 2152-2161 頁

2009 年 12 月 22 日

論文掲載

---

“Introduction of a normal human chromosome8 corrects abnormal phenotypes of Werner syndrome cells immortalized by expressing an hTERT gene”

J Rad Res 50, pp.253-259

2009 年 6 月 4 日

「関節リウマチにおけるフェノフィブラートおよびスタチン系薬剤の抗炎症、脂質異常症改善効果の比較検討」

Progress in Medicine 29:pp.2507-2512

2009年10月10日

“periodontal conditions in Werner syndrome”

J Periodontol 81: 2010, p3

2010年1月1日

## 総説・論説

---

(2008年度未掲載分 1件)

“Inflammageing(inflammation+aging):A driving force for human aging based on an evolutionarily antagonistic pleiotropy theory?”

BioScience Trends 2, pp.218-230

2008年12月1日

「早老症の治療への試み」

(単著) Anti-Aging Medicine 5 : 212-217 頁

2009年4月1日

「免疫機構が老化を支配する:炎症性老化」

(単著) 日本化粧品技術者会誌第43巻第2号 68-71 頁

2009年6月1日

“Emerging concept of ageing:inflammageing”

Inflammation and Regeneration 29 : pp.249-257

2009年9月25日

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

“Inflammageing-mediated premature ageing syndromes”

9th Scientific meeting of the Japanese Society of Anti-Aging Medicine (ホテル日航東京)

2009年5月28日

「老化促進病としての関節リウマチ」

第16回千葉リウマチ医の会(京成ホテルミラマール)

2009年5月30日

“Werner syndrome:a challenge to rejuvenization”

JST-CIRM Workshop, San Francisco Marriott Union Square

2009年6月9日

「これは何でしょう？」

第30回リウマチセンター間連絡会(徳島グランビリオホテル)

2009年7月4日

「隠れメタボ撃退法」

第30回リウマチセンター間連絡会(徳島グランビリオホテル)

2009年7月4日

**“Comparative study of fenofibrate and statin for the treatment of rheumatoid arthritis”**

The 9th World Congress on Inflammation(新宿京王プラザホテル)

2009年7月8日

**“Inflammageing-mediated premature ageing conditions”**

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009(桐蔭横浜大学交流会館)

2009年10月30日

**「炎症性加齢と関節リウマチ」**

第21回中之島リウマチセミナー(大阪国際会議場)

2009年12月13日

**講演会・研修会・セミナー講師**

---

(2008年度未掲載分 1件)

**「誤解していませんか？リウマチのこと」**

日本薬剤師研修会(横浜クリエイティブ会議室)

2009年1月15日

**「老化は治療可能か？」**

第24回城北リウマチ研究会(帝京大学本部棟4F)

2009年9月16日

**「戦略的加齢研究」**

金沢医大医学研究セミナー(金沢医大病院本館)

2009年9月28日

**「全身性疾患に伴う腎障害」**

東大老年病科セミナー(東大老年病科医局会議室)

2009年10月9日

**「高齢化社会における関節リウマチ診断と治療の問題点」**

横浜北部リウマチネットワーク研修会(横浜カルバリー・チャペル会議室)

2009年12月8日

**「老化促進病としての関節リウマチの治療をどうするべきか」**

平成22年度第一回兵庫県整形外科医会(神戸国際会議場)

2010年1月30日

**「アンチエイジングからエイジングケアへ」**

北国健康生き甲斐支援事業:アンチエイジング:若さを保つサイエンス(金沢市北国新聞ホール)

2010年2月20日

**その他**

---

**○海外出張**

2009年6月 日～6月 日

JST-CIRM Workshop, San Francisco Marriott Union Square

## ○雑誌・新聞記事掲載

「リウマチ患者の眼病変を考える」

日本リウマチ財団ニュース 94号

2009年5月1日

「名古屋地域における生物学的製剤を中心とした地域連携」

日本リウマチ財団ニュース 94号

2009年5月1日

「現代リウマチ医療の適塾として」

日本リウマチ財団ニュース 97号 4-5頁

2009年11月1日

「関節リウマチに対する心身医学的介入を考える」

日本リウマチ財団ニュース 98号 1-3頁

2010年1月1日

「Committee member に聞く」

日本リウマチ財団ニュース 98号 4-6頁

2010年1月1日

「ACR/EULARの新しいRA診断基準」

リウマチ財団ニュース 99号 5-6頁

2010年3月1日

「アンチエイジングからエイジングケアへ」

北国新聞 14頁

2010年3月11日

## 小山行一（こやま こういち）教授

---



出生年：1947年

在籍：2003年4月～

最終学歴：北海道大学大学院薬学研究科

学位：薬学博士

学位論文：Photoelectric Studies of Organized Bacteriorhodopsin Films at the Solid/Liquid Interface.

専門分野：生物有機化学、エネルギー変換の化学

前職：富士写真フイルム(株)主任研究員  
北海道大学先端科学技術研究センター客員教授

学会：日本化学会、生物物理学会、光化学協会

社会的活動：「生物物理学会」分野別専門委員（バイオセンサー）

受賞・表彰：昭和57年度有機合成化学協会賞

昭和63年度発明奨励賞

## 西村 裕之 (にしむら ひろゆき) 教授

---



出生年 : 1955 年  
在籍 : 1994 年 4 月～  
最終学歴 : 東京工業大学大学院理工研究科博士後期課程  
学位 : 理学博士  
学位論文 : Chemical Modification of enzymes with polyethylene glycol. A new technique to render exogenous enzymes non-immunoreactive, non-immunogenic and stable in the circulation.  
専門分野 : 分子生物学、免疫工学  
前職 : 順天堂大学医学部助教授  
留学 : Hospital for Joint Diseases. Beth Israel Medical Center New York N.Y., USA 研究員  
非常勤講師 : 順天堂大学  
学会 : 日本免疫学会、日本分子生物学会、日本癌学会、日本生化学会、日本臨床免疫学会、日本リウマチ学会

### 論文掲載

---

“Inhibitory IgG Fc receptor promoter region polymorphism is a key genetic element for murine systemic lupus erythematosus”

(共著: Q. Lin, R. Hou, A. Sato, **M. Ohtsuji**, N. Ohtsuji, K. Nishikawa, H. Tsurui, H. Amano, E. Amano, K. Sudo, **H. Nishimura**, T. Shirai and S. Hirose) Journal of Autoimmunity, 2009

“Quantitative trait locus analysis of gutter-shaped root(s) in C57L/J mouse”

(共著: K. Arita, I. Tashima, K. Ikeda, **H. Nishimura**, Y. Arai, I. Saito and Y. Asada) Pediatric Dental Journal **20**: 65-70, 2010.

“Mapping of a gene influencing initial dental caries susceptibility to chromosome 11.”

(M. Ohta, T. Ohshima, **H. Nishimura**, N. Maeda and Y. Asada)  
Pediatric Dental Journal **20**: 84-90, 2010.

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「IL-17 および IFN- $\gamma$  産生亢進を伴う新しい関節炎モデル」

(**大辻希樹**、林青順、須藤カツ子、**西村裕之**、白井俊一、広瀬幸子)

日本リウマチ学会(東京)

2009 年 4 月

“Interleukin 21 chemically conjugated with polyethylene glycol: Potential application in tumor immunotherapy”

(Tadaaki Sato, Hiroki Ikeda, **Mareki Ohtsuji**, **Yo Kodera** and **Hiroyuki Nishimura**)

Toin International Symposium on Biomedical Engineering 2009 2009 年 10 月 30 日

“(BXSB x NZB)F1 strain of mouse as a model of ankylosing enthesitis”

(Kanami Fukunaga, Yukari Aizawa, **Mareki Ohtsuji**, Hiromichi Tsurui, **Hiroyuki Nishimura** and Sachiko Hirose)

Toin International Symposium on Biomedical Engineering 2009

2009年10月30日

“Immune tolerance induced by polyethylene glycol(PEG) conjugates of protein antigen.”

(Fujiwara R, **Mareki Ohtsuji**, Yukari Aizawa, Kanami Fukunaga, Tadaaki Sato, Akihisa Iida, **Yo Kodera** and **Hiroyuki Nishimura**)

Toin International Symposium on Biomedical Engineering 2009

2009年10月30日

“The role of SAP (SLAM-associated protein) gene in the pathogenesis of Systemic Lupus Erythematosus”

(Yukari Aizawa, Kanami Fukunaga, **Mareki Ohtsuji**, Toshikazu Shirai, **Yo Kodera**, Sachiko Hirose and **Hiroyuki Nishimura**)

Toin International Symposium on Biomedical Engineering 2009

2009年10月30日

“Increase of neutrophil count controlled genetically and its possible contribution to lupus nephritis.”

(**Mareki Ohtsuji**, Yukari Aizawa, Kanami Fukunaga, Toshikazu Shirai, **Yo Kodera**, Sachiko Hirose and **Hiroyuki Nishimura**)

Toin International Symposium on Biomedical Engineering 2009

2009年10月30日

“A simulation program for an experimental cross breeding of mice considering epistasis.”

(Keisuke Sugano, Shinichiro Yamaguchi, **Yukiyasu Iida** and **Hiroyuki Nishimura**)

Toin International Symposium on Biomedical Engineering 2009

2009年10月30日

“Molecular Mechanism of Immune Tolerance”

(Masaomi Obata, Ryu Fujiwara, **Mareki Ohtsuji**, **Yo Kodera** and **Hiroyuki Nishimura**)

Toin International Symposium on Biomedical Engineering 2009

2009年10月30日

「ポリエチレングリコール修飾抗原タンパク質によって誘導される抗原特異的免疫寛容の機序」

(尾畑賢臣、藤井琢磨、**小寺洋**、**大辻希樹**、白井俊一、広瀬幸子、**西村裕之**)

第39回日本免疫学会総会・学術集会(大阪)

2009年12月2日

「新しい硬直性腱付着部炎モデルマウスを用いた疾患感受性遺伝子解析の試み」

(福永加奈美、相澤ゆかり、**大辻希樹**、西川桂子、大辻奈穂美、鶴井博理、中江進、須藤カツ子、白井俊一、**小寺洋**、広瀬幸子、**西村裕之**)

第39回日本免疫学会総会・学術集会(大阪)

2009年12月2日

“Fcgr2b promoter region polymorphism is a key genetic element for breakdown of self-reactive B cell Tolerance.”

(Lin Qingshun, Hou Rong, Sato Aya, Tsurui Hiromichi, **Ohtsuji Mareki**, Ohtsuji Naomi, Nishikawa Keiko, **Nishimura Hiroyuki**, Sudo Katsuko, Shirai Toshikazu, Hirose Sachiko)

第 39 回日本免疫学会総会・学術集会 (大阪)

2009 年 12 月 2 日

## 萩原 啓実 (はぎわら ひろみ) 教授

---



出生年 : 1957 年  
在籍 : 2004 年 4 月～  
最終学歴 : 東京工業大学大学院理工学研究科博士後期課程  
学位 : 理学博士  
学位論文 : Studies on Endothelial Cells (東京工業大学 1984)  
専門分野 : 生物化学、分子生物学、細胞生理学、骨代謝学  
前職 : 東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター助教授  
現職 :  
留学 : 米国バンダービルト大学医学部 (1987 年 4 月～1988 年 6 月)  
学会 : 日本生化学会、日本分子生物学会、日本骨代謝学会、米国骨代謝学会、日本内分泌学会、日本軟骨代謝学会  
社会的活動 : 日本心血管内分泌代謝学会評議員 (1999～)、日本血管生物医学会評議員 (1994～)、文部科学省中国赴日本国留学生予備教育 (2001)、日本原子力研究所国際原子力総合技術センター非常勤講師 (1991～1999) 東京工業大学特任教授 (2004～2006) 筑波大学北アフリカ研究センター客員共同研究員 (2005～)  
受賞・表彰 : 手島奨励賞 (1984 年)  
三越医学賞 (1990 年)  
東京高血圧研究会研究奨励賞 (1991 年)

## 論文掲載

---

“Comparative Study on the Risk Assessment of Endocrine Disrupting Chemicals”

(Masamichi Nakamura, Yutaka Miura, **Hiromi Hagiwara**)

Research Bulletin of Toin University of Yokohama・20, pp.75-78

2009 年 6 月 1 日

“*In vivo* Effects of Trichloroethylene Metabolite DCVC against Bone”

(Nobuaki Shirai, Keitaro Hagiwara, Shousuke Sugiyama, Hiroki Tomisawa, **Hiromi Hagiwara**)

Research Bulletin of Toin University of Yokohama・20, pp.79-81

2009 年 6 月 1 日

“Excess iron inhibits osteoblast metabolism”

(Kanakano YAMAZAKI, **Hiromi HAGIWARA**)

Toxicology Letters • 191, pp.211-215

2009年11月18日

**学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演**

---

「Benzo[a]pyrene 及び1-Nitropyrene の破骨細胞の形成への影響」

(山崎貴司、**萩原啓実**) 第27回日本骨代謝学会学術集会(大阪国際会議場)

2009年7月25日

「オリーブポリフェノールはマウスの骨密度を維持しマウス胎仔の骨形成を促進する」

(萩原啓太郎、後藤忠、長谷川豪、石原陽子、**萩原啓実**)

第27回日本骨代謝学会学術集会(大阪国際会議場)

2009年7月25日

“Oleuropein and Hydroxytyrosol from Olive Maintain Bone Density of OVX-mice and Accelerate the Formation of Bone in Fetal Mice”

(Keitaro HAGIWARA, Tadashi GOTO, Go HASEGAWA, Yoko ISHIHARA, **Hiromi HAGIWARA**)

ASBMR 31th Annual Meeting, Denver, CO, USA

2009年9月14日

“Oleuropein and Hydroxytyrosol from Olive Maintain Bone Density of OVX-mice and Accelerate the Formation of Bone in Fetal Mice”

(Keitaro HAGIWARA, Tadashi GOTO, Go HASEGAWA, Yoko ISHIHARA, **Hiromi HAGIWARA**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009, Yokohama, Japan

2009年10月30日

“In Vivo Effects of Trichloroethylene Metabolite DCVC against Bone”

(Nobuaki SHIRAI, Keitaro HAGIWARA, Hiroki TOMISAWA, **Hiromi HAGIWARA**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009, Yokohama, Japan

2009年10月30日

“Proteome Analysis of Tissues from Ascorbic Acid-deficient Rats”

(Takashi YAMAGUCHI, **Kaoru YOSHIDA**, **Hiromi HAGIWARA**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009, Yokohama, Japan

2009年10月30日

“Effect of Benzo[a]pyrene and 1-Nitropyrene on Bone Metabolism”

(Takashi YAMAZAKI, **Hiromi HAGIWARA**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009, Yokohama, Japan

2009年10月30日

“Effects and action mechanism of polyphenol on proliferation of human cancer cells”

(Hiromi HAGIWARA, Yuki OGAWA, Kouko SEKI, **Keitaro HAGIWARA**)

The 10th Tunizian-Japanese Synposium on Society, Sciences and Technology, Hammamet, Tunisia

2009年11月12日



“Oleuropein from Olive Stimulates the Differentiation and Mineralization of Cultured Osteoblasts and Inhibits the Formation of Osteoclasts in Culture”

(Keitaro HAGIWARA, Tadashi GOTO, **Hiromi HAGIWARA**)

The 10th Tunizian-Japanese Symposium on Society, Sciences and Technology, Hammamet, Tunisia

2009年11月12日

「アスコルビン酸により発現調節されているタンパク質の同定」

(山口貴史、**吉田薫**、**萩原啓実**)

第32回日本分子生物学会年会(パシフィコ横浜)

2009年12月9日

「AR コリプレッサー-TZF のマウス精巣での局在」

(佐古典久、佐々木克稔、鎌倉将、山崎加奈子、**吉田薫**、**萩原啓実**)

第32回日本分子生物学会年会(パシフィコ横浜)

2009年12月9日

「ヒトがん細胞におけるアピゲニンとクルクミンによる増殖抑制の作用業」

(**萩原啓実**、後藤忠、萩原啓太郎)

第32回日本分子生物学会年会(パシフィコ横浜)

2009年12月10日

「ヒトがん細胞におけるアピゲニンとクルクミンによる増殖抑制の作用業」

(小川祐希、関晃子、萩原啓太郎、**萩原啓実**)

第32回日本分子生物学会年会(パシフィコ横浜)

2009年12月12日

「Benzo[a]pyrene 及び 1-Nitropyrene の骨代謝への影響」

(山崎貴司、**萩原啓実**)

第32回日本分子生物学会年会(パシフィコ横浜)

2009年12月12日

「金コロイド粒子のマウス体内動態」

(波田野賢一、萩原啓太郎、村田雄輔、**吉田薫**、**萩原啓実**)

第32回日本分子生物学会年会(パシフィコ横浜)

2009年12月12日

**講演会・研修会・セミナー講師**

---

「骨とともに生きる」

桐蔭学園フロンティアセミナー

2009年9月19日

**その他**

---

**○表彰・受賞**

“The Best Poster Award”

(Keitaro HAGIWARA, Tadashi GOTO, **Hiromi HAGIWARA**)

The 10th Tunizian-Japanese Symposium on Society, Sciences and Technology, Hammamet, Tunisia

2009年11月13日

## ○産学協同研究

「トリクロロエチレン代謝産物の骨関連細胞に与える影響に関する研究」

株式会社 ネモト・サイエンス

## ○海外出張

2009年9月10日～9月17日

ASBMR 31th Annual Meeting, Denver, CO, USA

2009年11月10日～11月17日

The 10th Tunizian-Japanese Symposium on Society, Sciences and Technology, Hammamet, Tunisia

---

## 落 合 晃（おちあい あきら） 准教授

---



出生年 : 1966年  
在籍 : 2003年9月～  
最終学歴 : 北海道薬科大学大学院生物薬学専攻  
学位 : 医学博士  
学位論文 : ラット虚血急性腎不全に対するレシチン化 superoxide dismutase(PC-SOD)の抑制効果  
専門分野 : 薬理学、再生医療、衛生科学  
前職 : 生化学工業株式会社  
資格 : 薬剤師  
非常勤講師 : 聖マリアンナ医大 非常勤講師  
学会 : 日本臨床検査学教育学会、日本リウマチ学会、日本 DDS 学会、日本炎症・再生医学会、日本薬学会、日本臨床薬理学会  
社会的活動 : 日本臨床検査学教育学会 評議委員

---

## 小 寺 洋（こでら よう） 准教授

---



出生年 : 1962年  
在籍 : 1988年4月～  
最終学歴 : 東京工業大学理学部  
学位 : 理学博士  
学位論文 : Chemical modification of proteins and biological substances with polyethylene glycols.  
専門分野 : 生物化学、タンパク質工学  
学会 : 日本生化学会、日本免疫学会

---

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「ポリエチレングリコール修飾抗原タンパク質によって誘導される抗原特異的免疫寛容」

(尾畑賢臣、藤井琢磨、**小寺洋**、**大辻希樹**、白井俊一、広瀬幸子、**西村裕之**)

第39回日本免疫学会総会・学術集会(大阪)

2010年2月2日

## 徳岡 由一（とくおか よしかず） 准教授



- 出生年 : 1965 年  
在籍 : 2001 年 4 月～  
最終学歴 : 東京理科大学大学院理工学研究科工業化学専攻修士課程  
学位 : 博士(工学)  
学位論文 : 界面活性剤水溶液による香料の可溶化  
専門分野 : 治療工学、生体材料工学、界面化学  
前職 : エステー化学株式会社 研究開発部主任研究員  
非常勤講師 : 東京農工大学工学部  
学会 : 日本化学会、日本化学会コロイドおよび界面化学部会、日本油化学会、材料技術研究協会、日本セラミックス協会、日本光線力学学会、日本光医学・光生物学会、日本バイオマテリアル学会、ポルフィリン研究会、日本再生医療学会、日本美容皮膚科学会、色材協会
- 社会的活動 : 日本化学会コロイドおよび界面化学部会企業委員会「ニューズレター」編集委員会委員、「材料技術研究協会討論会」運営委員、材料技術研究協会審議委員、材料技術研究協会「MATERIAL TECHNOLOGY」編集委員会副編集委員長、色材協会編集委員会委員、色材協会関東支部審議委員、平成 21 年度日本化学会関東支部代議員
- 受賞・表彰 : 第 40 回コロイドおよび界面化学討論会ポスター賞「界面活性剤／合成香料／水三成分系相状態図」、1997 年度材料技術研究協会技術賞「ハロゲン捕捉剤の開発」、平成 11 年度日本油化学会進歩賞「界面活性剤水溶液による香料の可溶化と揮発制御に関する研究」、2003 年度材料技術研究協会技術賞「癌の光線力学的療法用新規メタルハライドランプ」、2004 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞「癌の光線力学的療法における 5-Aminolevulinic acid の経皮吸収に及ぼす 1-menthol 誘導体の添加効果」、2005 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞「ポリエチレングリコールで改質した金基板表面へのタンパク質の吸着挙動」、2006 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞「発光周波数の異なるキセノンフラッシュ光の PDT 効果」、2007 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞「オゾン・UV 処理により表面改質された各種高分子材料への血漿タンパク質の吸着挙動(II)」、2007 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞「5-アミノレブリン酸による細胞内プロトポルフィリン IX の集積性に及ぼす各種芳香族アミノ酸の添加効果」、第 11 回日本油化学会エディター賞「Oxidation Decomposition of Unsaturated Fatty Acids by Singlet Oxygen in Phospholipid Bilayer Membranes」、2009 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞「ラメラ構造を有するメソポーラス・アパタイトの間隔制御」

## 論文掲載

---

### “Surface condition change with decellularization”

(Koki Abe, Perter S. McFetridge, **Yoshikazu Tokuoka**, and Norimichi Kawasahima)

Material Technology, 28 (2), 56-63

2009 年

### “Effect of crown ethers on 5-aminolevulinic acid-Induced protoporphyrin IX accumulation.”

(Takuya Ishii, Shinya Watanabe, Masahiro Ishizuka, and **Yoshikazu Tokuoka**)

Photomedicine and Photobiology (Proceedings of the 31th Annual Meeting), 31, 17-18

2009 年

## 総説・論説

---

(2008 年度 未掲載分 1 件)

### 「色素による癌の光線力学的療法」

色材 82(1)、16-22 頁

2009 年 1 月

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

### 「プロトポルフィリン IX 細胞内集積に及ぼすクラウンエーテルの添加効果」

(石井琢也、渡部信也、石塚昌宏、**徳岡由一**)

第 31 回日本光医学・光生物学会(梅田スカイビル・タワーウエスト)

2009 年 7 月

### 「オゾン-UV 処理によるポリスルホンの表面改質」

(児島大我、櫻井嘉人、**徳岡由一**)

2009 年度色材研究発表会(エル・おおさか)

2009 年 10 月

### “Enhancement of ALA Skin Permeation by Iontophoresis (II)”

(Kazusa Asai and **Yoshikazu Tokuoka**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009

2009 年 10 月 30 日

### “Effect of crown ethers on 5-Aminolevulinic acid-induced Protoporphyrin IX accumulation in U-937 cell”

(Takuya Ishii, Shinya Watanabe, Masahiro Ishizuka, Tohru Tanaka, and **Yoshikazu Tokuoka**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009

2009 年 10 月 30 日

### “Surface modification of polysulfone by O<sub>3</sub>-UV treatment”

(Taiga Kojima and **Yoshikazu Tokuoka**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009

2009 年 10 月 30 日

### “Effect of 18-crown-6 derivatives on protoporphyrin IX accumulation in cultivated cancer cells”

(Shinya Watanabe, Takuya Ishii, Masahiro Ishizuka, Tohru Tanaka, and **Yoshikazu Tokuoka**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009

2009 年 10 月 30 日

「5-アミノレブリン酸を用いたプロトポルフィリン IX 細胞内集積に及ぼすクラウンエーテルの添加効果」

(石井琢也、渡部信也、石塚昌宏、田中徹、**徳岡由一**)

第 30 回日本レーザー医学会総会 (ホテルグランドヒル市ヶ谷)

2009 年 12 月

「ポリエチレングリコール鎖で改質した表面へのアルブミンの吸着挙動」

(馬場照太、児島大我、**徳岡由一**)

2009 年 材料技術研究協会討論会 (東京理科大学・野田キャンパス・特別教室 (セミナーハウス))

2009 年 12 月

「ラメラ構造を有するメソポーラス・アパタイトの面間隔制御」

(山本啓太、児島大我、**徳岡由一**)

2009 年材料技術研究協会討論会 (東京理科大学・野田キャンパス・特別教室 (セミナーハウス))

2009 年 12 月

「ヒドロキシアジン系複素環-オキソバナジウム錯体の合成とそれらのアポトーシス誘導活性」

(山口智子、加藤明良、松村有里子、石井琢也、**徳岡由一**)

日本化学会第 90 春季年会

2010 年 3 月

「ジヒドロキシピリミジン含有二座及び三方向性六座配位子の合成と光線力学的療法剤への応用」

(加藤明良、丹羽勇一、松村有里子、石井琢也、**徳岡由一**)

日本化学会第 90 春季年会

2010 年 3 月

「プロトポルフィリン IX の細胞内集積に及ぼすピリミジン系およびピリジン系鉄キレート剤の添加効果」

(石井琢也、**徳岡由一**、玉之内泰明、松村有里子、加藤明良)

日本化学会第 90 春季年会

2010 年 3 月

## その他

---

### ○表彰・受賞

2009 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞

「ラメラ構造を有するメソポーラス・アパタイトの面間隔制御」

材料技術研究協会

2009 年 12 月

### ○産学協同研究

「5-アミノレブリン酸の生物学的特性に対するクラウンエーテルの添加効果」

SBI アラプロモ株式会社

2009 年 7 月 1 日～2010 年 6 月 30 日

奨学寄付金

「新規美白剤の開発」

ピアス株式会社

2009 年 10 月 1 日～2010 年 9 月 30 日

## 米坂知昭（よねさか ともあき）准教授

---



出生年 : 1958 年  
在籍 : 2009 年 1 月～  
最終学歴 : 東京理科大学 理学 II 部 物理学科  
専門分野 : 臨床検査学、病院概論(建築設計・管理運営)  
前職 : 済生会横浜市東部病院  
資格 : 臨床検査技師  
学会 : 日本臨床衛生検査技師会、神奈川県臨床衛生検査技師会、日本薬理学会、生物試料分析科学会  
社会的活動 : 日本臨床衛生検査技師会常務理事  
受賞・表彰 : 神奈川県公衆衛生表彰

## 大辻希樹（おおつじ まれき）講師

---



出生年 : 1972 年  
在籍 : 2009 年 4 月～  
最終学歴 : 放送大学 教養学部  
専門分野 : 病理学、免疫遺伝学、分子生物学  
前職 : 順天堂大学 医学部 病理・腫瘍学講座 助手  
資格 : 臨床検査技師  
非常勤講師 : 順天堂大学 医学部 非常勤助手  
学会 : 日本免疫学会、日本病理学会、日本リウマチ学会、日本分子生物学会、超音波検査技師会、日本臨床衛生検査技師会、神奈川県臨床検査技師会

## 論文掲載

---

(2008 年度未掲載分 1 件)

“Centromeric interval of chromosome 4 derived from C57BL/6 mice accelerates type 1 diabetes in NOD.CD72b congenic mice.”

(Hou R, **Ohtsuji M**, Ohtsuji N, Zhang L, Adachi T, Hirose S, Tsubata T)

Biochem Biophys Res Commun. 2009 Feb 27;380(1),pp193-197

“Ankylosing enthesitis associated with up-regulated IFN-gamma and IL-17 production in (BXSB x NZB) F(1) male mice: a new mouse model.”

(Abe Y, **Ohtsuji M**, Ohtsuji N, Lin Q, Tsurui H, Nakae S, Shirai T, Sudo K, Hirose S)

Mod Rheumatol. 2009;19(3):316-22.

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「IL-17 および IFN- $\gamma$  産生亢進を伴う新しい関節炎モデル」

(大辻希樹、林青順、須藤カツ子、西村裕之、白井俊一、広瀬幸子)

日本リウマチ学会(東京)

2009 年 4 月

「抑制性 IgG Fc レセプターの発現亢進による SLE の抑制」

(広瀬幸子、林青順、**大辻希樹**、大辻奈穂美、白井俊一)

第 98 回日本病理学会(京都)

2009 年 5 月

“A new mouse model of human IgA nephropathy”

(Keiko Okazaki, Yusuke Suzuki, **Mareki Ohtsuji**, Hitoshi Suzuki, Masao Kihara, Tadahiro Kajiyama, Satoshi Horikoshi, Sachiko Hirose, Yasuhiko Tomino)

International IgA nephropathy symposium, stresa Italy

2009 年 5 月

「ポリエチレングリコール修飾抗原タンパク質によって誘導される抗原特異的免疫寛容」

(尾畑賢臣、藤井琢磨、**小寺洋**、**大辻希樹**、白井俊一、広瀬幸子、**西村裕之**)

第 39 回日本免疫学会総会・学術集会(大阪)

2010 年 2 月 2 日

“Role of CD72 polymorphism for autoimmune disease”

(Sato Aya, Rong Hou, Qingshun Lin, **Ohtsuji Mareki**, Adachi Takahiro, Hirose Sachiko, Tsubata Takeshi)

第 39 回日本免疫学会総会・学術集会(大阪)

2010 年 2 月 2 日

“CD72 modulates the development of lupus like disease in B6lpr/lpr mice”

(Miduo Xu, Rong Hou, **Mareki Ohtsuji**, Naomi Ohtsuji, Adachi Takahiro, Hirose Sachiko, Tsubata Takeshi)

第 39 回日本免疫学会総会・学術集会(大阪)

2010 年 2 月 2 日

“Fcgr2b promoter region polymorphism is a keygenetic element for backdown of self-reactiv B cell tolerance”

(Lin Qingshun, Hou rong, Sato Aya, Tsurui Hiromichi, **Ohtsuji Mareki**, Ohtsuji Naomi, Nishikawa Keiko), Sudo Katsuko, Shirai Toshikazu, Hirose Sachiko)

第 39 回日本免疫学会総会・学術集会(大阪)

2010 年 2 月 2 日

「G5PR は JNK および Bim の活性化を抑制し自己免疫疾患発症に関連する」

(北畠正大、五十嵐英哉、戸田哲平、**大辻希樹**、鶴井博理、廣瀬幸子、阪口薫雄)

第 39 回日本免疫学会総会・学術集会(大阪)

2010 年 2 月 2 日

“Centromeric interval of chromosome 4 derived from C57BL/6 mice accelerates type 1 diabetes in NOD.CD72b congenic mice”

(Rong Hou, **Mareki Ohtsuji**, Naomi Ohtsuji, Li Zhang, Takahiro Adachi, Sachiko Hirose, Takeshi Tsubata)

第 39 回日本免疫学会総会・学術集会(大阪)

2010 年 2 月 2 日

## 小林 貴 (こばやし たかし) 講師

---



出生年 : 1951 年  
在籍 : 1989 年 4 月～  
最終学歴 : 東京理科大学大学院博士課程  
学位 : 理学修士  
学位論文 : 風の乱れの空間構造  
専門分野 : 地球物理、環境物理、計算機物理  
前職 : 桐蔭学園工業高等専門学校講師  
学会 : 日本物理学会、日仏海洋学会、ゆらぎ現象研究会

## 清水 智美 (しみず とみみ) 講師

---



出生年 : 1972 年  
在籍 : 2010 年 4 月～  
最終学歴 : 放送大学 教養学部  
専門分野 : 臨床生理学、生理学  
前職 : 大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科実習助手  
資格 : 臨床検査技師  
学会 : 日本臨床衛生検査技師会、日本臨床生理学会、日本体力医学会、日本運動生理学会、日本臨床検査医学会  
社会的活動 : 特定非営利活動法人(NPO法人)いろはにほへと塾



## 臨床工学科 (Department of Clinical Engineering)

### 飯田 行 恭 (いいた ゆきやす) 教授

---



出 生 年 : 1949 年  
在 籍 籍 : 2002 年 4 月～  
最 終 学 歴 : 九州大学工学研究科応用物理課程修了  
学 位 位 : 医学博士  
学 位 論 文 : 一般化回帰分析を用いた検査値予知モデル  
専 門 分 野 : 医療情報学  
前 職 職 : NTTサイバースペース研究所画像情報処理研究グループ  
主幹研究員  
非 常 勤 講 師 : 東京医療保健大学  
学 会 会 : 電子情報通信学会、医療情報学会、産業衛生学会、公衆衛生学会  
受 賞 ・ 表 彰 : 逡信医学優秀論文発表者賞 (1995)

#### 論文掲載

---

“Development of an Integrated Analysis Tool for the Statistical Genetics Software “Linkage Package”

(Keisuke Sugano, Mariko Oike, **Hiroyuki Nishimura** and **Yukiyasu Iida**)

Research Bulletin No.20, pp.31-38

2009 年 6 月 15 日

#### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

“Development of an Integrated Analysis Tool for the Statistical Genetics Software Linkage Package”

(Mariko Oike, Keisuke Sugano, Nobutaka Kuwahara, and **Yukiyasu Iida**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009 (Toin university of Yokohama, Japan)

2009 年 10 月 30 日

“Improvement of user interface for pedigree data input program in Linkage Package”

(Nobutaka Kuwahara, Keisuke Sugano, Mariko Oike, and **Yukiyasu Iida**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009 (Toin university of Yokohama, Japan)

2009 年 10 月 30 日

「遺伝統計ソフト Linkage Package の統合解析ツールの開発」

(尾池真理子、菅野敬祐、桑原信隆、**飯田行恭**)

第 29 回医療情報学連合大会

2009 年 11 月

## 川 島 徳 道 (かわしま のりみち) 教授



- 出生年 : 1948 年  
在籍 : 1995 年 8 月～  
最終学歴 : 東京理科大学大学院理学研究科化学専攻博士課程修了  
学位 : 理学博士  
学位論文 : Studies on Dry Grinding of Pigment Mixture  
専門分野 : コロイド表面化学、精密研磨加工、医用材料  
前職 : 東京理科大学理学部応用化学教室、リーハイ大学表面工学研究所、東京磁気印刷(株)開発技術部  
留学 : 米国リーハイ大学表面工学研究所  
学会 : 日本化学会、日本バイオマテリアル学会、砥粒加工学会、色材学会、材料技術研究協会、次世代センサ協議会、日本機能水学会、日本塗装技術協会、世界医学気功学会、日本老年医学会、日本皮膚科学会、アメリカ化学会  
社会的活動 : 材料技術研究協会副会長・理事、色材協会理事、日本塗装技術協会理事、日本医工学治療学会評議員、日本化学会コロイドおよび界面化学部会幹事・事業企画委員、BME株式会社・代表取締役社長、NPO 法人健康福祉工学会・会長  
受賞・表彰 : 昭和 50 年度色材協会論文賞、平成元年度色材協会技術賞、平成9年度材料技術研究協会技術賞、1999 年度材料技術討論会ポスター賞(歯科用印象材の殺菌システム)2000 年度材料技術討論会ポスター賞(強力超音波を有したダイヤモンド粉末の表面改質)、2001 年度材料技術研究協会討論会ポスター賞(癌の光線力学的療法に対する鉄キレート剤の添加効果)、2001 年度材料技術研究協会討論会技術賞(廃棄物を利用した湖沼・河川におけるリン化合物の除去技術の開発)、2002 年度材料技術研究協会討論会ポスター賞(超音波を用いた円筒形透析装置)  
2002 年度材料技術研究協会技術賞(活性酸素種を用いた表面改質法)、2003 年度材料技術研究協会技術賞「癌の光線力学的療法用新規メタルハライドランプ」、2003 年度材料技術研究協会討論会ポスター奨励賞(活性酸素種により表面改質されたポリスチレンへのグルコースオキシターゼの固定化とその酵素活性)、2003 年度材料技術研究協会討論会ポスター奨励賞(ディップコーティング処理によるディオプサイド加圧焼結のアパタイト生成能の向上)、2004 年度材料技術研究協会論文賞(活性酸素生成に関する基礎研究)、2004 年度材料技術研究協会 ゴールドポスター賞(癌の光線力学的療法における 5-Aminolevulinic Acid の経皮吸収に及ぼす l-menthol 誘導体の添加効果)、第 25 回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム(USE2004)超音波シンポジウム奨励賞(超音波により解凝集および表面改質したナノダイヤモンドの経時安定性)、2004 年度材料技術研究協会討論会ポスター賞奨励賞およびゴールドポスター賞(水熱合成法における Ti 基板の前

： 処理による圧電特性の改善)、2004 年度材料技術研究協会討論会 ポスター賞奨励賞(超音波照射による癌細胞の増殖抑制ーヒト白血病細胞株 U937 とマウスの胸腺リンパ系癌細胞 EL-4 の比較)、2004 年度材料技術研究協会討論会 ポスター賞奨励賞(音響化学作用を用いたナノダイヤモンドの解凝集と表面改質ー超音波の照射強度と音響化学作用の効果ー)、2004 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(ポリエチレングリコールで改質された金基板表面へのタンパク質の吸着挙動)、2004 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(ポリエチレングリコールで改質された金基板表面へのタンパク質の吸着挙動)、2005 年材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(光造形実体モデルを用いた硬組織用生体材料の成型法の開発)、2005 年材料技術研究協会討論会学生論文賞(An in vitro study on the improvement of protoporphyrin IX accumulation using esterified and amidated 5-aminolevulinic acids)、2005 年度材料技術研究協会討論会(ポスター奨励賞水熱合成法を用いた微細カテーテル形超音波トランスデューサ作製の基礎検討ー水熱合成環境下で用いるマスキング材と耐熱導電性接着剤の検討)、2005 年度材料技術研究協会討論会 ポスター奨励賞(水熱合成法による非鉛系圧電膜の圧電定数  $d_{31}$  の測定)、2005 年度材料技術研究協会討論会 ポスター奨励賞(超音波照射による超精密研磨用ナノダイヤモンド微粒子の分散に関する検討)、日本音響学会 2006 年春季研究発表会ポスター賞(水熱合成法による圧電多結晶膜を用いた医用アレイ超音波プローブの基礎研究ーハイドロキシアパタイト基板上への1次元アレイPZT 振動子の成膜ー)、2006 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(ポリエチレングリコールで改質した金基板表面への血漿タンパク質の吸着挙動(VII))、2006 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(光造形モデルを用いた骨欠損部の成型法の開発)、2006 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(発光周波数の異なるキセノンフラッシュ光の PDT 効果)、2006 年度材料技術研究協会討論会ポスター奨励賞(癌の光線力学的療法(PDT)用新規 LED 光源装置の開発)、2006 年度材料技術研究協会討論会ポスター奨励賞受賞(ディオプサイドの合成と物性)、2006 年度材料技術研究協会討論会ポスター奨励賞(球状多孔質ディオプサイド粉体の細孔制御)、2006 年度材料技術研究協会討論会ポスター奨励賞受賞(リポソーム二分子膜の流動性に及ぼす l-menthol および l-menthol 誘導体の添加効果)、2006 年度材料技術研究協会学生論文賞(水熱合成法による PZT 多結晶膜を用いた超小型一次元アレイ医用超音波プローブの開発)、2007 年度材料技術研究協会技術賞(ー5.2 度階段の開発)、2007 年度材料技術研究協会学生論文賞(間伐材の効果的含水管理に関する研究)、2007 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(オゾンーUV 処理により表面改質された各種高分子材料への血漿タンパク質の吸着挙動(II))、2007 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(水熱合成法を用いた PZT 多結晶膜の成膜に関する基礎研究ー合成回数と水熱 PZT 多結晶径と組成比の関係ー)、2007 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(5ー

アミノレブリン酸による細胞内プロトポルフィリン IX の集積性に及ぼす各種芳香族系アミノ酸の添加効果)、2007 年度材料技術研究協会 討論会ゴールドポスター賞(整形外科手術用ドリルの加工特性)、2007 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(間伐材を活用した階段の踏み面勾配の歩行解析)、日本油化学会 11th Journal of Oleo Science Editors' Award (Oxidation decomposition of unsaturated fatty acids by singlet oxygen in phospholipids bilayer membranes, Journal of oleo science)、2008 年度色材協会討論会優秀ポスター賞(酸化チタン/酸化亜鉛複合電極を用いた色素増感太陽電池の検討)、2008 年度色材協会討論会優秀ポスター賞(PDT におけるヒト白血病細胞の LED ランプの照射に伴う ATP 産生量の変化)、2008 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(ALA-PDT における二波長同時照射型 LED の PDT 効果)、2008 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(活性酸素による Nafion フィルムの酸化分解速度の検討)、2008 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(木材打撃音のウェーブレット変換を用いた新しい含水率の推定方法)、2008 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(階段の昇降時に及ぼす踏み面勾配の影響)、2008 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(サージに含まれる種子および果実フラボノイドのヒト白血病単球細胞(U937)増殖抑制効果)、2008 年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞(プロトポルフィリン IX の細胞内集積性に及ぼすフェニルアラニンの添加効果におけるシステム L の寄与について)、材料技術研究協会論文賞(間伐材の効果的含水管理に関する研究)、中島伸江、川島徳道、U937 における抗がん剤と Hypericin の併用による抗がん効果、ゴールドポスター賞、2009 年材料技術研究協会討論会、東京理科大学野田校舎セミナーハウス、2009.12.4-5、竹井靖、古曾部俊之、中島伸江、川島徳道、ALA-PDT における二波長同時照射型 LED の PDT 効果、ゴールドポスター賞、2009 年材料技術研究協会討論会、東京理科大学野田校舎セミナーハウス、2009.12.4-5、高橋三男、仁木輝緒、中島伸江、川島徳道、ペニバナインゲンを用いた湛水条件下における根の酸素濃度測定、ゴールドポスター賞、2009 年材料技術研究協会討論会、東京理科大学野田校舎セミナーハウス、2009.12.4-5、菅原智子、高根沢聡太、川島徳道、村上拓郎「PEFC 内 Nafion®フィルムの状態予測を目的とした酸化反応(2)」：優秀ポスター賞、日本化学会第 3 回関東支部大会(2009) 早稲田大学(理工キャンパス) 2009.9.4-5、Naoki Kusumoto, Tadashi Akamatsu, Satoru Furumori, Takeshi Tsunekuni, and Norimichi Kawashima, Development of an artificial prosthesis using nerve signals, Gold Poser Award, TOIN International Symposium on Biomedical Engineering (2009) Toin University of Yokohama, Japan 2009.10.31、Tomoko Sugawara, Sota Takanezawa, Norimichi Kawashima, Takurou N. Murakami, Kinetic Study on Degradation of Nafion by Fenton Reaction (2):Poster Session Award, TOIN International Symposium on Biomedical Engineering (2009) Toin University of Yokohama, Japan 2009.10.31

## 論文掲載

---

### “Stability of Superoxide Ion in Imidazolium Cation-Based Room-Temperature Ionic Liquids”

(Md. Mominul Islam, Tatsuya Imase, Takeyoshi Okajima, Mitsuo Takahashi, Yoshihiro Niikura, **Norimichi Kawashima**, Yoshiyuki Nakamura, and Takeo Ohsaka)

J. Phys. Chem. A, 2009, 113 (5), 912-916

2009年

### 「シャント雑音のウェーブレット変換と正規相互相関分析法に基づいたバスキュラーアクセスの機能評価」

(共著者: **佐藤敏夫**、村上彩子、桂尚樹、**本橋由香**、**川島徳道**、阿岸鉄三)

医工学治療、Vol21, No2, pp.161-170

2009年

### “Comparison of ATP level in U937 cells in vitro using two different photosensitizers in photodynamic therapy.”

(**Nobue Nakajima** and **Norimichi Kawashima**)

Proceedings of the SPIE, Volume 7380 (2009)., pp. 73804G- 73804G-10(2009)

2009年6月2日

### “A Study on water content measurement of wood lumber using sound wave analysis”

(Hisao Fujikura and **Norimichi Kawashima**)

Research Bulletin No.20, pp.57-66

2009年6月15日

### “Photodynamic Therapy of Cancer Cells with Methanesulfonate Salts of 5-Aminolevulinic Acid and Its Derivatives”

(Xuepeng Qiu, Toshiyuki. Kosobe, **Norimichi Kawashima**)

Chem. Res. Chin. Univ., 2010, 26, 66-69

2010年

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

### 「PEFC 内 Nafion® フィルムの状態予測を目的とした酸化反応」

(菅原智子、高根沢聡太、**川島徳道**、村上拓郎)

電気化学会第76回大会 (京都大学吉田キャンパス)

2009年3月29日-31日

### 「水熱合成 PZT 多結晶膜を用いた小型メンブレン型ハイドロホンの試作」

(吉村一穂、**川島徳道**、**竹内真一**、内田武吉、吉岡正裕、菊池恒男、黒澤実)

日本超音波医学会第82回学術集会プログラム・講演抄録集 36

2009年5月22日-24日

### “Development of a Functional Facial Prosthesis”

(**Norimichi Kawashima**, Yuki Yasumura, Tasuku Osada, Tadashi Akamatsu, Takeshi Tsunekuni, Satoshi Shigehara)

19th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, Shanghai, China

2009年5月23日-27日

“Comparison of ATP level in U937 cells in vitro using different photosensitizers in PDT.”  
(**Nobue Nakajima** and **Norimichi Kawashima**)

International Photodynamic Association world congress (2009)

2009年6月15日

「チタン箔に水熱合成 PZT を成膜した小型メンブレン型ハイドロホンの試作」

(吉村一穂、**川島徳道**、内田武吉、吉岡正裕、菊池恒男、黒澤実、**竹内真一**)

電子情報通信学会信学技報 US2009-22(2009)1-6 頁

2009年7月10日

「ラット食道病変の2次元相関ラマン解析」

(高根沢聡太、盛田伸一、丸山篤史、**村上拓郎**、**川島徳道**、遠藤博之、飯島克則、朝倉徹、下瀬川徹、佐藤英俊)

日本化学会第3回関東支部大会(早稲田大学理工学キャンパス)

2009年9月4日

「酸化亜鉛/酸化チタンを用いた色素増感型太陽電池の高効率化(2)」

(酒井誠弥、**川島徳道**、**村上拓郎**)

日本化学会第3回関東支部大会(早稲田大学理工学キャンパス)

2009年9月4日

「PEFC 内 Nafion フィルムの状態予測を目的とした酸化反応(2)」

(菅原智子、高根沢聡太、**川島徳道**、**村上拓郎**)

日本化学会第3回関東支部大会(早稲田大学理工学キャンパス)

2009年9月4日

「ラット食道病変のラマンプロファイル解析」

(高根沢聡太、盛田伸一、丸山篤史、**村上拓郎**、**川島徳道**、遠藤博之、飯島克則、朝倉徹、下瀬川徹、佐藤英俊)

第70回 応用物理学会学術講演会(富山大学)

2009年9月8日

「ヒト皮膚の振動分光による分析」

(高根沢聡太、盛田伸一、伊達朗、稲益直子、渡辺慎、**村上拓郎**、**川島徳道**、佐藤英俊)

第70回 応用物理学会学術講演会(富山大学)

2009年9月8日

「水熱合成 PZT 多結晶膜を用いた強力超音波測定用ハイドロホンの開発」

(吉村一穂、**川島徳道**、内田武吉、吉岡正裕、菊池恒男、黒澤実、**竹内真一**)

日本音響学会 2009年秋研究発表会講演論文集(2009)1175-1176 頁

2009年9月15-17日

“Hypericin-PDT of U937 combined with different kinds of chemotherapeutic drugs.”

(**Nobue Nakajima**, Tetsuji Okuno and **Norimichi Kawashima**)

3<sup>th</sup> Congress of European Society for Photobiology and the 2<sup>nd</sup> conference of the European platform for photodynamic medicine, Wroclaw, Poland

2009年9月

**“Kinetic Study on Degradation of Nafion by Fenton Reaction”**

(Tomoko Sugawara, Sota Takanezawa, **Norimichi Kawashima**, **Takuro N. Murakami**)

216th ECS Meeting (2009) Vienna, Austria

2009年10月4日-9日

**“Photodynamic therapy for cancer cells using mixed wavelength LEDs.”**

(Yasushi Takei, Toshiyuki Kosobe, **Nobue Nakajima**, **Norimichi Kawashima**)

Toin international symposium on biomedical engineering 2009, Toin University of Yokohama, Japan

2009年10月30日

**“Effect of cyclic poly lactate (CPL) and F88/poly lactic acid-block copolymer (PLLA-F88) on U937.”**

(Yuki Kubo, **Nobue Nakajima**, **Norimichi Kawashima**)

Toin international symposium on biomedical engineering 2009, Toin University of Yokohama, Japan

2009年10月30日

**“Effect of Sea buckthorn on the growth inhibitory activity of U937 in vitro.”**

(Sawami Konuma, **Nobue Nakajima**, **Norimichi Kawashima**)

Toin international symposium on biomedical engineering 2009, Toin University of Yokohama, Japan

2009年10月30日

**“Effect of Hypericin-PDT on U937 using different lamps.”**

(Saori Shirasu, **Nobue Nakajima**, **Norimichi Kawashima**)

Toin international symposium on biomedical engineering 2009, Toin University of Yokohama, Japan

2009年10月30日

**“Development of an artificial prosthesis using nerve signals”**

(Naoki Kusumoto, Tadashi Akimatsu, Satoru Furumori, Takeshi Tsunekuni, and **Norimichi Kawashima**)

Toin international symposium on biomedical engineering 2009, Toin University of Yokohama, Japan

2009年10月30日

**“Effect of washing process after decellularization with SDS”**

(Koki Abe and **Norimichi Kawashima**)

Toin international symposium on biomedical engineering 2009, Toin University of Yokohama, Japan

2009年10月30日

**“Surface modification of polymer using photosensitizer and Na-Li lamp”**

(Shintaro Abe Yasushi Takei and **Norimichi Kawashima**)

Toin international symposium on biomedical engineering 2009, Toin University of Yokohama, Japan

2009年10月30日

**“Preoperative of 3D plastic replica for craniomaxillofacial area surgery planning with stereo lithography”**

(Ryo Nakai, Eisaku Imamura and **Norimichi Kawashima**)

Toin international symposium on biomedical engineering 2009, Toin University of Yokohama, Japan

2009年10月30日

**“Aortic arch aneurysm surgery simulation with rapid prototyping technology”**

(Sho Sakuma, Hiroshi Kubota, Takuya Yamada and **Norimichi Kawashima**)

Toin international symposium on biomedical engineering 2009, Toin University of Yokohama, Japan  
2009年10月30日

**“Synthesis of 5-aminolevulinic acid (ALA) derivatives and their lipophilicity”**

(Xuepeng Qiu, **Norimichi Kawashima**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009  
2009年10月30日

**“Effective activation of used activated carbon”**

(Xingyu Li, Toshiyuki Kosobe, Natsuko Toma, Kaoru Tsuchiya, Tomoko Sugawara, **Takuro Muarakami, Shin-ichi Takeuchi** and **Norimichi Kawashima**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009  
2009年10月30日

**“Kinetic Study on Degradation of Nafion by Fenton Reaction (2)”**

(Tomoko Sugawara, Sota Takanezawa, **Norimichi Kawashima, Takuro N. Murakami**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009  
2009年10月30日

**“Fabrication of hydrophone for high power ultrasound using hydrothermally synthesized PZT film”**

(Kazuho Yoshimura, **Norimichi Kawashima**, Minoru Kurosawa, Takeyoshi Uchida, Tsuneo Kikuchi, **Shin-ichi Takeuchi**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009  
2009年10月30日

**“Complications of sinus floor augmentation in our clinic”**

(Eisaku Imamura, Takahiko Kamikura, Tomoya Takamatsu, Tsubasa Akaike, Satoshi Shigehara, **Norimichi Kawashima**)

EAO 2009 October in Monaco  
2009年10月

**“Fabrication of hydrophone using titanium membrane acoustic receiving surface and hydrothermally synthesized PZT film for high intensity ultrasound”**

(Kazuho Yoshimura, **Norimichi Kawashima**, Takeyoshi Uchida, Tsuneo Kikuchi, Minoru Kurosawa, **Shin-ichi Takeuchi**)

Proceedings of symposium on ultrasonic electronic 30 (2009) 331-332  
2009年

**“Fundamental study of miniature membrane-type hydrophone using hydrothermally synthesized lead zirconia titanate”**

(Kazuho Yoshimura, **Norimichi Kawashima, Shin-ichi Takeuchi**, Takeyoshi Uchida, Tsuneo Kikuchi, Minoru Kurosawa)

Official proceedings of the 12<sup>th</sup> congress of the world federation for ultrasound in medicine and biology 35 pp.238-239  
2009年



「チタン箔に水熱合成 PZT を成膜した強力超音波測定用小型メムレン型ハイドロホンの試作」

(吉村一穂、**川島徳道**、**竹内真一**、内田武吉、吉岡正裕、菊池恒男、黒澤実)

平成 21 年度神奈川県ものづくり技術交流会資料(2009)167 頁

2009 年 10 月 21-23 日

「水熱合成 PZT 多結晶膜を用いた HIFU 音場の測定用ハイドロホンの開発」

(吉村一穂、**川島徳道**、内田武吉、吉岡正裕、菊池恒男、黒澤実、清水亨、朴相浩、李京煥、奥野哲治、**竹内真一**)

日本超音波医学会関東甲信越地方会第 21 回学術集会抄録集(2009)119 頁

2009 年 11 月 7-8 日

「水熱合成 PZT 多結晶膜を用いたハイドロホンによる HIFU 音場の計測」

(吉村一穂、**川島徳道**、内田武吉、吉岡正裕、菊池恒男、黒澤実、**竹内真一**)

第8回日本超音波治療研究会プログラム抄録集(2009)15 頁

2009 年 11 月 28 日

「受信面にチタン箔を使用した水熱合成 PZT ハイドロホンによる強力超音波音場の測定」

(吉村一穂、**川島徳道**、**竹内真一**、内田武吉、吉岡正裕、菊池恒男、黒澤実)

2009 年材料技術討論会要旨集 127-128 頁

2009 年 12 月 5 日

「U937 における抗がん剤と Hypericin の併用による抗がん効果」

(**中島伸江**、**川島徳道**)

2009 年材料技術研究協会討論会(東京理科大学野田校舎セミナーハウス)

2009 年 12 月 4 日・5 日

「ALA-PDT における二波長同時照射型 LED の PDT 効果」

(竹井靖、古曾部俊之、**中島伸江**、**川島徳道**)

2009 年材料技術研究協会討論会(東京理科大学野田校舎セミナーハウス)

2009 年 12 月 4 日・5 日

「ベニバナインゲンを用いた湛水条件下における根の酸素濃度測定」

(高橋三男、仁木輝緒、**中島伸江**、**川島徳道**)

2009 年材料技術研究協会討論会(東京理科大学野田校舎セミナーハウス)

2009 年 12 月 4 日・5 日

「受信面にチタン箔を使用した水熱合成 PZT ハイドロホンによる強力超音波音場の測定」

(吉村一穂、**川島徳道**、内田武吉、吉岡正裕、菊池恒男、黒澤実、**竹内真一**)

2009 年材料技術研究協会討論会(東京理科大学野田校舎セミナーハウス)

2009 年 12 月 4 日・5 日

「ダイヤモンド微粒子の超音波分散における SCL 発光強度と平均粒径、ゼータ電位の関係」

(佐藤秀信、内田武吉、青木貴宏、**川島徳道**、**竹内真一**)

2009 年材料技術研究協会討論会(東京理科大学野田校舎セミナーハウス)

2009 年 12 月 4 日・5 日

### 「立木の製材寸法の確定に関する研究」

材料技術研究協会論文賞受賞講演、2009年材料技術研究協会討論会（東京理科大学野田校舎セミナーハウス）

2009年12月4日・5日

### 「PEFC内Nafion®フィルムの状態予測を目的とした酸化反応(3)」

(菅原智子、高根沢聡太、**川島徳道**、**村上拓郎**)

日本化学会第90回関東支部大会（近畿大学本部キャンパス）

2010年3月26日-29日

## 講演会・研修会・セミナー講師

---

(講演)

### 「光を用いた癌治療」

中国 重慶大学生物工程学院

2009年5月29日

## その他

---

### ○特許申請等

「含水率計測システム、含水率計測方法、含水率計測プログラム、含水率計測装置および音波検知装置」

ビーエムイー(株)、中央電子(株)、(株)エコム

2009年5月21日

「遊具診断システム、遊具診断方法、遊具診断装置、遊具診断プログラム、留め具および遊具」

特開 2009-115581

ビーエムイー(株)、中央電子(株)、(株)エコム

2009年5月28日

「遊具管理装置、遊具管理プログラムおよび遊具管理方法」

特開 2009-116571

ビーエムイー(株)、中央電子(株)、(株)エコム

2009年5月28日

「制動装置、制動方法、および車椅子」

特願 2009-17302

BME(株)

2009年7月21日

### ○表彰・受賞

ゴールドポスター賞

「U937における抗がん剤とHypericinの併用による抗がん効果」

(**中島伸江**、**川島徳道**)

2009年材料技術研究協会討論会、東京理科大学野田校舎セミナーハウス

2009年12月4-5日

ゴールドポスター賞

「ALA-PDT における二波長同時照射型 LED の PDT 効果」

(竹井靖、古曾部俊之、**中島伸江**、**川島徳道**)

2009 年材料技術研究協会討論会、東京理科大学野田校舎セミナーハウス

2009 年 12 月 4-5 日

ゴールドポスター賞

「ベニバナインゲンを用いた湛水条件下における根の酸素濃度測定」

(高橋三男、仁木輝緒、**中島伸江**、**川島徳道**)

2009 年材料技術研究協会討論会、東京理科大学野田校舎セミナーハウス

2009 年 12 月 4-5 日

優秀ポスター賞

「PEFC 内 Nafion®フィルムの状態予測を目的とした酸化反応(2)」

(菅原智子、高根沢聡太、**川島徳道**、**村上拓郎**)

日本化学会第 3 回関東支部大会 (2009) 早稲田大学(理工キャンパス)

2009 年 9 月 4-5 日

Gold Poser Award

“Development of an artificial prosthesis using nerve signals”

(Naoki Kusumoto, Tadashi Akamatsu, Satoru Furumori, Takeshi Tsunekuni, and **Norimichi Kawashima**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering (2009) Toin University of Yokohama, Japan

2009.10.31

Poster Session Award

“Kinetic Study on Degradation of Nafion by Fenton Reaction (2)”

(Tomoko Sugawara, Sota Takanezawa, **Norimichi Kawashima**, **Takuro N. Murakami**)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering (2009) Toin University of Yokohama, Japan

2009.10.31

### ○補助金・助成金等

受託研究費：〈泉工医科工業株〉

奨学寄付金：〈協栄プリント技研株〉

### ○海外出張

2009 年 5 月 23 日-27 日

19th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, Shanghai, China

2009 年 6 月 11 日-15 日

International Photodynamic Association world congress (2009), Seattle, Washington, USA

2009 年 9 月

3th Congress of European Society for Photobiology and the 2nd conference of the European platform for photodynamic medicine, Wroclaw, Poland

### ○雑誌・新聞記事掲載

桐蔭横浜大学発ベンチャー企業 “転倒防止”車いす完成 目指すは世界普及、タウンニュース

2009 年 7 月 24 日

車椅子自動ブレーキ、昇降時ロック テコの原理利用 桐蔭横浜大学がシステム、日刊工業新聞  
2009年12月24日朝刊

### ○その他特記事項

(博士論文主査)

Qiu Xuepeng

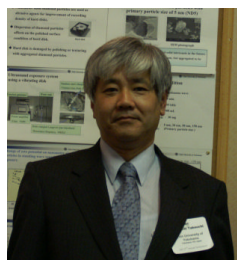
“Synthesis of 5-Aminolevulinic Acid Derivatives and their Application for Photodynamic Therapy for Cancer Cells”

阿部公揮

“HUMAN UMBILICAL CORD VEIN AS SCAFFOLD FOR TISSUE ENGINEERING APPLICATIONS”

### 竹内真一（たけうち しんいち）教授

---



出生年 : 1956年  
在籍 : 1994年4月～  
最終学歴 : 武蔵工業大学大学院工学研究科修士課程電気工学専攻  
学位 : 博士(工学)  
学位論文 : 信号処理による超音波診断装置の分解能改善に関する研究(修士)  
Study on applicability of microbubbles in harmonic imaging and development of ultrasound transducer for harmonic imaging (博士)  
専門分野 : 超音波工学、音響工学、医用生体工学、電子通信工学  
前職 : (株)トキメック研究開発センター計測電子システム部副主事  
現職 : 桐蔭横浜大学医用工学部臨床工学科および大学院工学研究科医用工学専攻 教授  
資格 : 第1級陸上無線技術士、第1種電気通信主任技術者(伝送交換)、第2種ME技術実力検定試験合格  
非常勤講師 : 日本工学院専門学校・臨床工学専攻科  
学会 : IEEE、MRS、AIUM、ASUM、電子情報通信学会、日本音響学会、日本超音波学会、日本脳神経超音波学会、日本非破壊検査協会、材料技術研究協会

社会的活動 : 日本超音波医学会・代議員、  
超音波専門医制度委員会・委員、  
超音波検査士制度委員会・委員、  
日本超音波医学会・Scientific Advisory Board 委員、  
日本超音波医学会・関東甲信越地方会・第 21 回学術集会  
実行委員  
電子情報通信学会・シニア会員、  
電子情報通信学会・超音波専門委員会委員、  
電子情報通信学会誌・Fundamentals Review 誌・編集委員  
日本音響学会・超音波研究会・幹事、  
日本音響学会編集委員会(論文部会)委員、  
Applied acoustics 誌(Elsevier)査読委員、  
超音波シンポジウム運営委員会委員

受賞・表彰 : 第 51 回注目発明に選定  
(超音波流量測定方法およびその装置)  
日本超音波医学会・超音波工学フェロー  
電子情報通信学会・シニア会員  
2000 年度材料技術研究協会討論会ポスター賞受賞  
2002 年度材料技術研究協会技術賞  
2002 年度材料技術研究協会討論会ポスター賞  
2005 年度材料技術研究協会討論会ポスター奨励賞

## 論文掲載

---

“Self-separated hydrothermal lead zirconate titanate thick films for high frequency transducer applications”

(B. P. Zhu, Q. F. Zhou, J. Shi, K. K. Shung, S. Irisawa, and **S. Takeuchi**)

APPLIED PHYSICS LETTERS, 94(2009) 102901

“Effect of ultrasound exposure time on nanometer-sized diamond particles dispersion”

(Takeyoshi Uchida, Tsuneo Kikuchi, Takahiro Aoki, **Norimichi Kawashima** and **Shinichi Takeuchi**)

Japanese Journal of applied physics, vol. 48, no. 7 issue 2 of 2, (2009.7)

“Evaluation of Small Ultrasonic Probe using Lead Zirconate Titanate poly-crystal Film Deposited by Hydrothermal Method”

(Tomohito Hasegawa, Minoru Kuribayashi Kurosawa, **Shinichi Takeuchi**)

Proceedings of the 2009 18th IEEE International Symposium on Applications of Ferroelectrics, pp332-336,(2009)

“Fundamental Study of Miniature Membrane-Type Hydrophone Using Hydrothermally Synthesized Lead Zirconate Titanate”

(K. Yoshimura, N. Kawashima, **S. Takeuchi**, T. Uchida, T. Kikuchi, and M. Kurosawa)

Official Proceeding of the 12th Congress of the World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology 35 (2009) 238-239

“Basic research on safety Assessment of medical ultrasound –The problem in the estimation of safety index–”

(A.Watanabe, **N. Kawashima** and **S.Takeuchi**)

Official Proceeding of the 12th Congress of the World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology  
35 (2009) 119

“Characterization of output signal from hollow cylindrical cavitation sensor”

(Takeyoshi Uchida, Hidenobu Sato, **Shinichi Takeuchi** and Tsuneo Kikuchi)

Acoustical Science and Technology, 31 (2010) 199-201

## 総説・論説

---

「超精密研磨剤用ナノサイズダイヤモンド微粒子の超音波による解凝集と表面改質」

(共著: **竹内真一**、青木貴宏、**川島徳道**、内田武吉)

超音波テクノ、vol.21,no.5, (2009) 21-26 頁

2009年9月

「音響整合層付き4分割 150 kHz PZT 圧電セラミック振動子を用いた超音波照射システムによるナノダイヤモンド微粒子の分散性改善に関する研究」

(共著: **竹内真一**、内田武吉)

マテリアルインテグレーション、vol. 22, no. 06 (2009) 35-40

2009年6月

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

“Development of strong hydrophone with hydrothermally synthesized PZT poly-crystalline film for high intensity ultrasound by HIFU device or ultrasound cleaner”

(**S. Takeuchi**, K.Yoshimura, N. Kawashima, T. Uchida, M. Yoshioka, T. Kikuchi and M. Kurosawa)

10th Annual ultrasonic transducer conference in Omini Hotel at California Plaza Los Angeles, CA

2010年4月15日

“Deposition of Nb-doped Pb(Zr Ti)O<sub>3</sub> films by hydrothermal method and their electromechanical properties”

(M. Ishikawa, H.R. Chabok, X. Li, R. Chen, **S. Takeuchi**, M. Kurosawa, H. Funakubo, Q. Zhou, K. K. Shung and F.T. Djuth)

10th Annual ultrasonic transducer conference in Omini Hotel at California Plaza Los Angeles, CA

2010年4月15日

“Deposition of Nb-doped Pb(Zr Ti)O<sub>3</sub> films by hydrothermal method for high frequency ultrasonic transducer”

(M. Ishikawa, T. Hasegawa, H.R. Chabok, S. Lau, X. Li, R. Chen, **S. Takeuchi**, M. Kurosawa, H. Funakubo, Q. Zhou, K. K. Shung and F.T. Djuth)

Naval workshop at Pennsylvania State University, PA

2010年5月

「水熱合成 PZT 多結晶膜を用いた小型メンブレン型ハイドロホンの試作」

(吉村一穂、**川島徳道**、**竹内真一**、内田武吉、菊池恒男、黒澤実)

日本超音波医学会第 82 回学術集会(東京国際フォーラム)

2009年5月22日

「医用超音波の安全性評価 - MI 値および TI 値算出による安全指標の基礎検討 -」

(渡邊晶子、川島徳道、竹内真一)

日本超音波医学会・第 82 回学術集会(東京国際フォーラム)

2009 年 5 月 22 日

「チタン箔に水熱合成 PZT を成膜した小型メンブレン型ハイドロホンの試作」

(吉村一穂、川島徳道、内田武吉、菊池恒男、黒澤実、竹内真一)

電子情報通信学会・日本音響学会共催 超音波研究会(桐蔭横浜大学)

2009 年 7 月 17 日

「水熱合成法により成膜した PZT 多結晶膜を用いた小型超音波プローブの分解能に関する検討」

(長谷川智仁、黒澤実、石河睦生、竹内真一)

電子情報通信学会・日本音響学会共催 超音波研究会(桐蔭横浜大学)

2009 年 7 月 17 日

“Basic research on safety assessment of medical ultrasound -The problem in the estimation of safety index-”

(A.Watanabe, N. Kawashima and S.Takeuchi)

The 12th Congress of the World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology in Sydney Australia

2009 年 8 月 30 日

“Fundamental Study of Miniature Membrane-Type Hydrophone Using Hydrothermally Synthesized Lead Zirconate Titanate”

(K. Yoshimura, N. Kawashima, S. Takeuchi, T. Uchida, T. Kikuchi, and M. Kurosawa)

The 12th Congress of the World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology in Sydney Australia,

2009 年 8 月 30 日

「水熱合成 PZT 多結晶膜を用いた強力超音波測定用ハイドロホンの開発」

(吉村一穂、川島徳道、黒澤実、内田武吉、菊池恒男、竹内真一)

日本音響学会秋季研究発表会(日本大学・工学部 郡山)

2009 年 9 月 15 日

「キャピテーションセンサによるキャピテーション発生量計測 -キャピテーション発生量に対するセンサ出力の定性的評価-」

(内田武吉、佐藤秀信、竹内真一、菊池恒男)

日本音響学会秋季研究発表会(日本大学・工学部 郡山)

2009 年 9 月 16 日

「水熱合成 PZT 多結晶膜による超小型超音波プローブの開発-超音波イメージングと分解能の検討-」

(長谷川智仁、黒澤実、石河睦生、舟窪浩、竹内真一、西條芳文)

日本音響学会秋季研究発表会(日本大学・工学部 郡山)

2009 年 9 月 16 日

「超音波照射によるナノダイヤモンド微粒子の解凝集および表面改質に関する研究 -超音波照射時間と粒度分布、ゼータ電位の関係および音響流回避の効果-」

(竹内真一、内田武吉、青木貴宏、川島徳道)

電子情報通信学会・日本音響学会共催 超音波研究会(登別温泉グランドホテル)

2009 年 9 月 29 日

**“Evaluation of Small Ultrasonic Probe using Lead Zirconate Titanate poly-crystal Film Deposited by Hydrothermal Method”**

(Tomohito Hasegawa, Minoru Kuribayashi Kurosawa, **Shinichi Takeuchi**)

2009 18th IEEE International Symposium on Applications of Ferroelectrics in Roma Italy

2009年10月

**“High frequency ultrasound probe with self-separated hydrothermally synthesized PZT thick film”**

(S. Irisawa, **S. Takeuchi**, B. P. Zhu, Q. F. Zhou, J. Shi and K.K.Shung)

Toin International Symposium on Biomedical Engineering 2009

2009年10月30日

**“Basic research on safety Assessment of medical ultrasound –The problem in the estimation of index–”**

(A.Watanabe, N. Kawashima and **S.Takeuchi**)

Toin International Symposium on Biomedical Engineering 2009

2009年10月30日

**“Fabrication of hydrophone for high power ultrasound using hydrothermally synthesized PZT film”**

(K. Yoshimura, **N. Kawashima**, M. K, Kurosawa, T. Uchida, M. Yoshioka, T. Kikuchi and **S. Takeuchi**)

Toin International Symposium on Biomedical Engineering 2009

2009年10月30日

**“Fabrication of Hydrophone using Titanium Membrane Acoustic Receiving Surface and Hydrothermally Synthesized PZT film for High Intensity Ultrasound”**

(K. Yoshimura, **N. Kawashima**, T. Uchida, T. Kikuchi, M. Kurosawa, and **S. Takeuchi**)

The 30th Symposium on Ultrasonic Electronics in Kyoto

2009年11月18-20日

**“Consideration of output signal from cylindrical hollow type cavitation sensor –Investigation by dissolved oxygen level and sonochemical luminescence–”**

(T. Uchida, H. Sato, **S. Takeuchi** and T. Kikuchi)

The 30th Symposium on Ultrasonic Electronics in Kyoto

2009年11月18-20日

**「水熱合成 PZT 多結晶膜を用いたハイドロホンによる HIFU 音場の計測」**

(吉村一穂、**川島徳道**、内田武吉、吉岡正裕、菊池恒男、黒澤実、**竹内真一**)

日本超音波医学会・関東甲信越地方会・第21回学術集会(東京ファッションタウン(TFT)ビル)

2009年11月7日

**「水熱合成 PZT 多結晶膜を用いた HIFU 音場測定用ハイドロホンの開発」**

(吉村一穂、**川島徳道**、内田武吉、吉岡正裕、菊池恒男、黒澤実、清水亨、朴相浩、季京煥、奥野哲治、**竹内真一**)

第8回日本超音波治療研究会(8th Annual meeting of the Japanese society for therapeutic ultrasound)

(日本学士会館)

2009年11月28日



「**受音面にチタン箔を使用した水熱合成 PZT ハイドロホンによる強力超音波音場の測定**」  
(吉村一穂、**川島徳道**、内田武吉、吉岡正裕、菊池恒男、黒澤実、**竹内真一**)  
2009 年度 材料技術研究協会討論会(東京理科大学・野田キャンパス・特別教室(セミナーハウス))  
2009 年 12 月 5 日

「**ダイヤモンド微粒子の超音波分散における SCL 発光強度と平均粒径、ゼータ電位の関係**」  
(佐藤秀信、内田武吉、青木貴宏、**川島徳道**、**竹内真一**)  
2009 年度 材料技術研究協会討論会(東京理科大学・野田キャンパス・特別教室(セミナーハウス))  
2009 年 12 月 5 日

「**水熱合成 PZT 多結晶膜を用いた堅牢タイプハイドロホンの HIFU 装置および超音波洗浄機を用いた評価**」  
(吉村一穂、**川島徳道**、内田武吉、吉岡正裕、菊池恒男、黒澤実、**竹内真一**)  
電子情報通信学会・日本音響学会共催 超音波研究会(関西大学・千里山キャンパス)  
2010 年 1 月 26 日

「**強力超音波の測定を目的とした水熱合成 PZT ハイドロホンの開発**」  
(吉村一穂、**川島徳道**、内田武吉、吉岡正裕、菊池恒男、奥野哲治、黒澤実、**竹内真一**)  
日本音響学会春季研究発表会(電気通信大学 調布)  
2010 年 3 月 8 日

「**SLDV を用いた極浅層地中映像化に関する研究(IV)**」  
(渡邊晶子、阿部冬真、**竹内真一**、**杉本恒美**)  
日本音響学会春季研究発表会(電気通信大学 調布)  
2010 年 3 月 8 日

「**径頭蓋骨脳腫瘍治療を目的とした集束形振動子の基礎研究**」  
(沢田佳佑、吉村一穂、**川島徳道**、**竹内真一**、内田武吉、菊池恒男)  
日本音響学会春季研究発表会(電気通信大学 調布)  
2010 年 3 月 10 日

「**多分割振動子を用いた新型ソノリアクタの基礎研究 -ソノケミカルルミネセンスを用いた反応場の評価-**」  
(佐藤秀信、内田武吉、菊池恒男、**川島徳道**、朝倉義幸、岡田長也、**竹内真一**)  
日本音響学会春季研究発表会(電気通信大学 調布)  
2010 年 3 月 10 日

「**水熱合成 PZT 多結晶膜を用いた大口径メンブレン型ハイドロホンの試作**」  
(福井幹人、吉村一穂、**川島徳道**、内田武吉、吉岡正裕、菊池恒男、**竹内真一**)  
日本音響学会春季研究発表会(電気通信大学 調布)  
2010 年 3 月 10 日

「**水熱 PZT 多結晶膜を用いた小型超音波プローブの特性評価 -相互校正法による 1~110MHz の送波・受波感度の測定-**」  
(長谷川智仁、石河睦生、黒澤実、**竹内真一**)  
日本音響学会春季研究発表会(電気通信大学 調布)  
2010 年 3 月 10 日

「水熱合成 PZT 多結晶膜を用いた医用超音波センサの研究」  
(竹内真一、入澤信哉、吉村一穂、黒澤 実、Qifa Zhou、Kirk K. Shung)  
2010 電子情報通信学会総合大会(東北大学 川内キャンパス)  
2010年3月18日

#### 講演会・研修会・セミナー講師

---

「マイクロバブル／ナノバブル(微細気泡)の生成法と各分野への利用・応用展開」  
(株)技術情報センター(新御茶ノ水/総評会館)  
2010年3月11日

#### その他

---

##### ○特許申請等

特許第 4344822 号  
「水中マイクロホン及びその製造に用いる装置」  
2009年7月24日

特許第 4344794 号  
「カテーテル型超音波照射装置」  
2009年7月24日

特許第 4430924 号  
「超音波ゾンデ」  
2009年12月25日

特許第 4480124 号  
「水熱合成法による PZT 結晶膜の生成方法及び装置」  
2010年3月26日

##### ○産学協同研究

「低強度超音波照射の細胞挙動への影響の研究」  
日本シグマックス株式会社

「水熱合成法を用いた圧電振動子の研究」  
上田日本無線株式会社

「高出力超音波音場計測とその応用に関する研究」  
独立行政法人産業技術総合研究所

##### ○海外出張

2009年8月30日  
The 12th Congress of the World Federation for Ultrasound in Medicine and Biology in Sydney Australia,  
  
2010年4月13日-16日  
10th Annual ultrasonic transducer conference in Omini Hotel at California Plaza Los Angeles, CA

## 早川吉則（はやかわ よしのり）教授

---



- 出生年 : 1943 年  
在籍 : 1999 年 4 月～  
最終学歴 : 東京工業大学理工学研究科大学院博士課程修了  
学位 : 工学博士  
学位論文 : 「放射線励起による LiF のエキソ電子放出に関する研究」  
(博士論文)  
専門分野 : 医学物理学、医用工学、教育学  
前職 : 帝京大学医学部講師(1976)、筑波大学基礎医学系講師  
(陽子線医学利用研究センター研究専従)(1981)  
資格 : 第一種放射線取扱主任者(国家資格)  
エックス線作業主任者(国家資格)、  
ガンマ線透過写真撮影作業主任者(国家資格)、  
エスペラント検定 2 級(学会資格)  
第2種 ME 技術検定試験合格(学会資格)  
学会 : 日本医学放射線学会、日本医学物理学会、日本超音波医学  
学会、日本生体医工学会、日本数学教育学会、日本数学  
協会、日本エスペラント学会、International Phonetic  
Association  
社会的活動 : 1990 年から基礎教育の効率を向上させるための世界一合  
理的な文字と数字:「世界共通文字」と「コンピューター数字  
(算盤数字)」:を研究開発し開発途上国の識字教育効率化  
による貧困撲滅とエイズ・結核・マラリア等の感染症の蔓延  
防止の研究を続けている。「コンピューター数字」は3つの  
簡単な規則と数字の形を覚えれば短期間で加減乗除が出  
来るようになるもの(足し算九九や掛け算九九を覚える必要  
はない)で、算数嫌いによる理工学離れを防ぐことにもなり、  
英才教育にも役立つと思われ、個人的ながら普及活動を行  
っている。また「世界共通文字」はハングルとかなの濁点をヒ  
ントとして開発したもので、文字の形と発音方法が簡単な規  
則により対応する。外国語学習のための覚えやすい発音記  
号として、また音声発声のリハビリテーション用としても役立  
つ。  
受賞・表彰 : 第 2 回(平成 17 年度)日本原子力学会北関東支部の技術  
功労賞授賞表彰:2006 年 4 月 21 日 受賞概要:「陽子加速  
器ならびに関連するビームラインの運転保守管理と性能向  
上」筑波大陽子線グループの一員として共同受賞

### 論文掲載

---

“HYPOTHESIS OF PIEZOELECTRICITY OF INNER CORE AS THE ORIGIN OF GEOMAGNETISM”  
Data Science Journal, Volume 8, S96~S101.  
2009 年 9 月 24 日

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

“Developing minimally pathogenic H5N1 by reverse genetics to be used as live infectious vaccine for humans.”

World Vaccine Congress Asia, Singapore  
2009年6月8日

“Proposal and Method of Artificial Influenza Pandemic by Live Attenuated Infectious Vaccine to Prevent Natural Pandemic H5N1.”

BIT Life Sciences’ 2nd World Congress of Vaccine, Beijing  
2010年3月26日

## その他

---

### ○海外出張

2009年6月8日

World Vaccine Congress Asia, Singapore

2010年3月26日

BIT Life Sciences’ 2nd World Congress of Vaccine, Beijing

## 阿部 憲二（あべ けんじ）准教授

---



出生年：1964年

在籍：2002年9月～

最終学歴：サンフランシスコ大学教育学部博士課程 国際化に伴う多文化社会教育学科修了

学位：教育学博士(Ed.D.)

学位論文：Achieving High Oral Proficiency Levels

専門分野：教育問題、環境と教育、教育と政策、日米の社会問題（第二言語習得論）

前職：大学受験予備校講師

社会的活動：PFI Japan（国際矯正施設支援連盟 日本支部）相談役  
府中刑務所篤志面接員  
日本私学協会教員免許講習講師

## その他

---

### ○海外出張

2010年3月

米国サンフランシスコ出張（ドミニカン大学留学生の安否確認／法学部バイリーガルプログラム協力ネットワーク構築のため前サンフランシスコ大学法学部長フォルバーク博士と面会）

### ○その他特記事項

日本私学協会教員免許講習講師に任命  
2009年4月

府中刑務所篤志面接員に任命  
2009年8月

PFI JAPAN相談役に任命  
2009年8月

## 佐藤敏夫（さとう としお） 准教授

---



出生年：1961年  
在籍：1997年12月～  
最終学歴：慶應義塾大学工学部計測工学科  
桐蔭横浜大学大学院工学研究科博士後期課程制御システム工学専攻  
東京女子医科大学医学部研究生  
学位：博士(医学)、博士(工学)  
学位論文：Evaluation of blood access dysfunction based on a wavelet transform analysis of shunt murmurs (医学博士論文)  
非線形破壊力学に基づいた歯科用低溶陶材の信頼性評価に関する研究(工学博士論文)  
専門分野：医用生体工学、破壊力学、音響工学、臨床工学  
前職：(株)トキメック(現 東京計器)MRD センター副主事  
資格：第2種ME技術実力検定試験合格、第1種ME技術実力検定試験合格、臨床工学技士免許  
学会：日本医工学治療学会(評議員、編集委員)、日本透析医学会、日本医療機器学会、日本臨床工学技士会、材料技術研究協会  
受賞・表彰：科学技術庁から第51回注目発明選定証を受賞(1992)  
2002年度材料技術研究協会討論会技術賞  
2003年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞  
2008年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞

### 論文掲載

「シャント雑音のウェーブレット変換と正規相互相関分析法に基づいたバスキュラーアクセスの機能評価」  
(共著:佐藤敏夫、村上彩子、桂 尚樹、本橋由香、川島徳道、澁谷有美、泉ゆかり、高木絵美子、本橋尊、星野敏久、赤松眞、阿岸鉄三、小見勝利)  
医工学治療 Vol.21 No.3 161頁-170頁  
2009年9月1日

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(口頭発表)

「輸液ポンプの自動記録機能を利用した記録管理」

(加納敬、加藤昇太、里野剛之、佐藤敏夫)

第19回日本臨床工学会 徳島県立産業観光交流センター(徳島県徳島市)  
2009年5月9日～10日

「気管内吸引を必要とする血液透析患者の吸引音に対する時間一周波数分析に基づく吸引効果判定」  
(佐藤敏夫、新妻可奈子、**本橋由香**、**川島徳道**、阿岸鉄三、金田恵子、小見勝利)  
第 54 回(社)日本透析医学会学術集会・総会 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)  
2009 年 6 月 5 日～7 日

「動脈硬化症と血液透析中の血圧低下との関係を求めた多変量解析」  
(小島久、東ヶ崎明子、轟原浩、阿岸鉄三、**本橋由香**、**佐藤敏夫**、**川島徳道**)  
第 54 回(社)日本透析医学会学術集会・総会 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)  
2009 年 6 月 5 日～7 日

「生体雑音の時間一周波数解析による非侵襲生体機能診断」  
(村上彩子、新妻可奈子、**本橋由香**、**佐藤敏夫**、**川島徳道**、澁谷有美、高木絵美子、本橋尊、星野敏久、阿岸鉄三、小見勝利)  
(社)電子情報通信学会超音波研究会 桐蔭横浜大学(神奈川県横浜市)  
2009 年 7 月 17 日

“Analysis of Pulsatile Flow in a Quasi-angiostenosis Model Using the Finite Element Method”  
(Naoki KATURA, Yuka ISONO, **Norimichi KAWASHIMA**, **Toshio SATO**, Tetsuzou Agishi, Yoshikatsu MUNAKATA, Noriaki NAKANE)  
TOIN International Symposium on Biomedical engineering 2009, Toin University of Yokohama, Yokohama, Japan  
2009 年 10 月 30 日

「AVF の狭窄を模擬した血管モデルを流れる拍動流に対する有限要素法による流れ解析」  
(桂尚樹、磯野裕佳、**本橋由香**、**佐藤敏夫**、**川島徳道**、阿岸鉄三、中根紀章、宗像佳克)  
第 47 回日本人工臓器学会大会 新潟コンベンションセンター(新潟県新潟市)  
2009 年 11 月 12 日～14 日

「超音波伝搬減衰のモニタリングによる血液回路凝固の非侵襲的早期検出」  
(**佐藤敏夫**、新妻可奈子、村上彩子、**本橋由香**、**川島徳道**、近藤修、阿岸鉄三)  
第 47 回日本人工臓器学会大会 新潟コンベンションセンター(新潟県新潟市)  
2009 年 11 月 12 日～14 日

「正規相互相関分析法及びシャント音の持続時間の定量化によるバスキュラーアクセスの機能評価」  
(村上彩子、**佐藤敏夫**、**本橋由香**、**川島徳道**、澁谷有美、高木絵美子、本橋尊、阿岸鉄三、小見勝利)  
第 47 回日本人工臓器学会大会 新潟コンベンションセンター(新潟県新潟市)  
2009 年 11 月 12 日～14 日

「気管内吸引中の吸引音及び吸引前後の呼吸音に対する時間一周波数解析に基づいた吸引効果判定」  
(新妻可奈子、**本橋由香**、**佐藤敏夫**、**川島徳道**、金田恵子、阿岸鉄三、小見勝利)  
第 47 回日本人工臓器学会大会 新潟コンベンションセンター(新潟県新潟市)  
2009 年 11 月 12 日～14 日

「喉表面の動きを撮影したビデオ画像及び嚙下音の同期記録・解析装置による非侵襲嚙下機能評価」  
(新妻可奈子、**本橋由香**、**佐藤敏夫**、**川島徳道**、阿岸鉄三、小見勝利)  
第 47 回日本人工臓器学会大会 新潟コンベンションセンター(新潟県新潟市)  
2009 年 11 月 12 日～14 日

「動脈硬化症進展と血液透析中の血圧低下との相関」

(小島久、吉川学、東ヶ崎明子、阿岸鉄三、**本橋由香**、**佐藤敏夫**、**川島徳道**)  
第 47 回日本人工臓器学会大会 新潟コンベンションセンター(新潟県新潟市)  
2009 年 11 月 12 日～14 日

「血液透析における血液回路内凝固の専属的モニタリング方法の検討」

(**佐藤敏夫**、水嶋洋佑、新妻可奈子、村上彩子、**本橋由香**、**川島徳道**、阿岸鉄三)  
(社)電子情報通信学会超音波研究会 関西大学(大阪府吹田市)  
2010 年 1 月 25 日～26 日

(ポスター発表)

「気管内吸引前後の呼吸音及び吸引中の吸引音の時間一周波数分析による吸引効果判定の試み」

(**佐藤敏夫**、新妻可奈子、村上彩子、**川島徳道**、阿岸鉄三、金田恵子、小見勝利)  
日本医工学治療学会第 25 回学術大会 大阪国際会議場(大阪府大阪市)  
2009 年 4 月 10 日～12 日

「超音波センサを利用した血液透析回路内の凝血発生の非侵襲的早期検出の試み」

(**本橋由香**、高橋亮美、**佐藤敏夫**、**川島徳道**、阿岸鉄三、近藤修)  
日本医工学治療学会第 25 回学術大会 大阪国際会議場(大阪府大阪市)  
2009 年 4 月 10 日～12 日

「嚙下音並びに嚙下前後の呼吸音のウェーブレット変換を用いた嚙下障害スクリーニングの検討」

(新妻可奈子、**佐藤敏夫**、**川島徳道**、阿岸鉄三、小見勝利、宇山理紗、高橋浩二)  
日本医工学治療学会第 25 回学術大会 大阪国際会議場(大阪府大阪市)  
2009 年 4 月 10 日～12 日

「ウェーブレット変換後のシャント音画像の各周波数帯ごとの比較による VA 機能経時変化の定量化」

(村上彩子、**佐藤敏夫**、**川島徳道**、阿岸鉄三、澁谷有美、泉ゆかり、星野敏久、赤松眞、小見勝利)  
日本医工学治療学会第 25 回学術大会 大阪国際会議場(大阪府大阪市)  
2009 年 4 月 10 日～12 日

「バスキュラーアクセスのシャント音発生メカニズムに関する有限要素法を用いた定常流解析」

(桂尚樹、磯野裕佳、**佐藤敏夫**、**川島徳道**、阿岸鉄三、中根紀章、宗像佳克)  
日本医工学治療学会第 25 回学術大会 大阪国際会議場(大阪府大阪市)  
2009 年 4 月 10 日～12 日

「時間一周波数平面上に表したシャント音画像の比較によるバスキュラーアクセス機能の定量的評価」

(村上彩子、**本橋由香**、**佐藤敏夫**、**川島徳道**、阿岸鉄三、澁谷有美、泉ゆかり、高木絵美子、本橋尊、星野敏久、赤松眞、小見勝利)  
第 54 回(社)日本透析医学会学術集会・総会 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)  
2009 年 6 月 5 日～7 日

「バスキュラーアクセスの狭窄を模擬した擬似血管狭窄モデルに対する有限要素法を用いた流れ解析」

(**佐藤敏夫**、磯野裕佳、桂尚樹、**本橋由香**、**川島徳道**、阿岸鉄三、中根紀章、宗像佳克)  
第 54 回(社)日本透析医学会学術集会・総会 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)  
2009 年 6 月 5 日～7 日

「血液透析回路内の凝血に対する超音波スペクトルの変化を利用した非侵襲的検出」

(本橋由香、高橋亮美、佐藤敏夫、川島徳道、阿岸鉄三、近藤修)

第 54 回(社)日本透析医学会学術集会・総会 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

2009 年 6 月 5 日～7 日

「嚙下障害を有する血液透析患者に対する嚙下音のウェーブレット変換を用いた非侵襲的スクリーニング検査」

(佐藤敏夫、新妻可奈子、本橋由香、川島徳道、阿岸鉄三、小見勝利)

第 54 回(社)日本透析医学会学術集会・総会 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

2009 年 6 月 5 日～7 日

「超音波伝搬減衰の変化を利用した血液回路凝固の早期検出」

(佐藤敏夫、新妻可奈子、村上彩子、本橋由香、川島徳道、阿岸鉄三、近藤修)

平成 21 年度神奈川ものづくり技術交流会 神奈川県産業技術センター(神奈川県海老名市)

2009 年 10 月 21 日～23 日

「血管狭窄モデルを流れる拍動流の有限要素法による流れ解析」

(佐藤敏夫、磯野裕佳、桂 尚樹、本橋由香、川島徳道、阿岸鉄三、宗像佳克、中根紀章)

平成 21 年度神奈川ものづくり技術交流会 神奈川県産業技術センター(神奈川県海老名市)

2009 年 10 月 21 日～23 日

「補助循環に使用するミニサーキットの回路最適化のための有限要素法による流れ解析」

(佐藤敏夫、本橋由香、川島徳道、益田俊輔、宗像佳克、中根紀章、山田拓哉、神谷勝弘)

平成 21 年度神奈川ものづくり技術交流会 神奈川県産業技術センター(神奈川県海老名市)

2009 年 10 月 21 日～23 日

「シャント音のウェーブレット変換画像の相関によるバスキュラーアクセス機能の定量化」

(村上彩子、本橋由香、川島徳道、佐藤敏夫、澁谷有美、高木絵美子、本橋尊、星野敏久、阿岸鉄三、小見勝利)

平成 21 年度神奈川ものづくり技術交流会 神奈川県産業技術センター(神奈川県海老名市)

2009 年 10 月 21 日～23 日

「気管内吸引音のウェーブレット変換を利用した吸引効果判定」

(新妻可奈子、本橋由香、川島徳道、佐藤敏夫、金田恵子、阿岸鉄三、小見勝利)

平成 21 年度神奈川ものづくり技術交流会 神奈川県産業技術センター(神奈川県海老名市)

2009 年 10 月 21 日～23 日

「喉表面運動のビデオ画像と嚙下音信号を利用した嚙下機能評価」

(新妻可奈子、本橋由香、川島徳道、佐藤敏夫、阿岸鉄三、小見勝利)

平成 21 年度神奈川ものづくり技術交流会 神奈川県産業技術センター(神奈川県海老名市)

2009 年 10 月 21 日～23 日

“Quantification of Vascular Access Function by Correlation of Wavelet Transform Images of shunt Murmurs”

(Ayako MURAKAMI, Yuka MOTOHASHI, Norimichi KAWASHIMA, Toshio SATO, Tomomi SHIBUYA, Emiko TAKAGI, Takeru MOTOHASHI, Toshihisa HOSHINO, Tetsuzo AGISHI, Katsutoshi Omi)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009

2009 年 10 月 30 日



“Assessment of Swallowing Using Video Images of Throat Surface Movement and Swallowing Sounds”  
(Kanako NIIZUMA, Yuka MOTOHASHI, Norimichi KAWASHIMA, Toshio SATO, Tetsuzo AGISHI, Katsutoshi Omi)  
TOIN International Symposium on Biomedical engineering 2009  
2009年10月30日

### 講演会・研修会・セミナー講師

---

(記念講演)

「血液透析や人工心肺における血管狭窄や血液回路凝固といった諸問題に対する血流シミュレーションの応用」

かながわ研究交流推進協議会第6期 KANAX 発・研究プロジェクト最終発表会 神奈川県中央農業会館(神奈川県横浜市)

2009年11月20日

### その他

---

#### ○特許申請等

「透析時のアクセストラブル検知システム」

(佐藤敏夫、竹内真一、辻毅一、川島徳道、阿岸鉄三、赤松眞)

特許第4344793号 学校法人桐蔭学園

2009年7月24日

#### ○産学協同研究

「シャント血管音を一例とした生体雑音の発生メカニズムに関する有限要素法解析」

サイバネットシステム株式会社

2009年4月～2010年3月

### 村上 拓郎 (むらかみ たくろう) 講師

---



出生年 : 1977年  
在籍 : 2007年4月～  
最終学歴 : 桐蔭横浜大学大学院 工学研究科 材料工学専攻 博士課程修了  
学位 : 博士(工学)  
Ph.D. in Material Science and Engineering  
学位論文 : Application of Active Oxygen Species to Surface Modification of Polymer and Low-temperature Fabrication of Dye-sensitized Solar Cells  
専門分野 : 光化学、電気化学、光電気化学、材料工学、医用材料、多孔質半導体を用いた新規分子認識素子および光電変換素子等の開発  
前職 : Ecole Polytechnique Federale de Lausanne (EPFL, スイス連邦工科大学ローザンヌ) 博士研究員  
留学 : 北カリフォルニア大学(夏季研修奨学生)2001年  
サンフランシスコ大学(夏季研修奨学生)2002年  
スイス連邦工科大学 2005年～2007年

- 学 会 : Electrochemical Society、Material Reserch Society、日本電  
気化学会、日本化学会、色材協会
- 受 賞・表 彰 : 1993 神奈川県青少年科学作文コンクール、神奈川県知事  
賞、2001-2003 材料技術研究協会 技術賞(2001, 2002)  
ポスター奨励賞(2003)、2005 Scientific American 50  
Award、2006 2nd Honda-Fujishima Prize、2006 EPFL  
Award for excellence

## 総説・論説

---

### 「色素増感太陽電池におけるカーボン素材の応用」

(単著) 色材協会誌、82、357-362 頁

2009年8月1日

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

### “Two-Dimensional Correlation Raman Analysis of Diseased Esophagus of a Rat”

(Sota Takanezawa, Shin-ichi Morita, Hideyuki Shinzawa, **Takuro N. Murakami**, **Norimichi Kawashima**,  
Tohru Asakura, Tooru Shimosegawa, Hidetoshi Sato)

5th international symposium on two-dimensional correlation spectroscopy, Wloclaw, Poland

2009年8月4日-9日

### 「ラット食道病変の2次元相関ラマン解析」

(高根沢聡太、盛田伸一、丸山篤史、**村上拓郎**、**川島徳道**、遠藤博之、飯島克則、朝倉徹、下瀬川徹、  
佐藤英俊)

日本化学会第3回関東支部大会(早稲田大学理工学キャンパス)

2009年9月4日

### 「酸化亜鉛/酸化チタンを用いた色素増感型太陽電池の高効率化(2)」

(酒井誠弥、**川島徳道**、**村上拓郎**)

日本化学会第3回関東支部大会(早稲田大学理工学キャンパス)

2009年9月4日

### 「PEFC 内 Nafion フィルムの状態予測を目的とした酸化反応(2)」

(菅原智子、高根沢聡太、**川島徳道**、**村上拓郎**)

日本化学会第3回関東支部大会(早稲田大学理工学キャンパス)

2009年9月4日

### 「ラット食道病変のラマンプロファイル解析」

(高根沢聡太、盛田伸一、丸山篤史、**村上拓郎**、**川島徳道**、遠藤博之、飯島克則、朝倉徹、下瀬川徹、  
佐藤英俊)

第70回 応用物理学会学術講演会(富山大学)

2009年9月8日

### 「ヒト皮膚の振動分光による分析」

(高根沢聡太、盛田伸一、伊達朗、稲益直子、渡辺慎、**村上拓郎**、**川島徳道**、佐藤英俊)

第70回 応用物理学会学術講演会(富山大学)

2009年9月8日

### “Kinetic Study on Degradation of Nafion by Fenton Reaction”

(Tomoko Sugawara, Sota Takanezawa, **Norimichi Kawashima, Takuro N. Murakami**)

216th ECS Meeting, Electrochemical Society, Vienna, Austria

2009年10月4日-11日

### “Zinc Oxide and Titanium Dioxide Hybridized Photoelectrode for Dye-sensitized Solar Cell”

(Sakai Nobuya, **Norimichi Kawashima, Takuro N. Murakami**)

216th ECS Meeting, Electrochemical Society, Vienna, Austria

2009年10月4日-11日

### 「生体組織病変の二次元相関解析」

(高根沢聡太、盛田伸一、丸山篤史、**村上拓郎、川島徳道**、遠藤博之、飯島克則、朝倉徹、下瀬川徹、佐藤英俊)

第57回応用物理学関係連合講演会(東海大学湘南キャンパス)

2010年3月20日

### 「PEFC内Nafion(R)フィルムの状態予測を目的とした酸化反応(3)」

(菅原智子、高根沢聡太、**川島徳道、村上拓郎**)

日本化学会第90春季年会(近畿大学本部キャンパス)

2010年3月27日

### 「ZnO/TiO<sub>2</sub>複合電極を用いた色素増感型太陽電池の高効率化(3)」

(酒井誠弥、**川島徳道、村上拓郎**)

日本化学会第90春季年会(近畿大学本部キャンパス)

2010年3月27日

### 「ZnO/TiO<sub>2</sub>複合電極を用いた色素増感型太陽電池の高効率化(4)」

(酒井誠弥、**川島徳道、村上拓郎**)

電気化学会77回大会(富山大学五福キャンパス)

2010年3月31日

### 講演会・研修会・セミナー講師

---

「色素増感型太陽電池の一般化材料からの脱却 対極と半導体材料」

静岡大学薄膜基板研究懇話会(スズキゲストハウス)

2010年1月28日

(主催/開催)

Japan-UK Workshop on Dye-sensitized Solar Cells 2009(桐蔭横浜大学・横浜市)

2009年10月29日

### その他

---

#### ○補助金・助成金等

科学技術振興機構(JST) 戦略的国際科学技術協力推進事業(イギリス)

研究代表者 2009-2010

## ○海外出張

2009年8月24日-31日

イギリス、オックスフォード大学 共同研究に基づく研究

2009年10月5日-11日

オーストリア、ウィーン 国際会議での研究発表

## 黒澤美緒（くろさわ みお）助教

---



出生年：1983年  
在籍：2010年8月～  
最終学歴：藤田保健衛生大学短期大学専攻科  
学位：保健衛生学士（学位認定授与機構にて取得）  
専門分野：生体機能代行装置学、臨床工学  
前職：石心会 さいわい鹿島田クリニック  
資格：国家資格；臨床工学技士、臨床検査技師  
認定資格；ME 2種  
学会：体外循環技術医学会、人工臓器学会、日本透析医学会、  
医工学治療学会、日本臨床工学技士会

## 本橋由香（もとはし ゆか）助手

---



出生年：1982年  
在籍：2009年4月～  
最終学歴：桐蔭横浜大学大学院工学研究科医用工学専攻修士課程  
修了  
学位：工学修士  
学位論文：血液透析患者におけるシャント音の時間-周波数解析に  
よるバスキュラーアクセスの機能評価  
専門分野：生体計測、医用統計学、臨床工学  
前職：桐蔭横浜大学職員  
資格：第2種ME技術実力検定試験合格（2002）  
学会：日本透析医学会

## 論文掲載

---

「シャント雑音のウェーブレット変換と正規相互相関分析法に基づいたバスキュラーアクセスの機能評価」  
(共著：佐藤敏夫、村上彩子、桂尚樹、本橋由香、川島徳道、澁谷有美、泉ゆかり、高木絵美子、本橋尊、星野敏久、赤松眞、阿岸鉄三、小見勝利)

医工学治療 Vol.21 No.3 161頁-170頁

2009年9月1日

---

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(口頭発表)

「気管内吸引を必要とする血液透析患者の吸引音に対する時間一周波数分析に基づく吸引効果判定」

(佐藤敏夫、新妻可奈子、本橋由香、川島徳道、阿岸鉄三、金田恵子、小見勝利)

第 54 回(社)日本透析医学会学術集会・総会 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

2009 年 6 月 5 日～7 日

「動脈硬化症と血液透析中の血圧低下との関係を求めた多変量解析」

(小島久、東ヶ崎明子、轟原浩、阿岸鉄三、本橋由香、佐藤敏夫、川島徳道)

第 54 回(社)日本透析医学会学術集会・総会 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

2009 年 6 月 5 日～7 日

「生体雑音の時間一周波数解析による非侵襲生体機能診断」

(村上彩子、新妻可奈子、本橋由香、佐藤敏夫、川島徳道、澁谷有美、高木絵美子、本橋尊、星野敏久、阿岸鉄三、小見勝利)

(社)電子情報通信学会超音波研究会 桐蔭横浜大学(神奈川県横浜市)

2009 年 7 月 17 日

「AVF の狭窄を模擬した血管モデルを流れる拍動流に対する有限要素法による流れ解析」

(桂尚樹、磯野裕佳、本橋由香、佐藤敏夫、川島徳道、阿岸鉄三、中根紀章、宗像佳克)

第 47 回日本人工臓器学会大会 新潟コンベンションセンター(新潟県新潟市)

2009 年 11 月 12 日～14 日

「超音波伝搬減衰のモニタリングによる血液回路凝固の非侵襲的早期検出」

(佐藤敏夫、新妻可奈子、村上彩子、本橋由香、川島徳道、近藤修、阿岸鉄三)

第 47 回日本人工臓器学会大会 新潟コンベンションセンター(新潟県新潟市)

2009 年 11 月 12 日～14 日

「正規相互相関分析法及びシャント音の持続時間の定量化によるバスキュラーアクセスの機能評価」

(村上彩子、佐藤敏夫、本橋由香、川島徳道、澁谷有美、高木絵美子、本橋尊、阿岸鉄三、小見勝利)

第 47 回日本人工臓器学会大会 新潟コンベンションセンター(新潟県新潟市)

2009 年 11 月 12 日～14 日

「気管内吸引中の吸引音及び吸引前後の呼吸音に対する時間一周波数解析に基づいた吸引効果判定」

(新妻可奈子、本橋由香、佐藤敏夫、川島徳道、金田恵子、阿岸鉄三、小見勝利)

第 47 回日本人工臓器学会大会 新潟コンベンションセンター(新潟県新潟市)

2009 年 11 月 12 日～14 日

「喉表面の動きを撮影したビデオ画像及び嚙下音の同期記録・解析装置による非侵襲嚙下機能評価」

(新妻可奈子、本橋由香、佐藤敏夫、川島徳道、阿岸鉄三、小見勝利)

第 47 回日本人工臓器学会大会 新潟コンベンションセンター(新潟県新潟市)

2009 年 11 月 12 日～14 日

「動脈硬化症進展と血液透析中の血圧低下との相関」

(小島久、吉川学、東ヶ崎明子、阿岸鉄三、本橋由香、佐藤敏夫、川島徳道)第 47 回日本人工臓器学会

大会 新潟コンベンションセンター(新潟県新潟市)

2009年11月12日～14日

「血液透析における血液回路内凝固の専属的モニタリング方法の検討」

(佐藤敏夫、水嶋洋佑、新妻可奈子、村上彩子、**本橋由香**、**川島徳道**、阿岸鉄三)

(社)電子情報通信学会超音波研究会 関西大学(大阪府吹田市)

2010年1月25日～26日

(ポスター発表)

「超音波センサを利用した血液透析回路内の凝血発生の非侵襲的早期検出の試み」

(**本橋由香**、高橋亮美、**佐藤敏夫**、**川島徳道**、阿岸鉄三、近藤修)

日本医工学治療学会第25回学術大会 大阪国際会議場(大阪府大阪市)

2009年4月10日～12日

「時間一周波数平面上に表したシャント音画像の比較によるバスキュラーアクセス機能の定量的評価」

(村上彩子、**本橋由香**、**佐藤敏夫**、**川島徳道**、阿岸鉄三、澁谷有美、泉ゆかり、高木絵美子、本橋尊、星野敏久、赤松眞、小見勝利)

第54回(社)日本透析医学会学術集会・総会 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

2009年6月5日～7日

「バスキュラーアクセスの狭窄を模擬した擬似血管狭窄モデルに対する有限要素法を用いた流れ解析」

(**佐藤敏夫**、磯野裕佳、桂尚樹、**本橋由香**、**川島徳道**、阿岸鉄三、中根紀章、宗像佳克)

第54回(社)日本透析医学会学術集会・総会 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

2009年6月5日～7日

「血液透析回路内の凝血に対する超音波スペクトルの変化を利用した非侵襲的検出」

(**本橋由香**、高橋亮美、**佐藤敏夫**、**川島徳道**、阿岸鉄三、近藤修)

第54回(社)日本透析医学会学術集会・総会 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

2009年6月5日～7日

「嚙下障害を有する血液透析患者に対する嚙下音のウェーブレット変換を用いた非侵襲的スクリーニング検査」

(**佐藤敏夫**、新妻可奈子、**本橋由香**、**川島徳道**、阿岸鉄三、小見勝利)

第54回(社)日本透析医学会学術集会・総会 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

2009年6月5日～7日

「超音波伝搬減衰の変化を利用した血液回路凝固の早期検出」

(**佐藤敏夫**、新妻可奈子、村上彩子、**本橋由香**、**川島徳道**、阿岸鉄三、近藤修)

平成21年度神奈川ものづくり技術交流会 神奈川県産業技術センター(神奈川県海老名市)

2009年10月21日～23日

「血管狭窄モデルを流れる拍動流の有限要素法による流れ解析」

(**佐藤敏夫**、磯野裕佳、桂尚樹、**本橋由香**、**川島徳道**、阿岸鉄三、宗像佳克、中根紀章)

平成21年度神奈川県ものづくり技術交流会 神奈川県産業技術センター(神奈川県海老名市)

2009年10月21日～23日

「補助循環に使用するミニサーキットの回路最適化のための有限要素法による流れ解析」

(**佐藤敏夫**、**本橋由香**、**川島徳道**、益田俊輔、宗像佳克、中根紀章、山田拓哉、神谷勝弘)

平成 21 年度神奈川県ものづくり技術交流会 神奈川県産業技術センター(神奈川県海老名市)  
2009 年 10 月 21 日～23 日

「シャント音のウェーブレット変換画像の相関によるバスキュラーアクセス機能の定量化」

(村上彩子、**本橋由香**、**川島徳道**、**佐藤敏夫**、澁谷有美、高木絵美子、本橋尊、星野敏久、阿岸鉄三、小見勝利)

平成 21 年度神奈川県ものづくり技術交流会 神奈川県産業技術センター(神奈川県海老名市)  
2009 年 10 月 21 日～23 日

「気管内吸引音のウェーブレット変換を利用した吸引効果判定」

(新妻可奈子、**本橋由香**、**川島徳道**、**佐藤敏夫**、金田恵子、阿岸鉄三、小見勝利)

平成 21 年度神奈川県ものづくり技術交流会 神奈川県産業技術センター(神奈川県海老名市)  
2009 年 10 月 21 日～23 日

「喉表面運動のビデオ画像と嚥下音信号を利用した嚥下機能評価」

(新妻可奈子、**本橋由香**、**川島徳道**、**佐藤敏夫**、阿岸鉄三、小見勝利)

平成 21 年度神奈川県ものづくり技術交流会 神奈川県産業技術センター(神奈川県海老名市)  
2009 年 10 月 21 日～23 日

“Quantification of Vascular Access Function by Correlation of Wavelet Transform Images of shunt Murmurs”

(Ayako MURAKAMI, **Yuka MOTOHASHI**, **Norimichi KAWASHIMA**, **Toshio SATO**, Tomomi SHIBUYA, Emiko TAKAGI, Takeru MOTOHASHI, Toshihisa HOSHINO, Tetsuzo AGISHI, Katsutoshi Omi)

TOIN International Symposium on Biomedical engineering 2009, Toin University of Yokohama, Yokohama, Japan

2009 年 10 月 30 日

“Assessment of Swallowing Using Video Images of Throat Surface Movement and Swallowing Sounds”

(Kanakano NIIZUMA, **Yuka MOTOHASHI**, **Norimichi KAWASHIMA**, **Toshio SATO**, Tetsuzo AGISHI, Katsutoshi Omi)

TOIN International Symposium on Biomedical engineering 2009, Toin University of Yokohama, Yokohama, Japan

2009 年 10 月 30 日

## 工学部 (Faculty of Engineering)

### 電子情報工学科 (Department of Electronics and Information Engineering)

#### 杉本恒美 (すぎもと つねよし) 教授

---



出生年 : 1964 年  
在籍 : 1993 年 4 月～  
最終学歴 : 東京工業大学大学院博士課程  
学位 : 工学博士  
学位論文 : 放射圧を用いた生体組織の硬さ計測に関する基礎的研究  
専門分野 : 超音波工学、音響工学、生体医用工学  
資格 : 第一種情報処理技術者  
学会 : 日本音響学会、日本超音波医学会、日本生体医工学会、  
日本文化財探査学会、IEEE  
受賞・表彰 : 日本超音波医学会「超音波工学 Fellow」  
(1999-2004,2005-2009,2009-2013)  
Scilab Toolbox Japan Contest 2009, 一般部門 最優秀賞

#### 論文掲載

---

「遺跡・遺構のための音波探査用地中ソナーの研究 -超磁歪振動子を用いた映像分解能の改善-」

(共著:川崎拓、**杉本恒美**)

桐蔭論叢 第 20 号 107-118 頁

2009 年 6 月 15 日

「SLDVを用いた極浅層地中探査法の研究 -空中放射音波を用いた探査法の検討-」

(共著:阿部冬真、**杉本恒美**)

桐蔭論叢 第 20 号 119-125 頁

2009 年 6 月 15 日

「音波を用いた極浅層地中探査 -超音波を用いた冠水土壤中の映像化の検討-」

(共著:瀬尾邦彦、白川貴志、**杉本恒美**)

桐蔭論叢 第 20 号 127-131 頁

2009 年 6 月 15 日

“Extremely Shallow Underground Imaging Using Scanning Laser Doppler Vibrometer”

(Touma Abe, **Tsuneyoshi Sugimoto**)

JJAP Vol.48, 07GC07, pp.1-3

2009 年 8 月 19 日

“Resolution Improvement of Underground Images Using Pulse Compression”

(Hiraku Kawasaki, **Tsuneyoshi Sugimoto**)

JJAP Vol.48, 07GC08, pp.1-5

2009 年 8 月 19 日



「遺跡・遺構のための音波探査のための地中ソナーの研究、-パルス圧縮を用いた映像分解能の改善-

(共著:川崎拓、**杉本恒美**)

文化財と探査 Vol.11, No.1 3-7 頁

2009年8月24日

「SLDVを用いた極浅層地中探査法の研究」

(共著:阿部冬真、**杉本恒美**)

文化財と探査 Vol.11, No.1 8-14 頁

2009年8月24日

「超音波を使用した冠水土壤中での極浅層地中探査」

(共著:瀬尾邦彦、白川貴志、**杉本恒美**)

文化財と探査 Vol.11, No.1 15-21 頁

2009年8月24日

## 総説・論説

---

「超音波を用いた冠水土壤中での地雷探査、-超音波による極浅層領域映像化の検討-

(共著:瀬尾邦彦、白川貴志、**杉本恒美**)

超音波 TECHNO, Vol.21, No.3 1-9 頁

2009年6月1日

「パルス圧縮を用いた浅層地中分解能」

(単著) 化学工業, Vol.60, No.9 23-28 頁

2009年8月24日

「音波による遺跡探査・地雷探査システム」

(単著) 計測と制御, Vol.49, No.1 45-50 頁

2010年1月10日

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「遺跡・遺構のための横波音波を用いた地中映像化の検討 -チャープ波の周波数依存減衰を考慮した検討-

(**杉本恒美**、川崎拓)

日本文化財探査学会第12回大会(立命館大学 衣笠キャンパス、敬学館)

2009年6月14日

「SLDVを用いた極浅層地中探査法の研究 -埋設物の識別に関する検討-

(阿部冬真、**杉本恒美**)

日本文化財探査学会第12回大会(立命館大学 衣笠キャンパス、敬学館)

2009年6月14日

「SLDVを用いた極浅層地中映像化に関する研究(III)、一周波数応答を用いた埋設物の識別に関する検討-

(阿部冬真、**杉本恒美**)

日本音響学会秋季研究発表会(日大郡山)

2009年9月16日

“Study on the shallow underground imaging by the pulse compression method that considered frequency dependent attenuation”

(**Tsuneyoshi Sugimoto**, Hiraku Kawasaki)

IEEE2009 International Ultrasonic Symposium, Ergife Palace Hotel: Rome, Italy

2009年9月21日

“Distinguishing the Buried Objects of Extremely Shallow Underground by Frequency Response Using Scanning Laser Doppler Vibrometer”

(Touma Abe, **Tsuneyoshi Sugimoto**)

Toin International Symposium on Biomedical Engineering 2009, 1st Floor, International exchange Hall

2009年10月30日

“Distinguishing the Buried Objects of Extremely Shallow Underground by Frequency Response Using Scanning Laser Doppler Vibrometer”

(Touma Abe, **Tsuneyoshi Sugimoto**)

The 30th Symposium on Ultrasonic Electronics, Doushisya Univ. (Kanbai-kan)

2009年11月18日

「SLDVを用いた極浅層地中映像化に関する研究、-埋設物の検出に関する検討-」

(阿部冬真、**杉本恒美**)

アコースティックイメージング研究会(東京計器(蒲田))

2009年2月24日

「音波振動による土壤中水分分布計測に関する基礎研究」

(中川裕、松浦孝輝、**杉本恒美**)

日本音響学会春季研究発表会(電気通信大学)

2010年3月10日

「SLDVを用いた極浅層地中映像化に関する研究(IV)」

(渡邊晶子、阿部冬真、**竹内真一**、**杉本恒美**)

日本音響学会春季研究発表会(電気通信大学)

2010年3月8日

「SLDVを用いた極浅層地中映像化に関する研究(V)」

(阿部冬真、**杉本恒美**)

日本音響学会春季研究発表会(電気通信大学)

2010年3月8日

「遺跡・遺構のための横波音波を用いた地中映像化の検討、-チャープ波の駆動方法の違いにおける地中映像への影響に関する検討-」

(北澤貴浩、**杉本恒美**、川崎拓)

日本音響学会春季研究発表会(電気通信大学)

2010年3月8日

#### **講演会・研修会・セミナー講師**

「最新の音波による浅層地中探査の現状とその応用-遺跡探査から農工融合の水分分布計測まで-」

第1回 JTTASと産学連携プロジェクト 特別講演(秋葉原ダイビル)

2009年6月20日

「埋設物応答輝度表示プログラム「r\_freq.sci」

(阿部冬真、杉本恒美)

Scilab Toolbox Japan Contest 2009(国立情報学研究所)

2009年11月4日

「信号処理ツールプログラム「tslab4.sci」

(阿部冬真、杉本恒美)

Scilab Toolbox Japan Contest 2009(国立情報学研究所)

2009年11月4日

「パルス圧縮を用いた極浅層地中映像化用プログラム群」

Scilab Toolbox Japan Contest 2009(国立情報学研究所)

2009年11月4日

## その他

---

### ○表彰・受賞

「最優秀賞(Scilab Toolbox Japan Contest 2009, 一般部門)」

Scilab Toolbox Japan Contest 2009(国立情報学研究所)

2009年11月4日

### ○産学協同研究

佐藤工業(株)との共同実験(音響探査システムの開発)

### ○補助金・助成金等

2008-2010(平成20-22)年度 科学研究費基盤研究(C)(研究分担者)

テーマ名:「コロコフ音の波形分析による新たな健康管理指標の検討」

2009(平成21)年度 JST シーズ発掘試験(A)

テーマ名「長距離音響発生装置を用いた極浅層地中探査システムの開発と応用」

### ○海外出張

2009年9月17日～24日

2009 IEEE UFFC (Roma)

### ○その他特記事項

「英国サウサンプトン大学との共同実験」

2010年1月18日～22日

## 須藤 昭一 (すどう しょういち) 教授

---



- 出生年 : 1952 年  
在籍 : 2005 年 9 月～  
最終学歴 : 金沢大学工学部電子工学科  
学位 : 工学博士  
学位論文 : Studies on the Vapor-Phase Axial Deposition Method for Optical Fiber Fabrication (東京大学 1982 年)  
専門分野 : 光ファイバ、IT、医用センサ、脳科学  
前職 : NTT マイクロシステムインテグレーション研究所 所長、NTT エレクトロニクス株式会社技師長  
留学 : Stanford University (米国; 1986～1987)  
学会 : IEEE、電子情報通信学会、日本医療情報学会  
社会的活動 : 通商産業省企画室調査委員会委員(1989)  
IPR'90 Program Committee(1990)  
OEC'92 Program Committee(1992)  
CLEO'94-'96 Program Committee(1994～1996)  
IOOC'95 Program Committee(1995)  
CLEO/PR'95 Program Committee(1995)  
電子情報通信学会英文論文誌編集委員長(1997～1998)  
CLEO'98 Program Committee(1998)  
電子情報通信学会東京支部評議委員(1999～2001)  
IEEE/LEOS Vice President(1999～2002)  
放送大学講師(1999～2002)  
横浜市立大学医学部客員教授(2003～)  
文部科学省革新技术活性化委員会委員(2003)  
電子情報通信学会編集理事(2003～2005)
- 受賞・表彰 : (社)電子通信学会学術奨励賞(1979)  
(社)電子情報通信学会 論文賞(1981)  
(社)電子情報通信学会 論文賞(1995)  
(財)光産業技術振興協会 第 13 回桜井健二郎氏記念賞(1997)  
米国 IEEE フェロー賞(1999)  
(社)電子情報通信学会業績賞(2001)  
文部科学大臣賞(2002)

## 高橋 宗雄 (たかはし むねお) 教授

---



出生年 : 1944 年  
在籍 : 1991 年 10 月～  
最終学歴 : 千葉大学工学部電気工学科  
学位 : 工学博士  
学位論文 : ソフトウェアの信頼性評価法に関する研究  
専門分野 : ソフトウェア工学、情報システム学、コンピュータ科学  
前職 : 日本電信電話(株)ソフトウェア研究所主幹研究員  
非常勤講師 : 鳥取大学工学部 (1995)、徳島大学工学部 (1997)  
学会 : 電子情報通信学会、情報処理学会、プロジェクトマネジメント学会、日本品質管理学会、電子情報通信学会ソサイエティ論文誌査読委員 (1998～)、日本品質管理学会評議員 (1996～1998)、プロジェクトマネジメント学会理事 (2003～2007)  
社会的活動 : ISO / IEC JTC1 / SC7 専門委員会委員及び WG23 小委員会主査 (2003～)、(独) 情報処理推進機構ソフトウェアエンジニアリングセンター見積り手法部会委員 (2004～2007)、(財) 日本科学技術連盟ソフトウェア品質技術者資格運営委員会委員 (2009～)  
受賞・表彰 : 情報処理学会論文賞 (1984)、日経品質管理文献賞 (1991)、精密測定技術振興財団品質工学賞 (論文賞) (1997)、ISO / IEC JTC1 / SC7 Achievement Award (1999)、情報処理学会標準化貢献賞 (2000)、プロジェクトマネジメント学会論文賞 (2006)

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

#### “Web-Based Troubleshooter Generation for System Administration”

(Takao Shimomura, Kenji Ikeda, **Munehiko Takahashi**)

2009 Word Congress on Computer Science and Information Engineering, Los Angeles, USA

2009 年 4 月 5 日

#### 「マルチエージェント技術によるエラー検出能力改善中心 PSP 演習支援システム」

(山口大輔、片山富美代、**高橋宗雄**)

日本知能情報ファジィ学会第 25 回ファジィシステムシンポジウム(筑波大学)

2009 年 7 月 14 日

#### “Synchronization of Multi-window requests for Server-side Regression Test of Web Applications”

(Takao Shimomura, Kenji Ikeda, **Munehiko Takahashi**)

9th International Conference on Quality Software(QSI2009), Jeju, Korea

2009 年 8 月 24 日

#### “The Medical Diagnosis Support System with Intelligent Multiagent Techniques by Performance Differential Difference”

(Kazuyoshi Nakano, **Daisuke Yamaguchi**, **Fumiyo Katayama**, **Munehiko Takahashi**)

IEEE SMC, Hiroshima University

2009 年 11 月 10 日

## 飯島 健太郎 (いじま けんたろう) 准教授

---



- 出生年 : 1969 年  
在籍 : 2002 年 4 月～  
最終学歴 : 東京農業大学大学院農学研究科農学専攻博士後期課程  
修了  
学位 : 農学博士、造園学修士  
学位論文 : 緑化用植物としての Sedum の生育特性の解明に関する研究  
専門分野 : 造園学、都市緑化、環境植栽学  
前職 : 東京農業大学地域環境科学部造園科学科助手  
学会 : 日本造園学会、日本緑化工学会、日本芝草学会、日本生理人類学会、人間植物関係学会  
社会的活動 : 国際多肉植物協会日本支部(ISIJ)総合学術委員、NPO 法人日本多肉植物の会顧問、道路緑化保全協会編集委員会幹事、農林水産省種苗特性分類調査委託事業(クラスラ)作成委員会委員、(財)日本公園緑地協会緑・花文化の知識認定試験問題作成委員、愛知万博における壁面緑化実験計画・調査に関する検討委員会委員、薄層緑化技術向上協会技術顧問、日本造園学会代議員、同論文集委員会委員、同ランドスケープ技術研究委員会幹事、同造園 CPD 推進委員会委員・同プログラム認定委員会副幹事、日本芝草学会総務担当理事、同編集委員会委員、(社)日本インドア・グリーン協会活性化検討委員会委員、(財)日本公園緑地協会 公園緑地 有識者校正委員、首都高速大橋ジャンクション周辺緑化アドバイス会議アドバイザー、低炭素社会における高速道路空間のあり方に関する研究委員会委員、(財)環境情報科学センター、平成 21 年度ヒートアイランド現象による環境影響等に関する調査業務委員  
受賞・表彰 : 大日本農会賞(1992 年 3 月)  
日本造園学会賞・研究奨励賞(2003 年 5 月)  
道路緑化保全協会菊池奨励賞(2008 年 5 月)

### 論文掲載

---

#### 「拡大多様化する屋上緑化」

(単著) 桐蔭論叢 第 20 号 39-47 頁

2009 年 6 月 15 日

#### 「芝生の歩行踏圧ストレスに関する事例報告」

(共著: 飯島健太郎、涌井史郎)

桐蔭論叢 第 20 号 49-55 頁

2009 年 6 月 15 日

#### 「低木を用いた基盤設置型壁面緑化による暑熱環境緩和効果」

(共著: 石井伸明、涌井史郎、佐藤忠継、飯島健太郎)

芝草研究 38(2) 156-161 頁

2010 年 3 月

## 総説・論説

---

### 「ドイツ南西地域の環境緑化とグラウンドカバープランツ」

(単著) 芝草研究 38(1) 1-9 頁

2009年10月

### 「屋上緑化とホスピタリティ」

(単著) 芝草研究 38(1) 79-84 頁

2009年10月

### 「基盤設置型壁面緑化にみるグラウンドカバープランツ」

(単著) 芝草研究 38(2) 131-140 頁

2010年3月

### 「オリジナル品種で差別化を図る」

(共著: 山下律正、**飯島健太郎**) 芝草研究 38(2) 196-201 頁

2010年3月

### 「グラウンドカバープランツ生産の工夫と今後の課題」

(単著) 芝草研究 38(2) 196-201 頁

2010年3月

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

### 「パネル型壁面緑化による暑熱環境緩和効果に関する研究」

(石井伸明、**涌井史郎**、**飯島健太郎**)

日本芝草学会春季大会(東京大学)

2009年6月14日

### 「芝生の歩行踏圧ストレスに関する事例報告」

(荒川純、金澤健、中島由香里、石井伸明、**涌井史郎**、**飯島健太郎**)

日本芝草学会春季大会(東京大学)

2009年6月14日

### “Effect of Wall Greening on improving the Thermal Environment”

(Nobuaki ISHII, **Shiro WAKUI**, **Kentaro IJIMA**)

TOIN International Symposium on BME2009

2009年10月30日

### “Psychological Effect of Horticultural Therapy on the Nursing home the Conversational Analysis that Uses KJ method”

(Masashi TAKEUTHI, **Shiro WAKUI**, **Kentaro IJIMA**)

TOIN International Symposium on BME2009

2009年10月30日

### “On the Insulating Effect and Air Temperature Moderation by Planting Form In Rooftop Gardening”

(Tetsuro YOKOBORI, **Shiro WAKUI**, **Kentaro IJIMA**)

TOIN International Symposium on BME2009

2009年10月30日

## 講演会・研修会・セミナー講師

---

「園芸療法の理論と演習」(雇用能力開発機構)

資格講座講義／訪問介護員要請講座(委託・緑成会緑の郷)

2009年8月17日/11月20日/2010年2月19日

## その他

---

### ○産学協同研究

「植物による重金属等の土壌汚染物質の除去作用とその効果を指標する生育反応に関する研究」

(浦井史郎、飯島健太郎)

(株)熊谷組

2009年4月～2010年3月

「薄層型屋上緑化による暑熱環境緩和ならびに省エネ効果に関する研究」

大日化成(株)

2009年4月～2010年3月

「パネル型壁面緑化システムによる暑熱環境緩和効果と給水量に関する研究」

イビデングリーンテック(株)

2009年7月～2010年3月

「遮熱・断熱塗料による断熱効果の性能比較検証研究」

(浦井史郎、飯島健太郎)

(株)東急ホームズ

2009年8月～2010年3月

「遮熱・断熱塗料による断熱効果の性能比較及び快適性の定量的検証研究」

(浦井史郎、飯島健太郎)

(株)日進産業

2009年10月～2010年3月

### ○その他特記事項

「港区をケーススタディとした立体的空地の現況と都市環境改善寄与に関する研究」(報告書)

(浦井史郎・飯島健太郎)

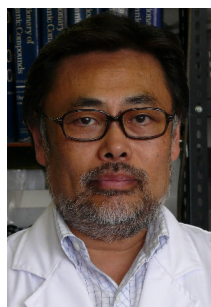
森ビル・桐蔭横浜大学

2009年10月



## 齋藤 潔 (さいとう きよし) 准教授

---



- 出生年 : 1956 年  
在籍 : 1990 年 3 月～  
最終学歴 : 筑波大学大学院博士課程  
学位 : 理学博士、学術修士(環境)  
学位論文 : Synthesis and Applications of Hemin Copolymer as Polymer Reagents  
専門分野 : 有機化学、高分子化学、機能性高分子化学、環境科学  
前職 : 通産省工業技術院製品科学研究所博士研究員(非常勤)  
資格 : (社)ネイチャーゲーム協会初級指導員  
学会 : 日本化学会、日本化学会生体機能関連化学部会、有機合成化学協会、高分子学会、民族自然史研究会、日本内分泌攪乱化学物質学会、日本環境教育学会、植物化学調節学会、こども環境学会  
社会的活動 : 文部科学省専門教育課サイエンス・ボランティア登録、(社)ネイチャーゲーム協会初級指導員、日本化学会化学教育協議会化学普及小委員会委員、日本化学会夢・わくわく化学展 2001 実行委員、日本化学会化学教育協議会 DVD 作成・メディア対応委員会委員、日本化学会化学教育協議会夢化学委員会委員、普及交流委員会委員、実験体験 TG 主査  
受賞・表彰 : 松籟科学技術振興財団研究助成(1996)、日本環境教育学会浦野環境教育奨励金(2000)、第9回コカ・コーラ環境教育賞奨励賞(2002)

### 著書出版

---

(2008 年度未掲載分 1 件)

「OH ラジカル類の生成と応用技術」

(共著: 中山繁樹、齋藤潔 他) NTS 132-141 頁(第 1 篇、第 2 章、第 4 節 8 を担当)

2008 年 9 月 5 日

### 論文掲載

---

「出会いのための実験体験 -幼稚園・学童保育への活動を通じて-」

(単著) 化学と教育 57 巻 7 号 314-317 頁

2009 年 7 月 20 日

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(依頼講演)

「出会いのための実験体験 -幼稚園・学童保育への活動を通じて-」

日本化学会第 89 春季年会 (東京)

2009 年

(口頭発表)

「メキシコマンネングサ中の糖産生量の定量による生育状態の診断 I」

(信田亜希、手塚朋洋、**飯島健太郎**、**齋藤潔**)

植物化学調節学会第 44 回大会研究発表記録集、16 (仙台)

2009 年

「ポリアニリンを用いる空気中の酸素の活性化とその有機反応への応用」

(堀川慶次朗、**齋藤潔**)

日本化学会第 90 春季年会、416 (大阪)

2010 年

「ポリアニリンを用いる空気中の酸素の活性化と環状ケトン類の酸化」

(山田優樹、**齋藤潔**)

日本化学会第 90 春季年会、416 (大阪)

2010 年

(Poster Presentation)

「ポリアニリン電極を用いた活性酸素の連続発生とその効率化 IV」

(堀川慶次朗、小石明弘、**齋藤潔**)

第 18 回ポリマー材料フォーラム、222 (東京)

2009 年

「ポリアニリンを用いる空気中の酸素の活性化とその応用」

(山田優樹、渡邊大雄、**齋藤潔**)

第 18 回ポリマー材料フォーラム、223 (東京)

2009 年

「環境教育における野外調査への潜望鏡型 DVD 分光器の応用」

(戸張祥太郎、**齋藤潔**)

日本化学会第 90 春季年会、575 (大阪)

2010 年

「ポリアニリンを用いる空気中の酸素の活性化とその有機反応への応用」

(渡邊大雄、**齋藤潔**)

日本化学会第 90 春季年会、523 (大阪)

2010 年

「ポリアニリン / 酸素 / 水系でのヒドロキシチロソールの酸化反応挙動」

(養田太一、**齋藤潔**)

日本化学会第 90 春季年会、1561 (大阪)

2010 年

#### **講演会・研修会・セミナー講師**

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業

「地域活動支援」、「子供達と楽しむための理科実験」、「わくわくじっけんきょうしつ / スライムと塩」

体験型打ち合わせ、教員、横浜市立みたけ台小学校

2009 年 7 月 21 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業  
「地域活動支援」、「わくわくじっけんきょうしつ / スライムと塩」  
子供の教室、横浜市立みたけ台小学校  
2009 年 7 月 21 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業  
「地域活動支援」、「子供達と楽しむための理科実験」、「わくわくじっけんきょうしつ / スライムと塩」  
体験型打ち合わせ、横浜市立榎が丘小学校、教員  
2009 年 7 月 22 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業  
「地域活動支援」、「わくわくじっけんきょうしつ / スライムと塩」  
子供の教室、横浜市立榎が丘小学校  
2009 年 7 月 22 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業  
「地域活動支援」、「子供達と楽しむための理科実験」、「わくわくじっけんきょうしつ / カレーの粉や紫のやさいで色の変わる紙を作ろう」  
体験型打ち合わせ、町田市、教員、指導員、こどもセンター つるっこ  
2009 年 7 月 30 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業  
「地域活動支援」、「わくわくじっけんきょうしつ / カレーの粉や紫のやさいで色の変わる紙を作ろう」  
子供の教室、町田市、こどもセンター つるっこ  
2009 年 7 月 30 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業  
「地域活動支援」、「子供達と楽しむための理科実験」、「わくわくじっけんきょうしつ / カレーの粉や紫のやさいで色の変わる紙を作ろう」  
体験型打ち合わせ、東日暮里ふれあい館、学童保育指導員、保育士専門学校学生  
2009 年 8 月 1 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業  
「地域活動支援」、「わくわくじっけんきょうしつ / カレーの粉や紫のやさいで色の変わる紙を作ろう」  
東日暮里ふれあい館  
2009 年 8 月 1 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業  
「地域活動支援」、「子供達と楽しむための理科実験」、「わくわくじっけんきょうしつ / カレーの粉や紫のやさいで色の変わる紙を作ろう」  
体験型打ち合わせ、西日暮里ふれあい館、学童保育指導員、保育士専門学校学生  
2009 年 8 月 6 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業  
「地域活動支援」、「わくわくじっけんきょうしつ / カレーの粉や紫のやさいで色の変わる紙を作ろう」  
西日暮里ふれあい館  
2009 年 8 月 6 日

夢化学 21 委員会

「わくわくじっけんきょうしつ / かみオムツでエネルギー？」

子供の教室、横浜開国博(Y150)ヒルサイド、サイエンス広場

2009 年 8 月 20～23 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業

「地域活動支援」、「子供達と楽しむための理科実験」、「わくわくじっけんきょうしつ / カレーの粉や紫のやさいで色の変わる紙を作ろう」

体験型打ち合わせ、横浜市立鉄小学校、教員

2009 年 8 月 24 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業

「地域活動支援」、「わくわくじっけんきょうしつ / カレーの粉や紫のやさいで色の変わる紙を作ろう」

横浜市立鉄小学校

2009 年 8 月 24 日

「ワンデーサイエンス」(9 時 30 分から 15 時)、「理科から環境を考えよう」

桐蔭学園中学女子部

2009 年 8 月 27・28 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業

「地域活動支援」、「子供達と楽しむための理科実験」、「わくわくじっけんきょうしつ / カレーの粉や紫のやさいで色の変わる紙を作ろう」

体験型打ち合わせ、町田市立南成瀬小学校、教員、指導員

2009 年 9 月 2 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業

「地域活動支援」、「わくわくじっけんきょうしつ / カレーの粉や紫のやさいで色の変わる紙を作ろう」

町田市立南成瀬小学校

2009 年 9 月 2 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業

「地域活動支援」、「子供達と楽しむための理科実験」、「わくわくじっけんきょうしつ / カレーの粉や紫のやさいで色の変わる紙を作ろう」

体験型打ち合わせ、江戸川区立小松川小学校、教員、指導員

2009 年 9 月 17 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業

「地域活動支援」、「わくわくじっけんきょうしつ / スライムと塩」

江戸川区立小松川小学校

2009 年 9 月 17 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業

「地域活動支援」、「子供達と楽しむための理科実験」、「わくわくじっけんきょうしつ / スライムと塩」

体験型打ち合わせ、道灌山学園、教員

2009 年 10 月 17 日

平成 21 年度 地域の科学舎推進事業  
「地域活動支援」、「わくわくじっけんきょうしつ / スライムと塩」  
子供の教室、道灌山学園  
2009 年 10 月 17 日

化学教育協議会への直接依頼  
「わくわくじっけんきょうしつ / スライムと塩」、「わくわくじっけんきょうしつ / カレーの粉や紫のやさいで  
色の変わる紙を作ろう」  
子供の教室、柏市立豊小学校  
2009 年 11 月 17 日、20 日

インフルエンザで 9 月 17 日に参加できなかった子どもための教室  
「わくわくじっけんきょうしつ / スライムと塩」  
江戸川区立小松川小学校  
2009 年 11 月 26 日

## その他

---

### ○産学協同研究

「ポリアニリンを用いる活性酸素の連続発生とその応用」  
ワコンデイビー  
2009 年 4 月～2010 年 3 月

「ポリアニリンを用いる活性酸素の連続発生とその応用」  
三菱電機  
2009 年 4 月～2010 年 3 月

「ポリアニリンを用いる活性酸素の連続発生とその応用」  
イハラケミカル  
2009 年 4 月～2010 年 3 月

### ○補助金・助成金等

独立行政法人科学技術振興機構、平成 21 年度 地域の科学舎推進事業 地域活動支援  
「わくわく実験教室」  
2009 年 7 月～2010 年 2 月

「ポリアニリンを用いる活性酸素の連続発生とその応用」  
奨学寄附金 三菱電機  
2008 年 8 月～2011 年 3 月

## 佐野元昭 (さの もとあき) 准教授

---



出生年 : 1959 年  
在籍 : 1999 年 4 月～  
最終学歴 : 東京工業大学大学院理工学研究科物理学専攻博士後期課程  
学位 : 理学博士  
学位論文 : 光複屈折による六方晶 ABX<sub>3</sub>型反強磁性体の相転移の研究  
専門分野 : 信号処理、画像処理、コンピュータグラフィックス  
前職 : 東京工業大学大学院総合理工学研究科助手  
学会 : 日本物理学会、応用物理学会、電気学会  
受賞・表彰 : 電気学会論文発表賞(1992)

## 著書出版

---

「Windows ですぐにできるC言語グラフィックス」  
(共著:安居院猛、佐野元昭、関根註明) 昭晃堂  
2009 年 11 月 15 日

## その他

---

### ○補助金・助成金等

独立行政法人 科学技術振興機構(JST)  
地域イノベーション創出総合支援事業 平成 21 年度シーズ発掘試験研究補助金  
04-185 「植物の形状から健康状態を診るカメラの開発」

## 森永茂生 (もりなが しげお) 准教授

---



出生年 : 1956 年  
在籍 : 1989 年 4 月～  
最終学歴 : 東京都立大学大学院博士課程  
学位 : 理学博士  
学位論文 : A Study of Insoluble Organic Matter (Kerogen) in Recent Sediments by Chemical Degradation - Gas Chromatography/Mass Spectrometry  
専門分野 : 環境化学、有機地球化学、環境分析化学  
前職 : 桐蔭学園工業高等専門学校講師  
学会 : 日本化学会、日本地球化学会、日本有機地球化学会、日本陸水学会、日本腐植物質学会、日本環境化学会、日本水環境学会、ソノケミストリー研究会  
受賞・表彰 : とうきゅう環境浄化財団研究助成 A 類 N0.177(1994-1996)

## 吉田 清 範 (よしだ きよのり) 准教授

---



出生年 : 1949 年  
在籍 : 1989 年 4 月～  
最終学歴 : 東京大学大学院修士課程  
学位 : 工学博士  
学位論文 : 初等的図形の交差判定法—計算量及び計算精度の立場から—  
専門分野 : 量子光エレクトロニクス  
前職 : 山梨大学助手  
学会 : 応用物理学会

## 吉村 和 昭 (よしむら かずあき) 准教授

---



出生年 : 1947 年  
在籍 : 1988 年 4 月～  
最終学歴 : 上越教育大学大学院学校教育研究科修士課程教科・領域教育専攻修了  
東京商船大学大学院商船学研究科博士後期課程海洋情報システム工学専攻修了  
学位 : 教育学修士、博士(工学)  
学位論文 : 工業高等専門学校へのリモートセンシング入門実験の導入に関する研究(修士論文)  
長波電波時計の特性解析に関する研究(博士論文)  
専門分野 : 無線通信工学、海上無線工学、電子航法工学、衛星測位工学、電波通信法規  
前職 : 桐蔭学園工業高等専門学校電気工学科助教授  
資格 : 第1級陸上無線技術士、第1級総合無線通信士、第1級海上無線通信士、航空無線通信士、第1級陸上特殊無線技士、第1級海上特殊無線技士、第1級アマチュア無線技士、船舶局無線従事者証明書  
非常勤講師 : 国士舘大学理工学部電子情報学系(通信工学)  
学会 : 電気学会、測位航法学会、日本航海学会、応用物理学会、日本産業技術教育学会、日本大気電気学会、映像情報メディア学会、日本教育工学協会  
社会的活動 : モールス電信技能認定試験員、桐蔭工学会幹事、横浜市アマチュア無線非常通信協力会青葉支部会員、総務省認定無線従事者養成課程講師(無線工学、電波法規)

## 著書出版

---

「身近な例で学ぶ 電波・光・周波数 -電波の基礎から電波時計、地デジ、GPSまで-」

(共著: 倉持内武、吉村和昭、安居院猛)

森北出版株式会社、菊版全 192 頁7章構成(第4章、第5章、第6章を担当)、

2009 年 9 月 30 日

## 論文掲載

---

「GMDSSと無線従事者制度」

(単著) 桐蔭論叢第20号 89-97頁

2009年7月6日

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「ソフトウェア受信機回路の検討」

日本産業技術教育学会第52回全国大会(新潟大学)

2009年8月23日

## 山口大輔(やまぐち だいすけ) 助教

---



出生年 : 1975年

在籍 : 2007年4月～

最終学歴 : 桐蔭横浜大学大学院工学研究科博士後期課程制御システム工学専攻修了

学位 : 博士(工学)

学位論文 : Study on Autonomous Learning System Based on Intelligent Multiagent Techniques and its Applications

専門分野 : 知能情報学、ソフトウェア工学

資格 : 高等学校教諭一種免許状(数学)、中学校教諭一種免許状(数学)、中学校教諭一種免許状(技術)  
高等学校教諭専種免許状(数学)、中学校教諭専種免許状(数学)

学会 : IEEE、IEEE SMC、日本知能情報ファジィ学会、人工知能学会、ソフトコンピューティング研究会

社会的活動 : ソフトコンピューティング研究会 SENSE 勉強会東京版 幹事

受賞・表彰 : IEEE SMC HIROSHIMA CHAPTER Incentive Award

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「マルチエージェント技術によるエラー検出能力改善中心 PSP 演習支援システム」

(山口大輔、片山富美代、高橋宗雄)

日本知能情報ファジィ学会第25回ファジィシステムシンポジウム(筑波大学)

2009年7月14日

“The Medical Diagnosis Support System with Intelligent Multiagent Techniques by Performance Differential Difference”

(Kazuyoshi Nakano, **Daisuke Yamaguchi**, Fumiyo Katayama, Muneeo Takahashi)

IEEE SMC, Hiroshima University

2009年11月10日



**“Improvement of a Software Estimate Efficiency Centered PSP Practice Support System Using Multiagent Techniques”**

(**Daisuke Yamaguchi**, Ayahiko Niimi, **Muneo Takahashi**)

The Fifteenth International Symposium on Artificial Life and Robotics 2010 (AROB 15th '10), B-Con Plaza, Beppu, Oita, Japan

2010年2月4日

**講演会・研修会・セミナー講師**

---

「情報発信・受信ツールと仮想環境の構築」

九州工業大学機械情報工学科 3 年次講義「情報通信ネットワーク」(九州工業大学飯塚キャンパス)

2009年6月25日

## ロボット工学科 (Department of Robotics and Bio-mechatronics)

### 岡田 俊 恵 (おかだ としえ) 教授

---



出生年 : 1954 年  
在籍 : 1989 年 4 月～  
最終学歴 : 津田塾大学大学院修士課程  
学位 : 文学修士  
学位論文 : A Study of Macbeth  
専門分野 : 英文学  
前職 : 静岡大学助教授  
学会 : 日本英文学会、日本シェイクスピア協会  
受賞・表彰 : 市川三喜賞 (津田塾大学 1977 年)

### Alberto Palacios Pawlovsky (アルベルト・パラシオス・パウフロスキ) 教授

---



出生年 : 1955 年  
在籍 : 1994 年 4 月～  
最終学歴 : 長岡技術科学大学大学院情報制御工学専攻博士後期課程修了  
学位 : 工学博士  
学位論文 : レジスタ転送レベルのハードウェア設計における機能検証  
専門分野 : デジタル回路の耐故障化・高速化設計、最適化用(ヒューリスティックな)アルゴリズムの研究・開発  
前職 : 株式会社日立製作所中央研究所客員研究員  
現職 : 桐蔭横浜大学工学部ロボット工学科教授  
留学 : ブラジル国 Universidade Federal do Rio Grande do Norte(UFRN)州立大学客員教員、客員研究員(1997.3～8)  
資格 : アマチュア無線技士(電話級)  
学会 : ペルー工学会、IEEE(Senior Member)、電子情報通信学会(IEICE)、および ACM の各会員  
社会的活動 : NPOの日本・ペルー共生協会の会長

### 論文掲載

---

“A Study on Hybrid SA-GA and SA-EA Methods for Finding the Maximum Number of Switching Gates in a Combinational Circuit”

(Ichiro R. Obregon, **Alberto Palacios Pawlovsky**)

Research Bulletin No.20, pp.67-73

2009 年 6 月 15 日

「在留外国人子女のためのアイデンティティを考慮した理科教育の実践的研究Ⅱ」

(共著: **中丸久一**、**アルベルト・パラシオス**、**角替弘規**、**赤堀正宜**)

桐蔭論叢 第 20 号 99-105 頁

2009 年 6 月 15 日

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

“A Multi-parent Genetic Algorithm for Searching for the Pair of Inputs that Cause the Maximum Number of Switching Gates in a Combinational Circuit”

(Norimasa Yamada, **Alberto Palacios Pawlovsky**)

Iberchip XVI Workshop (IWS'2010), Brasil, Parana, Foz de Iguazu

2010年2月24日

## その他

---

### ○海外出張

2010年2月

Iberchip XVI Workshop (IWS'2010), Brasil, Parana, Foz de Iguazu

## 片山 富美代 (かたやま ふみよ) 准教授

---



出生年 : 1960年  
在籍 : 2004年7月～  
最終学歴 : 桜美林大学大学院国際学研究科環太平洋地域文化専攻  
博士後期課程修了  
学位 : 博士(学術)、修士(看護学)  
学位論文 : 人工血液透析患者の病気認知と病気適応に関する健康心理学的研究  
専門分野 : 基礎看護学、健康心理学  
前職 : 広島国際大学看護学部看護学科講師  
資格 : 看護師免許  
学会 : 日本看護研究学会、日本カウンセリング学会、日本健康心理学会、日本教育工学会、日本ヒューマン・ケア心理学会  
社会的活動 : 日本健康心理学会広報・ニューズレター編集委員

## 著書出版

---

「新看護学4 専門基礎[4] 第2版 看護と倫理、患者の心理」

(共著:長田久雄、**片山富美代** ほか16名)

医学書院 212頁

2010年1月6日

## 論文掲載

---

「病気適応と病気認知に関する研究動向とその課題」

(単著) ヒューマン・ケア研究 Vol.10, No.1, 40-52頁

2009年4月28日

「日本語版病気認知質問紙の作成と信頼性・妥当性の検討—血液透析患者による検証—」

(単著) 健康心理学研究, Vol.22, No.2 28-39頁

2009年12月31日

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「マルチエージェント技術によるエラー検出能力改善中心 PSP 演習支援システム」

(山口大輔、片山富美代、高橋宗雄)

日本知能情報ファジィ学会第 25 回ファジィシステムシンポジウム(筑波大学)

2009 年 7 月 14 日

「慢性疾患患者のための病気対処尺度開発の試み(1)-因子分析および再検査による妥当性の検討-」

(小玉正博、余語典子、片山富美代)

日本ヒューマン・ケア心理学会第 11 回大会(東北大学川内キャンパス)

2009 年 7 月 19 日

「慢性疾患患者のための病気対処尺度開発の試み(2) -QOL 指標との関連から-」

(片山富美代、小玉正博、余語典子)

日本ヒューマン・ケア心理学会第 11 回大会(東北大学川内キャンパス)

2009 年 7 月 19 日

“The Medical Diagnosis Support System with Intelligent Multiagent Techniques by Performance Differential Difference”

(Kazuyoshi Nakano, Daisuke Yamaguchi, Fumiyo Katayama, Muneo Takahashi)

IEEE SMC, Hiroshima University

2009 年 11 月 10 日

## その他

---

### ○補助金・助成金等

科学研究費補助金基盤研究 C (研究代表者)

「コトコフ音の波形分析による新たな健康管理指標の検討」

2008 年 4 月～2011 年 3 月

## 土 屋 信 雄 (つちや のぶお) 准教授

---



出生年 : 1950 年  
在籍 : 1990 年 4 月～  
最終学歴 : 東京大学大学院博士課程  
学位 : 理学博士  
学位論文 : Growth and Depth of Leaves  
専門分野 : 位相幾何学  
前職 : 東京工業大学理学部助手  
学会 : 日本数学会

## 論文掲載

---

“Lattices of some solvable Lie groups and actions of products of affine groups”

(Nobuo Tsuchiya, Aiko Yamakawa) Tohoku Math J.,61, pp.349-364, 2009

2009 年 9 月

## 森下武志（もりした たけし）准教授

---



出生年 : 1967 年  
在籍 : 2008 年 4 月～  
最終学歴 : 横浜国立大学大学院工学府博士後期課程修了  
学位 : 博士(工学)  
学位論文 : 小型両眼視覚ロボットと教育への展開  
専門分野 : ロボット工学, 教育工学  
前職 : 神奈川県教育委員会職員 教諭  
留学 : 東京大学大学院知能機械情報学系研究科情報システム工学研究室(井上・稲葉研究室)内地留学(2003)  
学会 : 日本ロボット学会、日本機械学会、日本教育工学会  
社会的活動 : 日本ロボット学会 学術講演会実行委員(2009)  
日本ロボット学会 ロボット教育専門委員会委員 (2009)  
全国産業教育フェア神奈川大会 高校生ロボットコンテスト審査委員 (2009)  
文部科学省:「科学技術・理科大好きプラン」サイエンスパートナーシッププログラム 宇宙航空研究開発機構 JAXA と共同教育活動(2004)  
特許庁:工業高校における「産業財産権標準テキスト活用に関する実験協力校」教育プログラム代表者(2003-2006)  
受賞・表彰 : 3rd International Micro-Mechanism Contest Excellent Award (2009)  
第26回全国高等学校総合文化祭 ロボットコンテスト(相撲ロボット自立型部門)優勝(2002)  
第12回全日本ロボット相撲 in USA 国際大会 自立型 サンフランシスコ場所 準優勝(2000)  
神奈川県知事賞受賞(1995,1996,1997,1998,2002)

### 著書出版

---

「理工系の高校と大学のこれからを考える」

(単著) 実教出版社、工業教育資料 329号、7-12頁

2010年1月

### 論文掲載

---

“Chemotaxis-like motion of a model bacterium”

(Toshiki Sasaki, **Takeshi Morishita**, Seishi Kudo)

Proceedings of The Fourth International Symposium on Aero Aqua Bio-Mechanisms, P01, China

2009年9月

“Compact Autonomous Robot with Inverse Kinematics Algorithm based on Fuzzy Control Modell”

(Osamu TOJO, **Takeshi MORISHITA**)

Proceedings of The 6th International Conference on Ubiquitous Robots and Ambient Intelligence (URAI

2009), pp402-405

2009年10月

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

### 「逆運動学的簡略化制御モデルと小型ロボットへの適用」

(趙亮、森下武志) 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会'09 講演論文集 1P1-D02  
2009年5月

### 「腹ばい歩容と鱗が4脚ロボットの移動性能に及ぼす影響」

(森田由香里、森下武志) 日本ロボット学会学術講演会'09 講演論文集, 1P2-03  
2009年9月

### 「逆運動学 Fuzzy モデルを用いた自転車ペダル回し協調作業小型2脚ロボット」

(東條純、森下武志) 日本ロボット学会学術講演会'09 講演論文集, 3M1-07  
2009年9月

### 「細菌モデルによる目標への誘導システム構成」

(佐々木敏樹、森下武志、工藤成史) 日本ロボット学会学術講演会'09 講演論文集, 1M1-02  
2009年9月

## その他

---

### ○補助金・助成金等

科学研究費補助金(基盤研究C)(No21500844) 研究代表者

「両眼視覚技術の教育展開による理工系人材育成活性化をめざした教育と教育効果の検証」

2009年

## 中丸久一(なかまる ひさかず) 講師

---



出生年 : 1947年  
在籍 : 1990年4月～  
最終学歴 : 東京理科大学理学部応用物理学科  
専門分野 : 物性物理、物理教育  
前職 : 桐蔭学園工業高等専門学校講師  
学会 : 応用物理学会、日本物理教育学会

## 論文掲載

---

「在留外国人子女のためのアイデンティティを考慮した理科教育の実践的研究Ⅱ」

(共著: 中丸久一、アルベルト・パラシオス、角替弘規、赤堀正宜)

桐蔭論叢 第20号 99-105頁

2009年6月15日

スポーツ健康政策学部 (Faculty of Culture and Sport Policy)

スポーツ教育学科 (Department of Sport Education)

**井筒次郎 (いづつ じろう) 教授**

---



出生年 : 1949 年  
在籍 : 2008 年 4 月～  
最終学歴 : 日本体育大学大学院体育研究科修了  
学位 : 修士(体育学)  
学位論文 : 横浜市における社会体育の振興に関する調査研究  
専門分野 : スポーツ教育学、保健体育科教育学、安全教育学  
前職 : 流通経済大学スポーツ健康科学部教授  
学会 : 日本体育学会、日本学校保健学会、日本教師教育学会、  
日本安全教育学会  
社会的活動 : 日本安全教育学会監事、(財)日本学校保健会健康教育  
推進学校表彰審査委員会委員、品川区立学校校区外部  
評価委員長、(財)大学基準協会大学評価委員会全学評  
価分科会委員

**著書出版**

---

『保健体育科教育法』

(共著:井筒次郎 他)

大修館書店

2009 年

『新版小学保健 3・4 年』

(共著:井筒次郎 他)

光文書院

2010 年

『新版小学保健 5・6 年』

(共著:井筒次郎 他)

光文書院

2010 年

## 河部 裕子 (かわべ ひろこ) 教授

---



出生年 : 1947 年  
在籍 : 1988 年 4 月～  
最終学歴 : 東京大学理学系大学院修士課程  
学位 : 理学博士(理学)  
学位論文 : On the Conjugation of Local Diffeomorphisms Infinitely Tangent to the Identity  
専門分野 : 微分位相幾何学  
前職 : 東京工業大学理学部数学科助手  
フーリエ研究所(グルノーブル)客員教授(1985.1～6)  
留学 : M.S.R.I. (カリフォルニア・バークレー・数理科学研究所)  
(1988.8～9)  
学会 : 日本数学会・日本数学教育学会

### 論文掲載

---

“Harmonic maps from the Riemann sphere into the complex projective space and the harmonic sequences”

Kodai Mathematical Journal 33(2010)pp.367-382

2010 年 1 月 5 日

## 相良 憲昭 (さがら のりあき) 教授

---



出生年 : 1943 年  
在籍 : 2009 年 4 月～  
最終学歴 : 東京大学文学部仏語仏文学科卒業  
学位 : 文学士  
専門分野 : 国際理解教育、文化論  
前職 : 京都ノートルダム女子大学学長  
留学 : フランス国パリ大学文学部 (1967.9～1968.6)  
資格 : 国家公務員試験上級職(行政職)合格  
非常勤講師 : 京都ノートルダム女子大学大学院人間文化研究科  
常葉学園大学大学院言語文化研究科  
学会 : 日本国際理解教育学会、日本比較教育学会、日本フランス教育学会、世界法学会、日本平和学会  
社会的活動 : (社)日本ユネスコ協会連盟中央委員、ユネスコ・アジア太平洋地域国際理解教育センター理事、(財)国立京都国際会館評議員、(財)ユネスコ・アジア文化センター評議員、(財)国際連合大学協力会評議員等



## 杉山重利（すぎやま しげとし）教授

---



出生年 : 1939 年  
在籍 : 2006 年 9 月～  
最終学歴 : 東京教育大学体育学部体育学科  
学位 : 体育学士  
専門分野 : 武道教育論、スポーツ教育学  
前職 : 桐蔭横浜大学文化政策研究所  
学会 : 日本体育学会、日本スポーツ教育学会、日本体育科教育学会、日本武道学会、日本体育行政学会  
社会的活動 : 中央教育審議会専門委員(初等教育分科会)  
文部科学省スポーツ青少年局体力づくり委託事業選定委員会委員長

### 著書出版

---

#### 『保健体育科教育法』

(共著: 杉山重利、高橋健夫、園山和夫 編)

大修館書店

2009 年 11 月 1 日

#### 『めざそう！保健体育教師』

(共著: 杉山重利、佐藤豊、園山和夫 編)

朝日出版社

2010 年 3 月 15 日

#### ○雑誌・新聞記事掲載

##### 「戦術学習への期待」

体育科教育 57 卷 11 号 9 頁

2009 年 9 月

#### ○その他特記事項

##### 「健やかな体を育成する教育活動」

浅野素雄編『最新学校運営ハンドブック』

教育開発研究所、138～139 頁

2009 年

## 園山和夫（そのやま かずお）教授

---



出生年 : 1945 年  
在籍 : 2007 年 4 月～  
最終学歴 : 島根大学教育学部教育専攻科教育学専攻修了  
学位 : 学士(教育学)  
専門分野 : 保健体育科教育学、健康教育学  
前職 : びわこ成蹊スポーツ大学教授  
非常勤講師 : 川村学園女子大学  
学会 : 日本体育学会、日本学校保健学会、日本スポーツ教育学会、日本安全教育学会  
社会的活動 : 文部科学省学習指導要領解説作成協力者  
(財)日本体育協会評議員  
(社)日本グラウンド・ゴルフ協会専務理事  
(社)全国体育指導委員連合専務理事  
(財)日本スポーツクラブ協会理事  
(財)スポーツ安全協会理事  
(財)日本レクリエーション協会理事  
受賞・表彰 : 日本スポーツ教育学会功労賞

### 著書出版

---

#### 『保健体育科教育法』

(編著 杉山重利、高橋健夫、園山和夫)

大修館書店 322 頁

2009 年 11 月 1 日

#### 『めざそう保健体育教師』

(編著 杉山重利、佐藤豊、園山和夫)

朝日出版社 209 頁

2010 年 3 月 15 日

### 総説・論説

---

#### 「体力向上についての指導」

(単著) 教育時評No.19 28-31 頁

2009 年 11 月

#### 「新型インフルエンザと学校の対応」

(単著) 教職研修 76-81 頁

2009 年 11 月

#### 「地域スポーツ指導者への期待」

(単著) 社会教育 12 月号 16-22 頁

2009 年 12 月

## 講演会・研修会・セミナー講師

---

(講演)

「12年間を見通した保健体育カリキュラム」

神奈川県教育委員会(県立体育センター)

2009年12月3日

「地域スポーツ振興と体育指導委員」

九州地区体育指導委員協議会(ビーコンプラザ)

2010年1月30日

### ○海外出張

2009年11月1日～8日

スペインのスポーツ事情調査

マドリード(ラスロサレススポーツセンター)・バルセロナ(ピコルネルススイミングクラブ)

### ○雑誌・新聞記事掲載

(雑誌)

「学校保健管理職の役割」

学校保健安全ハンドブック 8～57頁 教育開発研究所

2009年12月

ほか9編

(新聞記事)

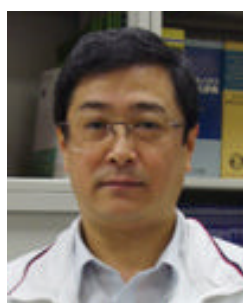
「解説:女子中学生の体力問題」

教育新聞 教育新聞社

2009年2月6日

## 星 秋 夫 (ほし あきお) 教授

---



出生年 : 1954年

在籍 : 2008年4月～

最終学歴 : 日本体育大学大学院体育学研究科体育学専攻 修了

学位 : 体育学修士(日本体育大学)、博士(医学)(順天堂大学)

専門分野 : 環境衛生学、生気象学、健康・スポーツ科学

前職 : 日本歯科大学生命歯学部共同利用研究センター准教授

学会 : 日本衛生学会、日本生気象学会、日本体力医学会、日本体育学会、日本運動生理学会、バイオクリマ研究会

### 論文掲載

---

「熱中症発生のリスク要因」

(共著:星秋夫、稲葉裕)

調剤と情報 15(7)、722-726頁

2009年7月

## 松原 静郎 (まつばら しずお) 教授

---



- 出生年 : 1951 年  
在籍 : 2009 年 4 月～  
最終学歴 : 東京都立大学大学院理学研究科修士課程(化学専攻)修了  
学位 : 理学修士  
学位論文 : 「鉄-57 およびスズ-119 を含む化合物のメスバウアー分光学的研究」(修士論文)  
専門分野 : 科学教育, 化学教育  
前職 : 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 基礎研究部 総括研究官  
留学 : オーストラリア教育研究所(オーストラリア)(1985.8-1986.6)  
資格 : 中学校教諭一級普通免許状(理科), 高等学校教諭二級普通免許状(理科)  
非常勤講師 : 東京理科大学大学院科学教育研究科  
学会 : 日本化学会(化学教育協議会国際調査WG主査), 日本科学教育学会(監事), 日本理科教育学会(評議員), 教科「理科」関連学会協議会委員  
社会的活動 : 国立教育政策研究所名誉所員(2009.6)  
国立教育政策研究所「学校における持続可能な開発のための教育(ESD)に関する研究」委員  
国立教育政策研究所 TIMSS2011 国内専門委員  
三菱総合研究所 文部科学省委託事業「教科書の質・量改善推進事業」研究グループ委員(理科)  
東京都立立川高等学校学校運営連絡協議会委員  
広島大学附属福山中学・高等学校研究開発運営指導委員  
受賞・表彰 : 日本科学教育学会「科学教育研究奨励賞」受賞(1988 年 7 月)  
日本科学教育学会「年会発表賞」受賞(2007 年 8 月)  
日本化学会「化学教育賞」受賞(2010 年 3 月)

## 著書出版

---

“Teaching Chemistry around the World”

Waxmann, pp.122-141

2010 年 3 月

『新理科で問題解決の授業をどうつくるか』

(松原静郎(分担執筆)、日置光久・村山哲哉・東京都小学校理科教育研究会監修)

明治図書出版、29 頁

2009 年 11 月

(作成協力者)

『高等学校学習指導要領解説理科編理数編』文部科学省

実教出版株式会社

2009 年 12 月

## 論文掲載

---

「小学校理科教科書における植物教材の適切性—生物多様性の理解に向けて—」

(共著:岩間淳子、**松原静郎**、下條隆嗣)

科学教育研究、第33巻第4号、348-361頁

2009年12月10日

「理科教育のためのO<sub>2</sub>/CO<sub>2</sub>計測システム」

(共著:高橋三男、山内峯生、羽鳥広範、松岡敏、**松原静郎**)

東京工業高等専門学校研究報告書、第41巻第1号、83-90頁

2010年1月

「理科で論理的思考力を高める、特集 論理的思考力を高める」

(単著) 指導と評価、第56巻第3号 (No.663)、25-28頁

2010年3月

「モルに関する化学計算ソフトウェアの開発」

(共著:高橋三男、山内峯生、堀哲夫、山本勝博、寺谷徹介、**松原静郎**)

東京工業高等専門学校研究報告書、第41巻第2号、77-84頁

2010年3月

## 総説・論説

---

「アジアでの授業実践から協働研究へ」(巻頭言)

(単著) 科学教育研究第33巻第4号、301頁

2009年12月10日

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(口頭発表)

「大気汚染教材のマレーシアでの実践について」

(野内頼一、**松原静郎**、寺谷徹介、Roslinda Ithnin)

日本理科教育学会全国大会発表論文集第7号、204頁、第59回全国大会(宮城大学)

2009年8月18日

「SD教育教材の海外展開—「大気汚染対策教材」の実践から協同研究へ—」

(寺谷徹介、野内頼一、後藤頭一、**松原静郎**)

日本理科教育学会全国大会発表論文集第7号、203頁、第59回全国大会(宮城大学)

2009年8月18日

「化学Ⅱ「糖の実験」—定型文を用いて—」

(高野裕恵、馬路英和、久保博義、**松原静郎**)

日本理科教育学会全国大会発表論文集第7号、205頁、第59回全国大会(宮城大学)

2009年8月18日

「レゴブロックによる表現力育成の試み」

(**松原静郎**、鮫島朋美、後藤頭一、寺谷徹介)

日本理科教育学会全国大会発表論文集第7号、200頁、第59回全国大会(宮城大学)

2009年8月18日

### 「レゴブロックによる表現の記述分類」

(北川雅直、後藤頭一、鮫島朋美、**松原静郎**)

日本理科教育学会全国大会発表論文集第7号、201頁、第59回全国大会(宮城大学)

2009年8月18日

### 「レゴブロックの組み立て再現を利用した表現力育成の基礎的研究 効果的な記録方法の基礎的なトレーニング」

(後藤頭一、鮫島朋美、高橋三男、**松原静郎**)

日本理科教育学会全国大会発表論文集第7号、202頁、第59回全国大会(宮城大学)

2009年8月18日

### 「探究実験－ものの燃え方と空気－(1)－ロウソクの消炎－」

(高橋三男、園部幸枝、佐藤道幸、山本勝博、堀哲夫、寺谷徹介、**松原静郎**)

日本理科教育学会全国大会発表論文集第7号、302頁、第59回全国大会(宮城大学)

2009年8月18日

### 「理科教育のための O<sub>2</sub>/CO<sub>2</sub> 計測(1)－リンゴの呼吸実験－」

(高橋三男、山本勝博、堀哲夫、寺谷徹介、**松原静郎**)

日本科学教育学会年会論文集第33号、359-360頁、日本科学教育学会第33回年会(同志社女子大学)

2009年8月25日

### 「小学校理科「魚の解剖」の授業実践に向けて－地域の特性を活かした効果的な授業を－」

(岩間淳子、鳩貝太郎、**松原静郎**、下條隆嗣)

日本理科教育学会年会論文集、7、100頁、日本理科教育学会第59回年会(宮城教育大学)

2009年8月18・19日

### 「小学校理科「魚の解剖」に関する教材の教育的効果の分析－科学的概念形成と生命観育成をめざして－」

(岩間淳子、鳩貝太郎、**松原静郎**、下條隆嗣)

日本科学教育学会年会論文集第33号、359-360頁、日本科学教育学会第33回年会(同志社女子大学)

2009年8月25日

### 「理科教育のための O<sub>2</sub>/CO<sub>2</sub> 計測システムの開発」

(高橋三男、堀哲夫、山本勝博、寺谷徹介、**松原静郎**)

日本化学会第90春季年会(近畿大学)

2010年3月28日

### 講演会・研修会・セミナー講師

---

(講演)

#### 「理科での解釈し表現する力」

平成21年度全国小学校理科研究協議会第42回全国小学校理科研究大会東京大会第7部会研究発表会(南ブロック会場)(世田谷区)

2009年10月

#### 「PISA型学力再考 これから必要とされる学力とは」

広島大学附属福山中学校高等学校研究発表会(福山市)

2009年11月

**「学力向上、表現力向上に対する、指導及び評価」**

平成 21 年度学力向上実践研究推進事業(小松市・石川県立小松明峰高等学校)

2009 年 12 月

**「自然事象を自ら解釈し、表現する力を育てる理科学習」**

平成 21 年度研究発表会(世田谷区・東京学芸大学附属世田谷小学校)

2010 年 2 月

(座長)

日本理科教育学会第 59 回全国大会「諸外国の科学・理科教育」座長(宮城教育大学)

2009 年 8 月

日本化学会第 90 春季年会「化学教育・化学史」座長(近畿大学)

2010 年 3 月

(コーディネーター)

国立教育政策研究所、財団法人教科書研究センター共同開催「理数教科書に関する国際比較調査公開シンポジウム(理科の部)」全体討議コーディネーター(文部科学省講堂)

2010 年 1 月

**その他**

---

**○表彰・受賞**

(化学教育賞)

「化学教育の向上と振興に対する教育方法研究専門家としての継続的な貢献」

日本化学会

2010 年 3 月

**○補助金・助成金等**

科学研究費補助金基盤研究(B)(課題番号 20300263)研究代表者

「理科での持続可能な発展に関する教材の開発とそれを用いた科学的表現力の育成」

**○海外出張**

2009 年 12 月 13 日～17 日

韓国における SD 教材の実践と研究協議(韓国・晋州教育大学校ほか)

2009 年 9 月 14 日～18 日

フィリピンにおける SD 教材の実践と研究協議(フィリピン・Urdaneta City University ほか)

**○その他特記事項**

日本化学会第 90 春季年会 優秀講演賞(学術)審査委員

2010 年 3 月

文部科学省・科学技術振興機構主催 平成 21 年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会第 5 分科会審査委員(パシフィコ横浜)

2009 年 8 月

## 松本 格之祐 (まつもと かくのすけ) 教授

---



出生年 : 1952 年  
在籍 : 2008 年 4 月～  
最終学歴 : 筑波大学大学院修士課程研究科修了  
学位 : 修士(体育学)  
学位論文 : 小学校体育授業における仲間づくりの可能性の検討  
ーチャレンジ運動とボール運動の授業実践を通してー  
専門分野 : 体育科教育学  
前職 : びわこ成蹊スポーツ大学教授  
資格 : 保健体育教諭専修免許(中学、高校)  
非常勤講師 : 桜美林大学  
学会 : 初等教育研究会、筑波学校体育研究会、日本スポーツ教育学会、体育授業研究会、日本体育学会、日本体育科教育学会  
社会的活動 : 研筑波学校体育研究会会長、体育授業研究会理事長

### 著書出版

---

#### 『新しい鉄棒運動の授業づくり』

(共著: 松本格之祐、高橋健夫 他編)

大修館書店 20 頁

2009 年 5 月

#### 『10 分でわかる体育授業のコツ・小学校低学年』

(共著: 松本格之祐、木下光正 他)

学事出版 8 頁

2009 年 8 月

#### 『保健体育科教育法』

(共著: 杉山重利、松本格之祐 他)

大修館書店 5 頁

2009 年 11 月

#### 『めざそう! 保健体育教師』

(共著: 杉山重利、松本格之祐 他)

朝日出版 24 頁

2010 年 3 月

#### 『教科心理学ハンドブック』

(共著: 福沢周亮、松本格之祐 他)

図書文化 10 頁

2010 年 3 月

### 論文掲載

---

#### 「体づくり運動では何をどう変えねばならないか」

(単著) 体育科教育 57 巻 5 号 5 頁

2009 年 5 月



## 講演会・研修会・セミナー講師

---

### 「体力向上指導者養成研修会」

教員研修センター主催・文部科学省講演

2009年5月

## その他

---

### ○海外出張

2009年7月

カンボジア教育支援事業(体育の学習指導要領作成、授業づくりの支援)

### ○その他特記事項

カンボジア教育支援事業(体育の学習指導要領作成、授業づくりの支援)(2008年1月、2009年7月)

## 谷田部 玲 生 (やたべ れいお) 教授

---



出生年 : 1956年  
在籍 : 2009年4月～  
最終学歴 : 筑波大学大学院修士課程教育研究科教育専攻社会科コース修了  
学位 : 教育学修士(筑波大学)  
学位論文 :  
専門分野 : 教科教育学(社会科教育・公民教育)  
前職 : 国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部総括研究官  
資格 : 中学校教諭一級普通免許状(社会)、高等学校教諭一級普通免許状(社会)  
非常勤講師 : 東京学芸大学、静岡大学  
学会 : 日本社会科教育学会、全国社会科教育学会、日本公民教育学会、日本国際理解教育学会、日本生活科総合的学習教育学会、日本NIE学会、中等社会科教育学会  
社会的活動 : 日本社会科教育学会評議員・学会誌編集委員会委員長・幹事、全国社会科教育学会理事、日本公民教育学会常任理事・事務局、全国高等学校NIE研究会顧問、日本NIE学会理事・常任理事、中等社会科教育学会副会長、品川区立学校外部評価委員会委員

## その他

---

### ○補助金・助成金等

科学研究費補助金基盤研究B

「教員の免許状更新講習における社会科系教科教育講習プログラム作成のための研究」

2008年4月～2011年3月

## 角 替 弘 規 (つのがえ ひろき) 准教授

---



出生年 : 1969 年  
在籍 : 1997 年 4 月～  
最終学歴 : 筑波大学大学院博士課程教育学研究科  
学位 : 修士(教育学)  
学位論文 : イギリスの大学における学術研究体制に関する研究  
—教育改革以降の財源配分方法を中心に—  
専門分野 : 教育社会学  
資格 : 高等学校教諭一種免許状(英語)  
中学校教諭一種免許状(英語)  
非常勤講師 : 金沢大学(2000)  
国立音楽大学(2002～2008)  
学会 : 日本教育社会学会、日本高等教育学会、日本比較教育学会、  
日本教育制度学会、筑波大学教育学会、日英教育学会、  
全国海外子女教育国際理解教育研究協議会  
社会的活動 : NPO 法人日本ペルー共生協会(AJAPE)会員  
独立行政法人日本学生支援機構「新たな社会的ニーズに  
対応した学生支援プログラム」ペーパーレフリー(2007～  
2008)

### 論文掲載

---

「国際教室をめぐる資源の編み直し -神奈川県大和市の事例から-」

(単著) 桐蔭論叢 第 20 号 15-27 頁

2009 年 6 月 15 日

「在留外国人子女のためのアイデンティティを考慮した理科教育の実践的研究Ⅱ」

(共著: 中丸久一、アルベルト・パラシオス、角替弘規、赤堀正宜)

桐蔭論叢 第 20 号 99-105 頁

2009 年 6 月 15 日

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(口頭発表)

「ニューカマーと学校組織の再構築 -学校における国際教室の位置取りをめぐって-」

日本教育社会学会第 61 回大会 早稲田大学

2009 年 9 月

## 徳田英次（とくだ ひでじ）准教授

---



出生年 : 1969 年  
在籍 : 2004 年 4 月～  
最終学歴 : 筑波大学大学院博士課程心理学研究科心理学専攻中退  
学位 : 修士(心理学)  
学位論文 : 覚醒度変化が注意機能に及ぼす影響  
—主観的覚醒度2因子モデルからの検討(未公刊)  
専門分野 : 臨床心理学  
前職 : 東京成徳大学文学部講師  
学会 : 日本心理学会、日本カウンセリング学会、日本催眠医学心理学会、日本心理臨床学会、Society for Clinical and Experimental Hypnosis  
社会的活動 : 日本催眠医学心理学会広報委員、臨床心理士

## 宮津大蔵（みやづ だいぞう）准教授

---



出生年 : 1959 年  
在籍 : 2009 年 4 月～  
最終学歴 : 東京学芸大学教育学部卒業  
学位 : 教育学士  
専門分野 : 国語科教育学  
前職 : 東京都新宿区立余丁町小学校教諭  
学会 : 日本演劇学会、日本教材学会、東京学芸大学国語教育学会、日本教育方法学会、表象文化論学会

## 著書出版

---

「クラスで育てるソーシャルスキルワーク」

(共著:宮津大蔵 他)

日本標準 NPO星槎教育研究所 173～198 頁

2009 年 8 月 10 日

「子どもの読解力がぐんぐんのびる！—戦争と平和の名作をクリティカルに読み解く」

(共著:宮津大蔵、有元秀文)

合同出版 29～32 頁、57～60 頁、72～75 頁、167～170 頁

2009 年 12 月 1 日

## 講演会・研修会・セミナー講師

---

(講演)

「宝塚歌劇と歌舞伎にみられる日本文化について」

NAVIO 成城学園前校

2009 年 10 月 14 日

## ○雑誌・新聞記事掲載

「子どもが待ち望んでいた教材—ソーシャルスキルワーク」

図書新報

2009年10月

---

## 木村和宏 (きむら かずひろ) 講師

---



出生年 : 1964年  
在籍 : 2008年4月～  
最終学歴 : 日本体育大学大学院体育科学研究科博士前期課程修了  
学位 : 修士(体育科学)  
学位論文 : バスケットボール競技のチーム戦術に関する一考察  
—世界トップレベルのセット・オフENSEの傾向—  
専門分野 : コーチング科学、スポーツ方法学(バスケットボール)  
前職 : 日本体育大学運動処方研究室研究員  
非常勤講師 : 早稲田大学オープン教育センター  
学会 : 日本体育学会、スポーツ方法学会  
社会的活動 : 公認バスケットボール上級コーチ

---

## 論文掲載

---

「2006年バスケットボール世界選手権におけるスコア分析(報告2)」

(共著: 児玉善廣、大神訓章、**木村和宏**)

日本体育学会第60回記念大会予稿集、236頁

2009年8月

「2006年バスケットボール世界選手権のスコア分析(報告2)—男子ベスト8チームの選手を対象にして—」

(共著: 児玉善廣、大神訓章、**木村和宏**)

仙台大学紀要2010.Vol.41.No.2、203-222頁

2010年3月

## 谷本直美 (たにもと なおみ) 講師

---



出生年 : 1960 年  
在籍 : 2009 年 4 月～  
最終学歴 : 東京学芸大学大学院教育学研究科音楽教育専攻音楽科  
教育講座修了  
学位 : 教育学修士(東京学芸大学)  
学位論文 : シュタイナー学校における音楽教育  
専門分野 : 教育学  
前職 : 東京学芸大学附属竹早小学校教諭  
資格 : 小学校教諭1種  
中学校教諭1種・高等学校教諭2種(音楽) 司書教諭  
非常勤講師 : 東京学芸大学附属竹早小学校(音楽)  
学会 : 日本学校音楽教育実践学会、日本教師教育学会  
日本教育方法学会

### 著書出版

---

#### 『小1プロブレムを克服する！幼小連携活動プラン』

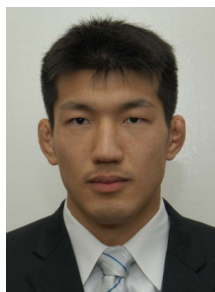
(共著:小林宏己編著 **谷本直美**、小林朝香、福島正敏、高木俊樹 他)

明治図書 84-91 頁

2009 年 6 月

## 廣川充志 (ひろかわ みつし) 講師

---



出生年 : 1977 年  
在籍 : 2006 年 4 月～  
最終学歴 : 筑波大学大学院体育研究科スポーツ健康科学専攻  
学位 : 体育学修士  
学位論文 : 中高齢者の糖・脂質代謝および酸化 LDL におよぼす  
複合運動トレーニングの影響  
専門分野 : 体育科学  
前職 : 学校法人了徳寺学園職員  
資格 : 講道館柔道五段  
非常勤講師 : 國學院大學  
学会 : 日本体力医学会、日本運動生理学会、日本武道学会  
社会的活動 : 全日本柔道連盟 国際委員・柔道ルネッサンス委員

## 福井 元 (ふくい げん) 講師

---



出生年 : 1975 年  
在籍 : 2006 年 4 月～  
最終学歴 : 日本体育大学大学院体育科学研究科博士前期課程修了  
学位 : 修士(体育科学)  
学位論文 : 金属バットの導入が高校野球の技術・戦術に及ぼした影響  
－野球の技術史に関する研究の一環として－  
専門分野 : スポーツ史  
前職 : 日本体育大学 助手  
国士舘大学大学院 助手  
資格 : 中学校教諭 専修免許状(保健体育)  
高等学校教諭 専修免許状(保健体育)  
非常勤講師 : 流通経済大学スポーツ健康科学部  
学会 : 日本体育学会、スポーツ史学会、日本スポーツ運動学会

## 木原 洋一 (きはら よういち) 助教

---

出生年 : 1976 年  
在籍 : 2008 年 4 月～  
最終学歴 : 筑波大学大学院修士課程体育研究科  
学位 : 修士(体育学)(教育学)  
学位論文 : 演劇における「からだ」のレッスンの理論と実践(体育学)  
心身論を基盤とした体育の理念形成の検討  
－1931-45年の日本における体育的身体論を射程として－(教育学)  
専門分野 : スポーツ教育学  
学会 : 日本体育学会、日本スポーツ学会

## スポーツテクノロジー学科 (Department of Sport Technology)

### 加藤 知生 (かとう ともお) 教授

---



出生年 : 1961 年  
在籍 : 2009 年 4 月～  
最終学歴 : 日本体育大学体育学部健康学科卒業  
社会医学技術学院理学療法科卒業  
日本柔道整復専門学校卒業  
学位 : 体育学士  
専門分野 : アスレティック・リハビリテーション、スポーツ理学療法  
前職 : 日立戸塚総合病院リハビリ室勤務  
資格 : 日本体育協会公認アスレティックトレーナー  
理学療法士、柔道整復師  
学会 : 日本理学療法士協会  
社会的活動 : JOC オリンピック強化スタッフ  
日本水泳連盟医・科学委員  
日本体育協会公認アスレティックトレーナー検定委員

### 著書出版

---

(2008 年度 未掲載分 1 件)

「理学療法:水泳による外傷・障害予防への理学療法の取り組み」

(共著:加藤知生、小泉圭介) メディカルプレス、286-290 頁

2009 年 2 月

「スポーツ医学実践ナビ」

(共著:加藤知生 他) 日本医事新報、40-44 頁

2009 年 8 月

「理学療法 MOOK9 第 2 版、スポーツ傷害の理学療法」

(共著:加藤知生 他) 三輪出版、285-295 頁

2009 年 11 月

### 論文掲載

---

(2008 年度 未掲載分 1 件)

「シンクロナイズドスイミング日本代表における傷害特性について」

(単著) 理学療法学 Vol36 大会特別号 No2、2-395 頁

2009 年 1 月

### 総説・論説

---

(2008 年度 未掲載分 1 件)

「国際大会におけるドクターとトレーナーのかかわり」

(単著) 日本整形外科スポーツ医学会誌 Vol28.no1、61 頁

2009 年 1 月

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(ポスター発表)

「シンクロナイズドスイミング日本代表における傷害特性について」

日本理学療法学会(東京国際フォーラム)

2009年5月

(シンポジスト)

「オリンピックの光と影」

第34回日本整形外科スポーツ医学会(都市センターホテル)

2009年7月

「上肢・体幹・股関節のスポーツ障害の予防」

第19回日本臨床スポーツ医学会学術集会(幕張メッセ国際会議場)

2009年11月

## 講演会・研修会・セミナー講師

---

「スポーツにおけるケガの発生と予防」

日本水泳連盟公認コーチ研修会(アクション福岡)

2009年10月

「アスレティックリハビリテーションの実際」

日本体育協会公認AT養成講習会(スポーツ医・科学研究所)

2009年10月

「スポーツ選手のコンディショニング」

運動指導者のためのスキルアップ講座2009(大阪電気通信大学)

2009年10月

「水泳選手の障害・外傷の予防」

公認コーチ養成講習会、国立オリンピック記念青少年総合センター

2009年11月

## その他

---

### ○雑誌・新聞記事掲載

「月刊水泳」

(財)日本水泳連盟、28-29頁

2009年11月

### ○その他特記事項

(日本代表帯同 メディカルスタッフとして)

スペイン招待 シンクロナイズドスイミング大会、6/14～22

世界水泳 ローマ大会、7/12～27



## 杉本英夫（すぎもと ひでお）教授

---



出生年 : 1941 年  
在籍 : 2009 年 4 月～  
最終学歴 : 順天堂大学体育学部体育学科卒業  
学位 : 医学博士 (新潟大学)  
学位論文 : 「走運動による尿蛋白の電気泳動パターンの変化」  
専門分野 : 健康・スポーツ科学、ウエルネス・ヘルスプロモーション論、人間医工学  
前職 : 名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科教授  
現職 : 新潟大学名誉教授 (平成 19 年 4 月授与)  
名桜大学名誉教授 (平成 21 年 4 月授与)  
留学 : 1996 年 10 月～1997 年 3 月文部省在外研究員として University of Wisconsin-Stevens Point(UWSP)に留学  
研修テーマ「ウエルネスおよびアスリートに対するスポーツ医科学の支援システムに関する調査・研究」(特にヘルスプロモーション/ウエルネス論について研修した)  
非常勤講師 : 新潟大学大学院現代社会文化研究科 (前期) 現代文化論  
専攻生活健康行動科学講義および演習を担当 (担当科目  
ヘルスプロモーション特論、同演習)  
学会 : 日本体育学会、日本運動生理学会、日本バイオメカニクス学会、日本ウエルネス学会、全米ウエルネス学会  
社会的活動 : 新潟スポーツ医学研究会理事、財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者 (B級、C級コーチ) 養成講習会講師、日本サウンド・バイブレーション協会アドバイザー・ブレン (資格認定委員)、日本ウエルネス学会副理事長

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(学会発表)

「沖縄やんばる地域における大学ゼミ生と農林高校生のコラボレーションによる小学校への食育に関する出前授業の実践」

日本ウエルネス学会第 6 回大会 (同志社びわこリトリートセンター)

2009 年 9 月 22 日～23 日

### その他

---

#### ○海外出張

2009 年 7 月 16 日～23 日

2009 34<sup>th</sup> National Wellness Conference, National Wellness Association, University of Wisconsin Stevens Point, Wisconsin, USA

## 竹内正顯（たけうち まさあき）教授

---



出生年 : 1944 年  
在籍 : 1988 年 4 月～  
最終学歴 : 東京工業大学大学院修士課程  
学位 : 工学博士  
学位論文 : 有風時の着衣の伝熱に関する基礎研究  
専門分野 : 熱工学  
前職 : 東海大学工学部助教授  
非常勤講師 : 横浜国立大学教育人間科学部  
学会 : 日本機械学会、日本熱物性学会、繊維学会、日本伝熱学会、日本フルードパワーシステム学会、日本家政学会  
社会的活動 : 横浜地方裁判所委員 (H17 年 8 月 1 日から H21 年 7 月 31 日)

### 論文掲載

---

「夏季における敷き寝具のムレ感について」

(共著: 山田瑞生、中村勤、**竹内正顯**)

日本睡眠環境学会雑誌「睡眠と環境」第 7 巻第 1 号 1-6 頁

2009 年 11 月

### 総説・論説

---

「家のなかのふく射」

(単著) 日本生気象学会誌 第 47 巻第 1 号 3-12 頁

2010 年 3 月

## 河崎賢三（かわさき けんぞう）准教授

---



出生年 : 1966 年  
在籍 : 2004 年 4 月～  
最終学歴 : 島根医科大学大学院医学研究科博士課程 修了  
学位 : 医学博士  
専門分野 : 整形外科、スポーツ医学、関節外科、再生医療  
前職 : 島根医科大学文部教官助手  
学会 : 日本整形外科学会、日本関節鏡学会、日本膝関節学会、日本整形外科スポーツ医学会 など

## 澤井 睦美 (さわい むつみ) 准教授

---



出生年 : 1961 年  
在籍 : 2008 年 4 月～  
最終学歴 : 日本体育大学大学院体育学研究科  
学位 : 体育学修士  
学位論文 : 静的筋労作の影響と回復に関する研究  
—血行動態の観察から—  
専門分野 : 体操 (からだづくり・動きづくり)、身体教育、健康科学  
前職 : 流通経済大学社会学部非常勤講師  
淑徳大学国際コミュニケーション学部非常勤講師  
学会 : 人類働態学会、日本生気象学会、日本発育発達学会、日本幼少児健康教育学会

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(口頭発表)

「近年 5 年間における東京都の熱中症の発生と死亡について」

第 48 回日本生気象学会 (独立行政法人産業技術総合研究所つくば中央第 1 共用講堂)

2009 年 10 月 31 日

## 箱木 北斗 (はこぎ ほと) 准教授

---



出生年 : 1949 年  
在籍 : 1990 年 4 月～  
最終学歴 : 桐蔭横浜大学大学院制御システム工学専攻博士後期課程  
修了  
学位 : 工学博士  
学位論文 : 関節拘縮治療支援装置の開発及びその評価に関する研究  
専門分野 : 制御工学、ロボット工学  
前職 : 桐蔭学園工業高等専門学校講師  
学会 : 計測自動制御学会、日本ロボット学会、バイオメカニズム学  
会、電気学会、ライフサポート学会

### 講演会・研修会・セミナー講師

---

「ワンボードマイコン技術修得への新戦略 ～学生実験用ワンボードマイコンと教材開発について～」

社団法人 日本工業技術振興協会 (JTTAS) 平成 21 年 11 月特別講演会 (ダイビル 12 階 首都大学東  
京 秋葉原サテライトキャンパス)

2009 年 11 月 21 日

「H8 マイコン講習会『インストールと基本動作の確認』」

JTTAS2月講習会 (桐蔭横浜大学工学部 1 号館 W 棟 W101)

2010 年 2 月 11 日

「H8 マイコン講習会『基本プログラムの解説と動作確認』」  
JTAS3月講習会(桐蔭横浜大学工学部1号館W棟W101)  
2010年3月11日

## 吉 鷹 幸 春 (よしたか ゆきはる) 准教授

---



出生年 : 1964年  
在籍 : 1995年4月～  
最終学歴 : 筑波大学大学院修士課程体育研究科修了  
学位 : 体育学修士  
学位論文 : 柔道の「背負投」におけるバイオメカニクス的研究  
専門分野 : 運動方法論、コーチ学、スポーツ心理学  
前職 : 山形県教育庁  
資格 : 専修免許状(保健体育)  
学会 : 日本武道学会、日本体育学会、日本スポーツ心理学会、日本応用心理学会、日本教育医学会  
社会的活動 : 全日本柔道連盟ルネッサンス委員、全日本柔道連盟公認Aライセンス審判員  
受賞・表彰 : 文部科学省 国際競技大会優秀者(指導者)表彰(1999年)

## 著書出版

---

### 「ジュニア育成のための『柔道コーチング論』」

(共著: 山口香、岡田弘隆、**吉鷹幸春**、出口達也、増地克之、内村直也、春日井淳夫、小山勝弘、射手矢岬、南條充寿、佐藤伸一郎、中村勇、船越正康 (編著: 柔道選手育成研究会))  
道和書院 担当項: 「男子ジュニアナショナルチームに対するコーチング」 p42-52  
2009年9月25日

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(口頭発表)

### 「全日本柔道強化選手の心理データと戦績との関係、—北京五輪前のYG分析—」

日本武道学会第42回大会(大阪大学豊中キャンパス)  
2009年8月24日

## その他

---

### ○海外出張

2009年9月10日～9月20日、ベトナム(ホーチミン市)  
国際オリンピック委員会派遣、オリンピックソリダリティー柔道指導  
(ベトナム柔道連盟ナショナルチーム選手・指導者及び地方指導者約100名を対象に10日間柔道指導を行った。)

## 岡本 大 (おかもと だい) 講師

---



出生年 : 1973 年  
在籍 : 2008 年 4 月～  
最終学歴 : 国際武道大学大学院 武道・スポーツ研究科 武道・スポーツ専攻修士課程 修了  
学位 : 修士 (武道・スポーツ)  
学位論文 : 異なる床面性状が跳躍成績に与える影響  
専門分野 : ハンドボール、コーチング論、ゲーム分析、バイオメカニクス  
前職 : 国士舘大学大学院スポーツ・システム研究科助手  
タイナショナルチームヘッドコーチ、JOC ジュニア強化コーチ  
学会 : 日本体育学会、日本体力医学会、日本バイオメカニクス学会  
社会的活動 : 日本体育協会公認ハンドボールコーチ

### その他

#### ○海外出張

2009 年 7 月 1 日～7 月 14 日

ヨルダン、第 3 回女子ユースアジアハンドボール選手権(コーチ)

## 栗山 裕 (くりやま ゆたか) 講師

---



出生年 : 1957 年  
在籍 : 1991 年 4 月～  
最終学歴 : 東京都立科学技術大学(現・首都大学東京)大学院工学研究科博士後期課程  
学位 : 学術博士  
学位論文 : 大学における情報教育の支援に関する研究  
専門分野 : 知能情報処理、感性情報処理  
前職 : 桐蔭学園工業高等専門学校助手  
学会 : 電子情報通信学会、人工知能学会、日本ファジィ学会、日本教育工学会、日本人間工学会  
社会的活動 : あおばみんメディアリポーター(2009.10.20～)

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(口頭発表)

「疑似スポーツが世代間交流に果たす効果」

(栗山裕、橋下友茂、山下利之) 第 35 回ファジィ・ワークショップ(首都大学東京)

2010 年 3 月

## その他

---

### ○学位・資格取得

(資格取得)

IT パスポート試験 (国家資格/経済産業省)

2009年5月26日

### ○その他特記事項

首都大学東京 客員研究員 (人文科学研究科 所属)

2009年4月～現在

## 廣瀬立郎 (ひろせ たつろう) 助教

---



出生年 : 1973年8月24日

在籍 : 2009年4月～

最終学歴 : 東京大学大学院

学位 : 博士(学術)

学位論文 : 力学的除負荷が筋内コラーゲン代謝に与える影響

専門分野 : 運動生理学、運動生化学

前職 : 日本体育大学 助教

非常勤講師 : 上智大学

学会 : 日本体力医学会

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「尾部懸垂がラット筋内デコリンに与える影響」

第64回日本体力医学会(新潟市)

2009年9月

**岡本 真佐子 (おかもと まさこ) 教授**

---



出生年 : 1961 年  
在籍 : 2007 年 4 月～  
最終学歴 : 大阪大学人間科学研究科博士後期課程単位取得退学  
学位 : 修士(人間科学)  
専門分野 : 文化人類学、文化政策、国際文化交流  
前職 : 国士舘大学 21 世紀アジア学部 教授  
留学 : トルコ・ボアヂチ大学歴史学部 客員研究員  
英・オックスフォード大学東洋研究所 客員研究員  
学会 : 日本社会学会  
社会的活動 : (独)国際交流基金客員研究員  
国土交通省 交通政策審議会委員

**学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演**

---

(口頭発表)

「国際文化交流の評価研究～異文化理解の手がかりとして」

法政大学国際日本学研究センター 第一回東アジア文化研究会、法政大学国際日本学研究センター  
2009 年 4 月 22 日

**講演会・研修会・セミナー講師**

---

「国際文化交流の評価」(講師)

上智大学公開講座(ソフィアコミュニティカレッジ)  
2009 年 12 月 22 日

**その他**

---

**○海外出張**

2009 年 8 月 9 日～16 日

国際コミュニケーション実習打合せ、慶南大学(韓国)・内蒙古農業大学(中国)・内蒙古大学(中国)

2010 年 2 月 28 日～3 月 3 日

国際コミュニケーション実習打合せ、ワイカト大学(ニュージーランド)

**○雑誌・新聞記事掲載**

「100 歳を迎えた知の巨人」

教育新聞、第 1 面コラム「円卓」

2009 年 1 月 19 日

## 清水 麗 (しみず うらら) 教授

---



出生年 : 1967 年  
在籍 : 2008 年 4 月～  
最終学歴 : 筑波大学大学院博士課程国際政治経済学研究科 単位  
取得満期退学  
学位 : 修士(地域研究)、修士(学術)、博士(国際政治経済学)  
学位論文 : 戦後日中台関係とその政治力学-台湾をめぐる国際関係-  
専門分野 : 東アジアの国際関係論、地域研究、日中台関係  
前職 : 国士舘大学 21 世紀アジア学部教授  
非常勤講師 : 東京外国語大学、愛知大学大学院  
学会 : アジア政経学会、日本国際政治学会、日本台湾学会

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(口頭発表)

「1950 年代末から 1960 年代における日華チャンネルの変動」

中央研究院台湾史研究所「国際学術研討会 戦後台湾社会與経済之変遷」(台湾)

2009 年 12 月 23 日

### その他

---

#### ○海外出張

(2008 年度 未掲載分 1 件)

2009 年 3 月 2 日～10 日

財団法人交流協会「大学院生交流事業(台湾派遣)」引率、台湾

2009 年 8 月 10 日～16 日

資料収集、中央研究院近代史研究所、国史館(台湾)

2009 年 12 月 1 日～3 日

台湾総合研究院、台湾要人訪問

2009 年 12 月 22 日～25 日

国際学術研討会、中央研究院(台湾)

#### ○その他特記事項

(書評)

「若林正文『台湾の政治—中華民国台湾化の戦後史—』(東京大学出版会、2008 年)」

『アジア経済』2009 年 6 月号

2009 年 6 月



## 田村和寿（たむら かずひさ）教授

---



出生年 : 1941 年  
在籍 : 2008 年 4 月～  
最終学歴 : 早稲田大学第一政治経済学部経済学科  
学位 : 経済学士  
学位論文 : 「消費高次化社会における消費函数の研究」  
専門分野 : 都市・地域研究、まちづくり論、都市経営論、文化政策論、公共計画論、理論経済学  
前職 : (株)都市計画連合アトリエ代表取締役  
          亜細亜大学 学長補佐・地域産学公連携推進室コーディネーター  
非常勤講師 : 早稲田大学 芸術学校 都市デザインコース講師  
学会 : 早稲田大学都市計画フォーラム／市民と議会の条例づくり交流会議、(社)知識資源機構  
社会的活動 : 文化庁文化審議会文化政策部会委員、武蔵野市新クリーンセンター基本計画策定委員長、武蔵野市長期計画策定委員長、武蔵野市交通協議会会長、その他多数  
受賞・表彰 : 武蔵野市行政功労者

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演・・・2009 年以降

---

(シンポジウム司会)

「分権時代の自治体経営の基本ルールを考える」

自治基本条例連続シンポジウム第 1 回 (武蔵野市役所大会議室)

2009 年 1 月

(学会コメンテーター)

「まちづくり市民事業が拓く世界」

第 17 回早稲田まちづくりシンポジウム(早稲田大学国際会議場)

2009 年 6 月

(学会口頭発表)

「桐蔭横浜大学におけるサービスマーケティング展開の経緯と成果」

全国ボランティア学習フォーラム東京大会(世田谷区民会館)

2009 年 11 月

(シンポジウムコーディネーター)

「健康創造都市ふくろいの創造とスポーツのある暮らしづくり」

静岡県民文化祭(袋井市総合スポーツセンター・エコパ)

2009 年 10 月

(シンポジウム基調講演)

「市民自治と協働の時代へ」

自治基本条例連続シンポジウム第 2 回(武蔵境スイングホール)

2010 年 1 月

## 講演会・研修会・セミナー講師

---

(2008年度未掲載分 2件)

(招待講演)

「現代俳句のこれからを考える」

熊谷と金子兜太氏の会(熊谷市文化会館)

2009年1月

(講演)

「世代間格差を越えて…」

NPO 法人ライツ

2009年2月

(招待講演)

「これからの再開発とエリアマネジメント」

吉祥寺駅南口再開発準備組合

2009年5月

(講演)

「暮らしにとっての道」

これからの道を考える市民の会(武蔵野市商工会館講堂)

2009年9月

「横浜市郊外部の展開と青葉区まちづくりの今後に向けて」

横浜市大学連携講座最終回(横浜市中心図書館)

2009年12月

「西川口駅前地区のリニューアル戦略について」

西川口まちづくり協議会連続講演会

2010年3月

## 時 本 識 資 (ときもと つねつぐ) 教授

---



出生年 : 1959年

在籍 : 2006年4月～

最終学歴 : 日本体育大学大学院体育学研究科 修了

学位 : 修士(体育学)、博士(政治学)

学位論文 : 戦後日本におけるスポーツ行政構造と政策に関する研究

専門分野 : スポーツ政策論

資格 : 国会議員政策秘書資格

学会 : 日本体育学会、日本体育・スポーツ政策学会

社会的活動 : (独)大学評価・学位授与機構学位審査会専門委員  
(財)日本アンチ・ドーピング機構倫理委員会委員 等

## 中 林 伸 浩 (なかばやし のぶひろ) 教授

---



出 生 年 : 1941 年  
在 籍 : 2007 年 4 月～  
最 終 学 歴 : 東京大学大学院社会学研究科文化人類学専攻博士課程  
単位修得退学  
学 位 : 博士(人間科学)(大阪大学)  
学 位 論 文 : 「国家を生きる社会・・・西ケニア・イスハの氏族」  
専 門 分 野 : 文化人類学  
前 職 : 金沢大学文学部人間学科教授  
留 学 : 英国ケンブリッジ大学(1969.9～1971.3)  
学 会 : 日本アフリカ学会、比較家族史学会

### 著書出版

---

#### 『キリスト教の歴史 2』

(共著: **中林伸浩**、高柳俊一 編) 山川出版社 195-210 頁  
2009 年 8 月

#### 『スピチュアル・アフリカ』

(共著: **中林伸浩**、落合雄彦 編) 晃洋書房 1-26 頁  
2009 年 10 月

## 今 泉 隆 裕 (いまいずみ たかひろ) 講師

---



出 生 年 : 1975 年 6 月 29 日  
在 籍 : 2008 年 4 月～  
最 終 学 歴 : 法政大学大学院人文科学研究科博士課程 日本文学専攻  
単位修得退学  
学 位 : 修士(文学)  
学 位 論 文 : 修羅能の道程  
専 門 分 野 : 日本文学、宗教学  
前 職 : 法政大学国際日本学研究所学術研究員  
学 会 : 日本宗教学会、能楽学会、楽劇学会、漢文教育学会

### 著書出版

---

(2008 年度未掲載分 1 件)

#### 『隅田川文化の誕生—梅若伝説と幻の町・隅田宿—』(すみだ郷土文化資料館編)

(共著: 西野春雄、宮本瑞夫、樋口州男、鈴木彰、田中禎昭、青木俊郎、高塚明恵、西村健、木村涼、成田杏子、**今泉隆裕**) 墨田区教育委員会事務局生涯学習課すみだ郷土文化資料館、87-99 頁、148-150 頁、163-164 頁(第 3 章概説、第 3 章第 1 節・第 2 節全体とコラム、論考「謡曲《隅田川》と隅田宿」、巻末資料「すみだ川さうし」翻刻、担当)

2008 年 11 月 15 日

## 論文掲載

---

(2008年度未掲載分 2件)

### 「謡曲《隅田川》と隅田宿」

(単著) すみだ郷土文化資料館編『隅田川文化の誕生—梅若伝説と幻の町・隅田宿—』

墨田区教育委員会事務局生涯学習課すみだ郷土文化資料館

2008年11月15日

### 「幽霊能の一考察—「苦しむ死者」観の採用についての覚書」

(単著) 日本文学誌要 (79)、90-101頁、法政大学国文学会

2009年3月

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(口頭発表)

(2008年度未掲載分 1件)

### 「謡曲における神：脇能にみるワキとシテ(神)の関係について」

日本宗教学会 第六十七回学術大会(第八部会)、筑波大学(茨城県つくば市)

2008年9月

## 講演会・研修会・セミナー講師

---

(解説)

### 解説「高安と能」「高安ルーツの能鑑賞会—能楽のルーツが大阪高安にあった—」

主催 文化庁・高安ルーツの能実行委員会・NPO法人 なにわ文化芸術芸能推進協議会、後援  
大阪経済法科大学・エリーニュネスコ協会・日本ユネスコ協会連盟(横浜能楽堂 第二舞台)

2010年2月7日

(解説およびシンポジウムパネラー)

### 「八尾・高安と能の関わりを知る講座—「高安流」や名作「井筒」「弱法師」と番外曲「高安」、そして郷土風景—」

主催 文化庁・高安ルーツの能実行委員会・NPO法人 なにわ文化芸術芸能推進協議会、後援  
大阪経済法科大学・エリーニュネスコ協会・日本ユネスコ協会連盟(横浜能楽堂 第二舞台)

2010年2月7日

## その他

---

### ○補助金・助成金等

国際日本学研究奨励金

研究題目「幽霊能の普遍性と個別性」(単独)

法政大学国際日本学研究所

2006年4月～2007年3月

### ○雑誌・新聞記事掲載

(エッセイ)

(2008年度未掲載分 1件)

### 「隅田川・芸能の世界」

(すみだ郷土文化資料館だより) みやこどり(30)、5面、すみだ郷土文化資料館

2008年11月

「文化政策と芸能—能楽とオペラ」

桐蔭横浜大学新聞(3)、2面、桐蔭横浜大学  
2009年12月20日

「〈歩く〉表現—道行文の世界—」

帰れ自然へアルク(530)、6-7頁、財団法人日本万歩クラブ  
2010年1月5日

○その他特記事項

(エッセイ)

「学生時代「ニセ学生」の日々」

若者たちへ(2010)、4-5頁、桐蔭横浜大学  
2010年3月19日

(発表要旨)

「幽霊能とその源流：神身離脱譚と夢幻説話・夢幻能」

日本宗教学会 第六十六回学術大会(第十部会)、宗教研究 81(4)、1236-1237頁  
2008年3月30日

(2008年度未掲載分 1件)

「謡曲における神：脇能にみるワキとシテ(神)の関係について」

日本宗教学会 第六十七回学術大会(第八部会)、宗教研究 82(4)、1210-1212頁、日本宗教学会  
2009年3月30日

(展示監修)

(2008年度未掲載分 1件)

「すみだ郷土文化資料館開館十周年記念特別展示 隅田川文化の誕生—梅若伝説と幻の町・隅田宿—」

墨田区教育委員会事務局生涯学習課すみだ郷土文化資料館、展示ブース第 3-1・2 監修・展示品選定・キャプション作成等を担当、開催期間 2008年11月15日～2009年1月16日

(記事執筆)

(2008年度未掲載分 1件)

「2008年度第3回東アジア文化研究会 報告者 小倉紀蔵(2・1・0—東アジアの文化・文明論的構造)の要旨」

The Newsletter Hosei I.J.S(9)、法政大学国際日本学研究所  
2008年10月

(目録作成)

(2008年度未掲載分 1件)

「田中允文庫蔵書目録(下)(付解題)」

(伊海孝充・今泉隆裕)能楽研究 (33)、31-82、法政大学能楽研究所  
2008年



出生年 : 1974 年  
在籍 : 2009 年 4 月～  
最終学歴 : 一橋大学大学院社会学研究科地球社会研究専攻博士課程  
学位 : 博士 (社会学)、修士 (社会学)  
学位論文 : 「中国における気功の社会史 一近代、科学、宗教」(修士論文)  
「中国の近代化政策と気功の変遷」(博士論文)  
専門分野 : 社会学、文化人類学  
留学 : 東京外国語大学  
The Institute Hampstead Garden Suburb, London  
北京第二外国語学院  
学会 : 日本文化人類学会、日本現代中国学会、「宗教と社会」学会、中国社会文化学会

### 著書出版

---

“Making Religion, Making the State: The Politics of Religion in Modern China”

(Utiraruto Otehode Edited by Yoshiko Ashiwa and David L. Wan)

Stanford University Press, 2009.3, pp1-294 (Utiraruto Otehode, chap10, The Creation and Reemergence of Qigong in China, pp241-265)

### 論文掲載

---

「1950 年代中国における社会主義建設と気功療法の生成」

(単著) 次世代アジア論集、NO.2、pp24-43

2009 年 3 月

「気の身体性——文化と歴史の視点から」

(単著) 彦根論叢、第 380 号、pp133-134

2009 年 9 月

(学位論文)

「中国の近代化政策と気功の変遷」

(単著) 一橋大学大学院、博士 (社会学)

2009 年 7 月 31 日

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「気の身体性——文化と歴史の視点から」

滋賀大学・経済学部ワークショップ (彦根市)

2009 年 5 月 29 日

「中国の近代化政策と気功の変遷」

日本文化人類学会 2009 年度修士論文・博士論文発表会 (東京都・東洋大学)

2010 年 3 月 20 日

## その他

---

### ○学位・資格取得

学位取得 博士(社会学) 一橋大学(大学院社会学研究科)

2009年7月31日

### ○海外出張

2009年8月8日～12日

韓国・馬山市(慶南大学)

2009年8月13日～20日

中国・内蒙古自治区(内蒙古大学、内蒙古農業大学)

2009年9月6日～13日

オーストラリア・キャンベラ市(オーストラリア・ナショナル・ユニバーシティ ANU)

### ○その他特記事項

日本文化人類学会編『文化人類学事典』丸善株式会社、2009年、pp1-833

(ウチラルト「宗教対立」pp580-581)

---

## 田中宏和(たなか ひろかず) 講師

---



出生年 : 1977年

在籍 : 2008年4月～

最終学歴 : 国士舘大学大学院スポーツ・システム研究科博士後期課程  
単位取得後退学

学位 : 修士(体育科学)

学位論文 : 戦後日本におけるスポーツ政策の展開に関する研究  
ー「体育政策」から「スポーツ政策」への転換ー

専門分野 : スポーツ行政学、スポーツ政策学、スポーツマーケティング

前職 : 国士舘大学大学院スポーツ・システム研究科 助手

学会 : 日本体育学会、日本体育・スポーツ政策学会、  
日本NPO学会、日本体育・スポーツ経営学会、  
日本スポーツマネジメント学会

## 松谷 満 (まつたに みつる) 講師

---



出生年 : 1974 年  
在籍 : 2008 年 4 月～  
最終学歴 : 大阪大学大学院人間科学研究科(人間科学専攻) 博士後期課程 単位取得後退学  
学位 : 博士(人間科学)  
学位論文 : 脱政党政治と価値意識—政治文化論の再構築に向けて  
専門分野 : 社会学、政治学、社会調査法  
前職 : 徳島大学全学共通教育センター講師  
資格 : 専門社会調査士  
学会 : 日本社会学会、関西社会学会、「宗教と社会」学会  
関東社会学会、日本政治学会  
受賞・表彰 : Japan General Social Surveys 優秀論文 受賞(2003.5)

### 論文掲載

---

「若者のミリューと政治的好感度—ポピュリズム、市民運動、東アジア—」

(単著) 桐蔭論叢 第 20 号 135-143 頁

2009 年 6 月 15 日

『保守補完』政党としての公明党——支持層における『非保守的』政治志向の抑止効果をめぐって」

(単著) アジア太平洋レビュー 第 6 号 29-42 頁

2009 年 9 月 30 日

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(口頭発表)

「ポスト 55 年体制期における『無党派』知事台頭の背景」

日本社会学会第 82 回大会 (立教大学)

2009 年 10 月 11 日

### その他

---

#### ○補助金・助成金等

科学研究費補助金若手研究(B)

「日本型ポピュリズムの論理と心情——大都市無党派層の実証研究」(研究代表者)

2009 年 4 月～2010 年 3 月

財団法人カシオ科学振興財団研究助成

「ローカルパーティーの現代社会論——個人化社会における政治の再構築をめぐる困難」(研究代表者)

2009 年 1 月～2009 年 12 月

#### ○その他特記事項

「ポピュリズムとしての石原都政——なぜ都民は支持したのか」

東京自治研究センター編『石原都政 10 年の検証——東京白書<3>』

生活社 21-28 頁

2009 年 12 月 20 日



## 青山 鉄兵 (あおやま てっぺい) 助教

---



出生年 : 1980 年  
在籍 : 2008 年 4 月～  
最終学歴 : 東京大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻生涯学習基盤経営コース博士課程 単位取得満期退学  
学位 : 修士(教育学)  
学位論文 : 「戦後社会教育論における集団の位置-集団における人間形成分析のための基礎的研究-」(修士論文・東京大学 2005)  
専門分野 : 社会教育学、青少年教育論、生涯学習論  
学会 : 日本生涯教育学会、教育史学会、日本教育社会学会、日本デュエイ学会、日本ボランティア学習協会  
社会的活動 : 独立行政法人国立青少年教育振興機構客員研究員  
日本ボランティア学習協会幹事  
日本生涯教育学会幹事  
生涯学習・社会教育研究促進機構事務局長補佐兼「生涯学習・社会教育研究ジャーナル」編集委員会幹事  
(財)東京 YMCA 野尻学荘スタッフ

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「桐蔭横浜大学における『サービス・ラーニング実習』の概要」

(田村和寿、青山鉄兵)

第 12 回全国ボランティア学習研究フォーラム事例報告(昭和女子大学)

2009 年 11 月

国立青少年教育振興機構「青少年体験活動フォーラム」

分科会助言者(北海道大学)

2010 年 2 月

### 講演会・研修会・セミナー講師

---

(講師)

「『子どもたちとのふれあい』を深める講座」草加市

2009 年 6 月

「放課後子どもプラン指導者研修会」石川県

2009 年 8 月

「放課後子ども教室および学校応援団コーディネーター養成研修」埼玉県

2010 年 1 月

### その他

---

#### ○海外出張

2009 年 7 月

国際視覚障害者スポーツ連盟 柔道ユース大会(ハンガリー) 日本選手団スタッフ(触手話・指  
点字通訳担当)

## 大学院

### 工学研究科 (Graduate School of Engineering)

#### 宮坂 力 (みやさか つとむ) 教授

---



- 出生年 : 1953 年  
在籍 : 2001 年 12 月～  
最終学歴 : 東京大学大学院工学系研究科合成化学専攻博士課程  
学位 : 工学博士  
学位論文 : 光合成初期過程の電気化学シミュレーション  
専門分野 : 光電気化学、環境エネルギー科学  
前職 : 富士写真フィルム足柄研究所主任研究員  
現職 : 大学ベンチャー ペクセル・テクノロジーズ株式会社 顧問 (兼務)  
留学 : カナダ・ケベック大学トアリビエール校生物物理学科 (1979-1980)  
資格 : 危険物取扱甲種主任  
非常勤講師 : 東京大学大学院工学系研究科  
学会 : 日本化学会、電気化学会、光化学協会、高分子学会、アメリカ電気化学会  
社会的活動 : 東京大学大学院総合文化研究科客員教授 (2005-2009)  
東京大学大学院工学系研究科非常勤講師 (2010～)  
(社) 日本化学会「Chemistry Letters」誌編集委員 (～2008)、関東支部幹事  
(社) 電気化学会理事 (～2009)、評議員 (2010～)  
(独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 技術委員 (2008～)  
(独) 科学技術振興機構 (JST) 国際科学技術協力推進委員 (2009～)  
NEDO 次世代太陽光発電システム研究プロジェクトリーダー (～2007)  
JST 革新技术開発研究事業のプロジェクトリーダー (～2008)  
経済産業省地域イノベーション創出研究プロジェクトリーダー (～2009)  
受賞・表彰 : (財) 化学技術戦略推進機構「アカデミアショーケース」 (2002)  
横浜市ベンチャービジネスプランコンテスト「アカデミー賞」 (2004)  
Scientific American 50 selection (2005)  
GSC(グリーンサステナブルケミストリー)・文部科学大臣賞 (2009)

## 著書出版

---

### 『新コンセプト太陽電池と製造プロセス』

(監修) シーエムシー出版

2009年5月

### 『図解 最新太陽光発電のすべて』(監修 桑野幸徳・近藤道雄)

「印刷による色素増感太陽電池の製造技術」

(単著) 工業調査会

2009年6月

## 論文掲載

---

### “Highly porous PProDOT-Et<sub>2</sub> film as counter electrode for plastic dye-sensitized solar cells”

(Kun-Mu Lee, Chih-Yu Hsu, Po-Yen Chen, **Masashi Ikegami**, **Tsutomu Miyasaka**, Kuo-Chuan Ho)

*Phys. Chem. Chem. Phys.*, **18**, 3375-3379(2009).

2009年

### “Efficient and stable plastic dye-sensitized solar cells based on a high light-harvesting ruthenium sensitizer”

*Journals of Materials Chemistry*,

*J. Mater. Chem.*, 2009, 19, 5009 - 5015, DOI: 10.1039/b903852c

2009年9月

### “Improvement in durability of flexible plastic dye-sensitized solar cell modules”

(**M. Ikegami**, J. Suzuki, K. Teshima, M. Kawaraya, and **T. Miyasaka**)

*Solar Ener. Mater. Solar Cells*, **93**, 836-839(2009)

2009年

### “Organometal halide perovskites as visible-light sensitizers for photovoltaic cells”

(A.Kojima, K. Teshima, Y. Shirai, and **T. Miyasaka**)

*J. Am. Chem. Soc.*, **131**, 6050-6051(2009)

2009年

## 総説・論説

---

### 「新コンセプト太陽電池と製造プロセス」

(監修) シーエムシー出版

2009年5月

### 「太陽電池用透明電極の要求特性」

(単著) 月刊ディスプレイ、45-50頁

2009年5月号

### 「色素増感太陽電池の最新動向」

(単著) 電子材料、48、25-29頁

2009年6月

### 「プリンタブル、フレキシブル色素増感光電変換素子の開発」

(単著) クリーンテクノロジー、19、27-30頁

2009年9月5日

「プリンタブル、フレキシブル色素増感光電交換素子の開発」

(単著) クリーンテクノロジー 2009年9月号、特集:フレキシブル・プリンタブルエレクトロニクスの新展開  
2009年9月

「有機系太陽電池と印刷技術」

(単著) 日本印刷学会誌、第46巻第6号、254-259頁  
2009年12月

「有機系太陽電池と印刷技術」

(単著) 日本印刷学会誌第46号 254-259頁  
2009年

「色素増感太陽電池の最新動向」

(単著) 電子材料第48号 25-29頁  
2009年

『太陽電池と部材の開発・製造技術』共著本

「太陽電池基板とフレキシブル化技術—有機系太陽電池を中心に—」

(単著) 情報機構

2010年3月24日

**学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演**

---

Opening talk

Dyesol 社主催、DSC の産業化に関する国際ワークショップ (DSC-IC2009) (奈良市新公会堂)

2009年4月22日～24日

「有機・色素増感系太陽電池のグリーン・サステナブルな技術開発」

第4回機能性色素および先端材料に関する東アジアシンポジウム(近畿化学協会90周年記念シンポジウムと合同)(大阪国際交流センター)

2009年6月2日～6日

“Green printable dye-sensitized photovoltaic cells by plastic technologies”

E-MRS 2009 Spring Meeting, “Materials for Energy - Symposium A”, International Symposium on “Mesoscopic Dye-Sensitized and Organic Heterojunction Solar Cells”, Congress Center, Strasbourg, France

2009年6月8日～11日

「プラスチック色素増感太陽電池モジュールの光発電特性」

太陽電池モジュール学振175委員会第6回「次世代の太陽光発電シンポジウム」朱鷺メッセ(新潟)

2009年7月2日

「プリンタブル・フレキシブル色素増感光電変換素子」

第28回電子材料シンポジウム(ラフォーレ琵琶湖)

2009年7月10日

“Highly efficient inorganic sensitizers for mesoscopic TiO<sub>2</sub> solar cell”

(T. Miyasaka and A. Kojima)

The Sixth China International Conference on High-Performance Ceramics (CICC-6), / Harbin, China  
2009年8月16日～19日

「異業種と産学間のコラボレーションー有機太陽電池開発ー」

ファーストカンファレンス主催、第1回有機系太陽電池カンファレンス(シェラトン都ホテル)

2009年9月2日

「色素増感太陽電池の応用とモジュール開発」

応用物理学会スクール 2009年秋季(富山大学五福キャンパス)

2009年9月8日

「色素増感太陽電池の照射光強度特性ー無機系太陽電池との比較」

(三好幸三、池上和志、宮坂力)

電気化学会 2009年秋季大会、(東京農工大学工学部)

2009年9月10日～11日

「有機色素増感プラスチック太陽電池の低温成膜バッファ層による高効率化」

(森田紗織、池上和志、宮坂力)

電気化学会 2009年秋季大会、(東京農工大学工学部)

2009年9月10日～11日

「色素増感プラスチック電極における色素共吸着の特性」

(Kun-Mu Lee, Kuo-Chuan Ho、池上和志、宮坂力)

電気化学会 2009年秋季大会、(東京農工大学工学部)

2009年9月10日～11日

「電解重合 PEDOT とカーボンを触媒に用いる色素増感太陽電池用対極の検討」

(奥村拓郎、池上和志、宮坂力)

電気化学会 2009年秋季大会、(東京農工大学工学部)

2009年9月10日～11日

(招待講演)

「フレキシブル色素増感太陽電池と製造プロセス」

化学工学会第41回秋季大会(広島大学東広島キャンパス)

2009年9月30日

“Flexible and printable dye-sensitized photovoltaic cells with bifacial performance”

International Workshop on Flexible & Printable Electronics 2009 (IWFPE 2009), Korea, Muju Resort

2009年11月18～19日

“Organo-metal quantum dot sensitizers for mesoscopic TiO<sub>2</sub> solar cell.”

(T. Miyasaka and M. Ikegami)

MRS Fall Meeting 2009, in Symposium, Boston, USA : Advanced Nanostructured Solar Cells,  
Co-organised with Dr. A. Frank

2009年11月30～12月4日

“Film-type dye-sensitized solar cells and facad applications (フィルム型色素増感太陽電池とファサードデザイン)”

エコデザイン国際シンポジウム(ロイトン札幌)

2009年12月9日

「塗布プロセスによる有機・無機ハイブリッド太陽電池の開発」

(宮坂力、池上和志)

日本化学会第90春季年会(近畿大学)

2010年3月26日～29日

「低炭素社会に向けたプラスチック色素増感太陽電池の開発」

日本化学会第90春季年会(近畿大学)

2010年3月26日～29日

「新規吸着基を持つカルバゾール系有機色素を用いたプラスチック色素増感太陽電池の光電変換特性」

(森田紗織、河野正教、池上和志、手島健次郎、甲村長利、原浩二郎、張雪華、宮坂力)

電気化学会第77回大会(富山大学五福キャンパス)

2010年3月29日～30日

「プラスチック色素増感太陽電池における酸化チタンバッファ層の効果」

(三好幸三、池上和志、宮坂力)

電気化学会第77回大会(富山大学五福キャンパス)

2010年3月29日～30日

「ポリビニルアルコールとイオン液体を含む高粘性電解質を用いた色素増感太陽電池の光電変換特性」(田村壮礼、池上和志、宮坂力)

電気化学会第77回大会(富山大学五福キャンパス)

2010年3月29日～30日

「色素増感半導体を用いる可視光照射下の活性酸素種生成の検討」

(副田知宏、池上和志、宮坂力)

電気化学会第77回大会(富山大学五福キャンパス)

2010年3月29日～30日

「導電性高分子及び金属酸化物を使用したレドックス光キャパシタの放電特性」

(仲村浩貴、池上和志、手島健次郎、宮坂力)

電気化学会第77回大会(富山大学五福キャンパス)

2010年3月29日～30日

「光キャパシタの充電容量に及ばず光発電層の効果の検討」

(山本慶太、手島健次郎、池上和志、宮坂力)

電気化学会第77回大会(富山大学五福キャンパス)

2010年3月29日～30日

#### 講演会・研修会・セミナー講師

「色素増感太陽電池製造技術の現状と課題」

電子ジャーナル第207回シンポジウム「2009太陽電池製造技術・装置、徹底検証」

2009年5月14日

**「色素増感太陽電池の耐久性と封止対策」**

サイエンス&テクノロジー(株)主催、セミナー「太陽電池における水蒸気・ガスバリア技術と材料開発」  
2009年6月15日

**「有機・色素系太陽電池開発の技術動向と産業用途」**

日本油化学会東海支部セミナー「有機太陽電池の最新技術」(名古屋市工業研究所)  
2009年6月17日

**「色素増感太陽電池の耐久性向上技術と封止技術」**

技術情報協会主催、色素増感太陽電池の高耐久化技術(ゆうぼうと5F/五反田)  
2009年6月22日

**「新型有機系太陽電池の開発状況－色素増感を中心に－」**

滋賀ファインセラミックスフォーラム第70回例会(龍谷大学)  
2009年6月26日

**「プリンタブル色素増感型太陽電池の最新動向」**

電子ジャーナル主催(東京)  
2009年7月30日

**「プリンタブル色素増感太陽電池の開発」**

新化学発展協会主催、電子情報技術部会 プリンタブル・エレクトロニクスWG 講演会  
2009年8月7日

**「色素増感太陽電池の作製と評価」**

(社)電気化学会主催、電気化学測定セミナー(芝浦工業大学)  
2009年8月10日

**「フレキシブル色素増感太陽電池」**

電子ジャーナル主催、セミナー「色素増感太陽電池の最前線★徹底検証」(東京)  
2009年8月20日

**「透明導電膜の材料設計と性膜技術」**

技術情報協会主催、セミナー、「有機・色素増感太陽電池に向けた透明導電基板」(北とびあ 902 室/東京・王子)  
2009年8月26日

**「異業種と産学間のコラボレーションー有機太陽電池開発ー」**

ファーストカンファレンス主催、第1回有機系太陽電池カンファレンス(シェラトン都ホテル)  
2009年9月2日

**「色素増感太陽電池の応用とモジュール開発」**

第45回応用物理学会スクール(2009年応用物理学会秋季講演会)(富山大学五福キャンパス)  
2009年9月8日

「有機・色素増感太陽電池開発の応用展開」

学振 136 委員会シンポジウム

2009 年 9 月 14 日

「有機系太陽電池の現状と印刷技術の将来展望」

日本印刷学会主催、2009 年度第 2 回 P&I 研究会シンポジウム(日本印刷会館2F 会議室)

2009 年 9 月 14 日

「色素増感型フレキシブル太陽電池の最近の動向」

ナノファイバー学会主催、TOKYO・TECH・FRONT 第 1 回講演会

2009 年 9 月 18 日

「低コスト発電デバイスとしての色素増感太陽電池」

電子情報通信学会・集積光デバイスと応用技術時限研究会「集積光デバイスが拓く省エネ・創エネ技術」(東工大大岡山キャンパス・ロイヤルブルーホール)

2009 年 10 月 16 日

「フレキシブル色素増感太陽電池技術」

オルガテクノ 2009 展示会(東京ベルサール八重洲)

2009 年 11 月 10 日

「グリーンデバイスとしてのプリンタブル色素増感太陽電池」

日本表面科学会主催、第 30 回表面科学セミナー(東京理科大学森戸記念館第 1 会議室)

2009 年 11 月 13 日

「色素増感太陽電池と導電性ポリマー技術」

ナノ構造ポリマー研究会主催、メソポーラス有機太陽電池とポリマー技術講演会(味覚糖 UHA 館 302 号室)

2009 年 12 月 11 日

「ロール to ロールによる有機・色素増感太陽電池製造技術」

電子ジャーナル社主催、第 229 回 Technical Symposium ロール to ロール製造技術★徹底検証(総評会館/東京・お茶の水)

2010 年 1 月 26 日

「グリーンデバイスとしてのプリンタブル色素増感太陽電池」

C-NET 主催、C-NET 定期講演会第 4 回(回路会館地下会議室/東京・西荻窪)

2010 年 3 月 19 日

**その他**

**○海外出張**

2009 年 6 月 8 日～11 日

E-MRS 2009 Spring Meeting, "Materials for Energy - Symposium A", International Symposium on "Mesoscopic Dye-Sensitized and Organic Heterojunction Solar Cells", Congress Center, Strasbourg, France

2009 年 8 月 16 日～19 日

The Sixth China International Conference on High-Performance Ceramics (CICC-6), / Harbin, China



2009年11月18～19日

International Workshop on Flexible & Printable Electronics 2009 (IWFPE 2009), Korea, Muju Resort

2009年11月30～12月4日

MRS Fall Meeting 2009, in Symposium, Boston, USA

### ○雑誌・新聞記事掲載

「色素増感を用いる光キャパシタ素子の開発」

CPC 研究会研究報「炭素材料の研究開発動向」 16-22 頁

2009年4月

「色素増感太陽電池の最新動向」

電子材料第48号、25-29頁

2009年5月

「太陽電池用透明電極の要求特性」

月刊ディスプレイ、2009年5月号、45-50頁

2009年5月

## 大塚 雅人 (おおつか まさと) 准教授

---



出生年 : 1965年

在籍 : 2004年4月～

最終学歴 : 岡山大学医学部

学位 : 医学博士

学位論文 : Otsuka M, Itagane H, Haze K: Clinical significance of improved persistent defect by thallium-201 reinjection imaging in the subacute phase of myocardial infarction. J Cardiol 33; 67-74, 1999

専門分野 : 循環器病学、心血管カテーテルインターベンション、血管内超音波、心臓CT

前職 : 大阪市立総合医療センター循環器内科医長

現職 : 横浜総合病院ハートセンター循環器科部長

留学 : Erasmus Medical Center, Rotterdam (2005.12～2007.3)

資格 : 医師免許, 日本循環器学会認定循環器専門医, 日本内科学会認定内科医, 日本心血管インターベンション学会認定指導医

学会 : 日本循環器学会、日本心臓病学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本冠疾患学会、日本内科学会

受賞・表彰 : 1999年日本冠疾患学会賞

2003年日本心臓病学会 Cardiovascular Imaging Award

## 著書出版

---

「Q&A でやさしく学ぶ心臓 CT」(全 155 頁)

(分担執筆:「心臓 CT における心電図同期とは?」,「心房細動, 期外収縮がありますが, 撮影可能ですか?」 83-87 頁)

(単著) メジカルビュー社

2009 年 4 月 1 日

児玉和久監修「心臓血管画像 MOOK3」(全 140 頁)

(担当執筆:第 4 章 機械まかせにしない心臓 CT の実力をつける「心臓 CT における不整脈対策の基本」 112~116 頁)

(単著) 産業開発機構社

2010 年 3 月 31 日

「循環器臨床サピア 6 心臓血管 CT パーフェクトガイド 撮像から画像の解釈まで」(全 300 頁)

(分担執筆:冠動脈疾患臨床に MDCT をどう使うか 127-136 頁)

(単著) 中山書店

2010 年 3 月 10 日

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「原発性冠動脈解離・血腫による急性心筋梗塞症の一例」

(大塚雅人、土田美恵子、峰聡子、官野高明、竹中創、中村光哉、東田隆治、梅田研)

第 18 回関東甲信越 IVUS 研究会(東京)

2009 年 5 月 9 日

“Accuracy and outcome of coronary stent positioning with intravascular ultrasound marking technique”

(Masato Otsuka, Mitsuchika Nakamura, Sou Takenaka, Takaaki Kannno, Shigetada Sugahara, Ken Umeda)

第 18 回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会(札幌)

2009 年 6 月 26 日

「大動脈弁左冠尖起源の心室性期外収縮に対してアブレーションを行った 1 例」

(竹中創、中村光哉、大塚雅人、梅田研、東田隆治) 第 42 回神奈川不整脈研究会(横浜)

2009 年 9 月 12 日

「NYHA4 度の虚血性心筋症患者に対する CRTD 埋込の 1 例」

(竹中創、中村光哉、大塚雅人、梅田研、東田隆治) 第 213 回日本循環器学会関東甲信越地方会(東京)

2009 年 9 月 26 日

「診断的 CT 冠動脈撮影中止を考慮すべき冠石灰化指数カットオフ値に関する検討」

(大塚雅人、内田吉枝、加藤丈二、岩出和徳、田中直秀、田中佳和子、加賀山智史、竹中創、中村光哉、梅田研)

第 20 回日本心臓血管画像動態学会(東京)

2010 年 1 月 16 日

## 講演会・研修会・セミナー講師

---

「冠動脈イメージング(IVUS/CT)の PCI における有効活用」

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 IVUS 勉強会(横浜)

2009 年 4 月 23 日

「～How to 画像診断～」

第 2 回神奈川ゼミナール(横浜)

2009 年 4 月 25 日

「IVUS Learning Center (Advanced Course)」

第 18 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(札幌)

2009 年 6 月 27 日

「IVUS BASICS (Standard Course)」

第 19 回関東甲信越 IVUS 研究会(東京)

2009 年 7 月 17 日

「冠動脈 CT を用いた冠動脈疾患の診断と治療」

第 3 回銚子・鹿島ハートセミナー(銚子)

2009 年 10 月 29 日

「症例報告」

TERUMO Imaging Conference(東京)

2010 年 2 月 5 日

「狭心症と心筋梗塞」

横浜総合病院 第 50 回生活習慣病教室(横浜)

2010 年 2 月 20 日

**その他**

---

○その他特記事項

「近畿心血管治療ジョイントライブ 2009・座長(レクチャー:心臓 CT を知る)」

2009 年 4 月 17 日

「第 5 回神奈川 IVUS 研究会学術集会・座長(症例検討&特別講演)」

(大塚雅人、本江純子、森野禎浩)

2009 年 9 月 4 日

「第 57 回日本心臓病学会学術集会・座長(DSA・CT・MRI4)」

(大塚雅人、川崎友裕)

2009 年 9 月 18 日

### 三浦康弘 (みうら やすひろ) 准教授

---



- 出生年 : 1962 年  
在籍 : 1996 年 4 月～  
最終学歴 : 東京理科大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程  
学位 : 博士(理学)  
学位論文 : 「Photoelectric properties of Langmuir–Blodgett Films of Chlorophyll-a」(修士論文)  
「Studies on Structure and Properties of Highly Conductive Langmuir–Blodgett Films Based on Metal(dmit)<sub>2</sub>」(博士論文)  
専門分野 : 物理学、分子エレクトロニクス  
前職 : University of Houston, Department of Chemistry,  
Postdoctoral Research Fellow (State Employee of Texas)  
理化学研究所国際フロンティア研究システム・フロンティア研究員  
花王(株)楠木研究所研究員  
留学 : University of Houston(1994～1996)  
学会 : 応用物理学会、応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会、日本化学会、材料技術研究協会、日本 MRS、高圧力学会  
社会的活動 : 材料技術研究協会・編集委員(1997～),  
応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会常任幹事(2003 年 4 月～2005 年 3 月),  
Japanese Journal of Applied Physics 誌 特別編集委員(2004 年 10 月～2006 年 1 月),  
Transaction of Materials Research Society of Japan 誌 特別編集委員(2005～),  
東京大学物性研究所 外来研究員(2001～),  
日本 MRS 学術シンポジウム Session B 代表チェア(2006、2007),  
東京都狛江市水泳協会 監事(2007 年～).  
受賞・表彰 : 東京理科大学理事長賞 (1992)、  
材料技術研究協会討論会ポスター賞 (1998、2002)

#### 論文掲載

---

##### “Kinetics of Thermal Dissociation–Restoration Processes of J-Aggregate”

(Hiroko Moshino, Yuki Koyano, Syuji Mouri, **Yasuhiro F. Miura**, Michio Sugi)

Japanese Journal of Applied Physics, Vol. 48, pp. 051504-1-7

2009 年 5 月 20 日(online version 公開日)

#### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(口頭発表)

「長鎖アルキルアンモニウム–Au(dmit)<sub>2</sub> 塩に基づく LB 膜の構造と電気伝導」

(三浦康弘、井上杏子、星野純一、杉道夫)

第 3 回分子科学討論会 2009 名古屋(名古屋大学東山キャンパス)

2009 年 9 月 21 日

**“Fabrication of Highly Conductive Patterns in Molecular Thin Films”**

(Yasuhiro F. Miura, Kyoko Inoue, Jun-ichi Hoshino, Michio Sugi)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009, Toin University of Yokohama, Yokohama, Japan, October 30, 2009.

**「熱処理を用いるジチオレン系金属錯体に基づく分子薄膜の構造制御」**

(三浦康弘、星野純一、井上杏子、杉道夫)

第9回琉球大学物性研究会(琉球大学)

2009年11月28日

**「交流電解法によるラングミュア・プロジェクト膜内の高導電性パターンの形成」**

(三浦康弘、井上杏子、星野純一、杉道夫)

2009年材料技術研究協会討論会(東京理科大学野田キャンパス)

2009年12月4日

**“Conducting Pattern Fabrication using an AC Electro-oxidation method in Langmuir-Blodgett Films”**

(Yasuhiro F. Miura, Kyoko Inoue, Jun-ichi Hoshino, Michio Sugi, Kazuyuki Matsubayashi, Yoshiya Uwatoko)

第19回日本MRS学術シンポジウム(横浜情報文化センター)

2009年12月8日

**「熱処理を用いるアルキルアンモニウム-Au(dmit)<sub>2</sub> LB膜の構造制御」**

(三浦康弘、星野純一、井上杏子、杉道夫) 第57回応用物理学関係連合講演会(東海大学)

2010年3月19日

(ポスター発表)

**“Fabrication of Conductive Patterns in Au(dmit)<sub>2</sub> Films using an AC Electrochemical Method”**

(Yasuhiro F. Miura, Souichiro Kobayashi, Kyoko Inoue, Jun-ichi Hoshino, Michio Sugi, Kazuyuki Matsubayashi, Yoshiya Uwatoko)

The 8th International Symposium on Crystalline Organic Metals, Superconductors and Ferromagnets (ISCOM2009) Hilton, Niseko Village, Hokkaido, Japan, September 14, 2009.

**“Conducting Pattern Fabrication in Langmuir-Schaefer Films using an AC Electro-oxidation”**

2010 Gordon Research Conference (GRC), Electrochemistry, Ventura, CA, USA, Jan. 10-15, 2010.

**その他**

**○表彰・受賞**

Award of Excellence, Oral Session Award, Toin BME International Symposium 2009 October 31, 2009  
(招待講演者 Native speaker に依頼したピアレビューによる)

**○産学協同研究**

「LB法を用いた有機薄膜トランジスタの創成」

(独)産業技術総合研究所(2009年7月～2010年3月、客員研究員)

**○補助金・助成金等**

東京大学物性研究所 共同利用研究

「導電性ラングミュア・プロジェクト膜の高圧下の電氣的性質」(研究代表者)

2009年4月～2009年9月 前期

東京大学物性研究所 共同利用研究  
「導電性ラングミュア・プロジェクト膜の高圧下の電気的性質」(研究代表者)  
2009年10月～2010年3月 後期

私立大学学術研究高度化推進事業(社会連携推進事業)  
「低環境負荷・自己組織化プロセスで創製する機能性有機薄膜デバイス」(研究代表者)  
2007年4月～2010年3月

### ○海外出張

2010年1月10日～15日  
2010 Gordon Research Conference (GRC), Electrochemistry, Four Points by Sheraton Ventura Harbor, CA, USA

### ○その他特記事項

第19回日本MRS学術シンポジウム  
Session N 「分子性薄膜の作製・評価・応用—高度な配向制御、配向解析、および機能発現を目指して—」セッションチェア(横浜市開港記念会館)  
2009年12月7日～9日

第57回応用物理学関係連合講演会  
12.1(有機分子・バイオエレクトロニクス、作製技術)、座長(東海大学)  
2010年3月18日

## 池上 和志 (いけがみ まさし) 講師

---



出生年 : 1973年  
在籍 : 2006年4月～  
最終学歴 : 筑波大学大学院化学研究科化学専攻修了  
学位 : 博士(理学)  
学位論文 : Photochemical Reactions of Intra- and Intermolecularly Hydrogen Bonded Compounds (分子内及び分子間水素結合系の光化学反応に関する研究)  
専門分野 : 光化学、光電気化学  
前職 : ペクセル・テクノロジーズ(株) 研究開発部博士研究員  
非常勤講師 : 筑波大学大学院数理物質科学研究科  
学会 : 日本化学会、光化学協会、日本光医学・光生物学会、電気化学会、アメリカ電気化学会

### 論文掲載

---

“Highly porous PProDOT-Et<sub>2</sub> film as counter electrode for plastic dye-sensitized solar cells”  
(Kun-Mu Lee, Chih-Yu Hsu, Po-Yen Chen, **Masashi Ikegami**, **Tsutomu Miyasaka**, Kuo-Chuan Ho)  
*Phys. Chem. Chem. Phys.*, **18**, 3375-3379(2009).  
2009年

“Efficient and stable plastic dye-sensitized solar cells based on a high light-harvesting ruthenium sensitizer”

(K. M. Lee, S. J. Wu, C. Y. Chen, C. G. Wu, **M. Ikegami**, K. Miyoshi, **T. Miyasaka**, K. C. Ho)

*J. Mater. Chem.*, **19**, 5009–5015 (2009).

2009年

“Improvement in durability of flexible plastic dye-sensitized solar cell modules”

(**M. Ikegami**, J. Suzuki, K. Teshima, M. Kawaraya, and **T. Miyasaka**)

*Solar Ener. Mater. Solar Cells*, **93**, 836–839(2009)

2009年

## 総説・論説

---

「色素増感光電変換の先進技術と実用化動向」

(宮坂力、池上和志) 光化学, 40(2), 94–100 頁

2009年

「新コンセプト太陽電池と製造プロセス」

(共著: 宮坂力(監修)、手島健次郎、池上和志)

シーエムシー出版、98–107 頁(第3章 4 プリントابل、プラスチック色素増感太陽電池)

2009年

「新コンセプト太陽電池と製造プロセス」

(単著・宮坂力監修)

シーエムシー出版 155–159 頁(第3章 9 プリントابل太陽電池の開発動向)

2009年

「新コンセプト太陽電池と製造プロセス」

(単著・宮坂力監修)

シーエムシー出版、228–235 頁(第4章 7 各種光源の分光放射スペクトル)

2009年

「高機能デバイス封止技術と最先端材料」

(単著・高橋昭雄監修)

シーエムシー出版、207–214 頁(第4章 4 色素増感太陽電池用の封止材料と技術)

2009年

「印刷最適化／高品質化のための<最新>スクリーン印刷 利用技術～トラブル対策から応用事例まで」

(単著) 情報機構 406–410 頁(第9章第7節 色素増感太陽電池)

2009年

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「色素増感太陽電池の照射光強度特性－無機系太陽電池との比較」

(三好幸三、池上和志、宮坂力)

電気化学会 2009年秋季大会、(東京農工大学工学部)

2009年9月10日～11日

「有機色素増感プラスチック太陽電池の低温成膜バッファ層による高効率化」  
(森田紗織、池上和志、宮坂力) 電気化学会 2009 年秋季大会、(東京農工大学工学部)  
2009 年 9 月 10 日～11 日

「色素増感プラスチック電極における色素共吸着の特性」  
(Kun-Mu Lee、Kuo-Chuan Ho、池上和志、宮坂力)  
電気化学会 2009 年秋季大会、(東京農工大学工学部)  
2009 年 9 月 10 日～11 日

「電解重合 PEDOT とカーボンを触媒に用いる色素増感太陽電池用対極の検討」  
(奥村拓郎、池上和志、宮坂力)  
電気化学会 2009 年秋季大会、(東京農工大学工学部)  
2009 年 9 月 10 日～11 日

“Organo-metal quantum dot sensitizers for mesoscopic TiO<sub>2</sub> solar cell.”  
(T. Miyasaka and M. Ikegami)  
MRS Fall Meeting 2009, in Symposium, Boston, USA : Advanced Nanostructured Solar Cells,  
Co-organised with Dr. A. Frank  
2009 年 11 月 30～12 月 4 日

「塗布プロセスによる有機・無機ハイブリッド太陽電池の開発」  
(宮坂力、池上和志)  
日本化学会第 90 春季年会(近畿大学)  
2010 年 3 月 26 日～29 日

「新規吸着基を持つカルバゾール系有機色素の開発と光電変換特性」  
(甲村長利、原浩二郎、ZhangXue-Hua、古部昭広、加藤隆二、池上和志)  
日本化学会第 90 春季年会(富山大学五福キャンパス)  
2010 年 3 月 29 日～30 日

「新規吸着基を持つカルバゾール系有機色素を用いたプラスチック色素増感太陽電池の光電変換特性」  
(森田紗織、河野正教、池上和志、手島健次郎、甲村長利、原浩二郎、張雪華、宮坂力)  
日本化学会第 90 春季年会(富山大学五福キャンパス)  
2010 年 3 月 29 日～30 日

「プラスチック色素増感太陽電池における酸化チタンバッファ層の効果」  
(三好幸三、池上和志、宮坂力)  
日本化学会第 90 春季年会(富山大学五福キャンパス)  
2010 年 3 月 29 日～30 日

「ポリビニルアルコールとイオン液体を含む高粘性電解質を用いた色素増感太陽電池の光電変換特性」  
(田村壮礼、池上和志、宮坂力)  
日本化学会第 90 春季年会(富山大学五福キャンパス)  
2010 年 3 月 29 日～30 日



「色素増感半導体を用いる可視光照射下の活性酸素種生成の検討」

(副田知宏、池上和志、宮坂力)

日本化学会第90春季年会(富山大学五福キャンパス)

2010年3月29日～30日

「導電性高分子及び金属酸化物を使用したレドックス光キャパシタの放電特性」

(仲村浩貴、池上和志、手島健次郎、宮坂力)

日本化学会第90春季年会(富山大学五福キャンパス)

2010年3月29日～30日

「光キャパシタの充電容量に及ぼす光発電層の効果の検討」

(山本慶太、手島健次郎、池上和志、宮坂力)

日本化学会第90春季年会(富山大学五福キャンパス)

2010年3月29日～30日

**講演会・研修会・セミナー講師**

---

「「光」と「物質」の関わり」

サイエンスリテラシー、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校

2009年4月10日、14日、17日

「わかりやすく解説:色素増感太陽電池」

太陽電池入門セミナー、プレスジャーナル主催

2009年4月27日

「フレキシブル色素増感太陽電池の封止技術 耐久性向上とモジュール化」

太陽電池フィルム材料の最新技術 情報機構主催(きゅりあん)

2009年9月8日

「色素増感太陽電池の開発動向」

第82回VLSIフォーラム 徹底検証 太陽電池の最前線に迫る

プレスジャーナル主催(学士会館)

2009年10月8日

「色素太陽電池の評価」

2009 電気化学セミナー3 初心者のための電気化学ワークショップー実験を伴う電気化学基礎測定法ー  
電気化学会主催(芝浦工業大学)

2009年8月10日～11日

「フレキシブル色素増感型太陽電池の最新動向」

東京地区合同講演会「太陽電池の最新技術と課題」

(社)近畿化学協会主催(日本化学会館)

2009年11月18日

「プラスチック色素増感太陽電池の開発」

第79回ニューフロンティア材料部会例会

大阪工研協会主催(KKRホテル大阪)

2009年11月19日

「透明導電性プラスチックを基板とする色素増感太陽電池の開発の現状と課題」

太陽電池用透明導電膜の要求特性と最新動向  
サイエンス&テクノロジー主催(東京流通センター)  
2009年12月10日

「色素増感太陽電池の開発の現状と大学研究室におけるスクリーン印刷機の利用」

太陽電池製造に向けたスクリーン印刷技術  
情報機構主催(きゅりあん)  
2009年12月11日

「フレキシブル基板の Roll to Roll 印刷可能な色素増感型太陽電池モジュールの実用化に向けた課題」

インターネットコンジャパン2010専門技術セミナー 太陽光発電システムの実装技術  
工業調査会主催(東京ビッグサイト)  
2010年1月22日

**その他**

---

**○補助金・助成金等**

科学研究費 若手B  
「非ヨウ素系電解液を用いた色素増感光電変換素子の構築と電荷移動機構の解析」  
2009年度～2011年度

**○海外出張**

2009年11月30～12月4日  
MRS Fall Meeting 2009, in Symposium, Boston, USA

## 法科大学院 (Law School)

### 大喜多 啓 光 (おおぎた ひろみつ) 客員教授

---



出生年 : 1942 年  
在籍 : 2010 年 4 月～  
最終学歴 : 大阪市立大学法学部  
専門分野 : 民事訴訟法、民法、行政法  
前職 : 内閣府情報公開・個人情報保護審査会会長  
留学 : 1978.9-1979.2 行政官短期在外研究員(西ドイツ)  
学会 : 民事訴訟法学会

### 梶 村 太 市 (かじむら たいち) 客員教授

---



出生年 : 1941 年  
在籍 : 2010 年 4 月～  
最終学歴 : 愛知大学第二法経学部  
前職 : 早稲田大学法科大学院  
現職 : 弁護士  
学会 : 仲裁ADR法学会(監事)、民訴学会、私法学会、アクセス法学会、ジェンダー法学会、日本家族(社会と法)学会、日本公証法学会、日韓家族法学会、臨床法学研究法学会

### 井 口 寛 二 (いぐち かんじ) 教授

---



出生年 : 1945 年  
在籍 : 2005 年 4 月～  
最終学歴 : 東京教育大学  
専門分野 : 労働法  
現職 : 弁護士

## 江口 眞樹子（えぐち まきこ）教授

---



出生年 : 1958 年  
在籍 : 2007 年 4 月～  
最終学歴 : 神戸大学大学院法学研究科博士後期課程  
学位 : 法学修士  
学位論文 : 企業の社会的責任について—フランス法における société と association に関する法の歴史的変遷を通じて  
専門分野 : 商法、金融商品取引法  
前職 : 平成国際大学法学部助教授  
留学 : ドイツ連邦共和国ミュンヘン大学法学部 (1987～1989)  
学会 : 日本私法学会、日本経済法学会  
社会的活動 : 加須地区消防組合情報公開・個人情報保護運営審議会会長

## 大澤 恒夫（おおさわ つねお）教授

---



出生年 : 1954 年  
在籍 : 2005 年 4 月～  
最終学歴 : 中央大学大学院法学研究科民事法専攻博士後期課程修了  
学位 : 法学博士  
学位論文 : 「弁護士業務における対話の理念と技法—法と対話の専門家をめざして」  
専門分野 : 法的対話論、司法アクセス論、弁護士論、ADR 論、(弁護士としての主要業務)IT 分野における知的財産法、競争法、企業再建  
現職 : 弁護士(1981 年～現在)  
学会 : 日本民事訴訟法学会、日本法社会学会、法とコンピュータ学会(理事)、仲裁 ADR 法学会、司法アクセス学会(理事)  
社会的活動 : 財団法人ソフトウェア情報センター(SOFTIC)評議員、ソフトウェア紛争解決センター運営委員、「司法制度改革と先端テクノロジー」研究会委員、日本仲裁人協会会員、大阪大学大学院客員教授(ネゴシエーション講座)、インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティション審査員、日弁連業務改革委員会幹事

### 論文掲載

---

「人と法を結ぶもの—弁護士の不在と非専門リソース」

(単著) 法社会学 70 号

2009 年

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(講演)「ソフトウェア紛争とその解決プロセス—ADR という視点」

財団法人ソフトウェア情報センター「ソフトウェア ADR セミナー」(経産省委託事業)

2010 年 3 月

## 講演会・研修会・セミナー講師

---

「知的財産と独禁法」

財団法人ソフトウェア情報センター『ソフトウェア知財入門講座』

2010年2月

## 大藤 敏（おおとう さとし）教授

---



出生年 : 1940年  
在籍 : 2005年4月～  
最終学歴 : 中央大学法学部法律学科  
専門分野 : 民事法、行政法  
前職 : 千葉地方裁判所所長、東京高等裁判所民事部総括判事  
現職 : 弁護士  
社会的活動 : 医道審議会委員(医道分科会委員及び保健師助産師分科会委員(厚生労働省))、財団法人交通事故紛争処理センター本部審査員、平成19年、平成20年新司法試験審査委員(行政法)

## 著書出版

---

(2005年度 未掲載分 1件)

「新版 裁判住民訴訟法」

(共著:大藤敏 他) 三協法規出版、476頁

2005年6月

## 講演会・研修会・セミナー講師

---

(2005年度 未掲載分 1件)

(講演)「訟務検事の職務について」

法務省

2005年5月

## 岡田 泰亮（おかだ やすあき）教授

---



出生年 : 1945年  
在籍 : 2004年4月～  
最終学歴 : 早稲田大学法学部  
現職 : 弁護士

## 小川 浩三 (おがわ こうぞう) 教授

---



出生年 : 1953 年  
在籍 : 2002 年 4 月～  
最終学歴 : 東京大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学  
学位 : 法学修士(東京大学)  
学位論文 : 普通法における causa 論の一考察(修士論文)  
専門分野 : 法史学、比較法  
前職 : 北海道大学大学院法学研究科教授  
留学 : ドイツ連邦共和国チュービンゲン大学  
法学部国際的私法史研究所(1993.3～1994. 8)  
非常勤講師 : 名古屋大学法学部(ドイツ法)  
学会 : 比較法学会(理事)、日独法学会(理事長)、法制史学会  
社会的活動 : 最高裁判所図書館委員会委員

### 論文掲載

---

「ローマ法学に鍛えられて -中世教会法学の bona fides について-」

(単著) 桐蔭法学 第 16 巻第 1 号 1-37 頁

2009 年 9 月 25 日

### 総説・論説

---

クヌート＝ヴォルフガング・ネル

「19、20 世紀のドイツ株式会社法発展の諸段階」

(単訳) 桐蔭法学 第 16 巻第 1 号 61-83 頁

2009 年 9 月

ラインハルト・ツィーマーマン

「ローマ法とヨーロッパ文化」

(単訳) 法律時報 2009 年 10 月号 88-97 頁、11 月号 70-79 頁

2009 年 10 月 1 日、2009 年 11 月 1 日

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「ドイツ債務法改革の 7 年」企画および「時効法」の報告」

第 72 回比較法学会ミニ・シンポジウム(神奈川大学)

2009 年 6 月 6 日

## 蒲 俊 郎 (かば としろう) 教授

---



出 生 年 : 1960 年  
在 籍 : 2005 年 4 月～  
最 終 学 歴 : 慶應義塾大学法学部法律学科  
専 門 分 野 : 電子商取引 (E C)、労働法  
前 職 : 桐蔭横浜大学法学部客員教授  
現 職 : 弁護士  
学 会 : 日本私法学会、情報ネットワーク法学会、経営法曹会議、  
民事訴訟法学会、司法アクセス学会、日本法律家協会会員

### 著書出版

---

「第三世代ネットビジネス～成功する法務・技術・マーケティング」

(共著:蒲俊郎 ほか) 文芸社

2010 年 3 月 13 日

「第三世代ネットビジネス～新たな潮流に対応できる法務・マーケティング」

(共著:蒲俊郎 ほか) 文芸社

2010 年 3 月 13 日

### 論文掲載

---

「企業ポイントの概念整理及びポイントプログラム内容の不利益変更の有効性について」

(単著) 信山社 217 頁～240 頁

2010 年 3 月 13 日

## 小 林 幸 夫 (こばやし ゆきお) 教授

---



出 生 年 : 1954 年  
在 籍 : 2005 年 4 月～  
最 終 学 歴 : 中央大学法学部法律学科卒業  
専 門 分 野 : 知的財産権訴訟 (特に特許侵害訴訟)  
現 職 : 弁理士 (1979 年登録)、弁護士 (1995 年登録)

## 清水 宏 (しみず ひろし) 教授

---



出生年 : 1969 年  
在籍 : 1999 年 4 月～  
最終学歴 : 中央大学大学院法学研究科博士後期課程  
学位 : 法学修士  
学位論文 : 懲罰的損害賠償を命じる外国判決および外国仲裁裁判の承認・執行  
専門分野 : 民事手続法  
学会 : 日本民事訴訟法学会、日本交渉学会、ADR・仲裁法学会

## 鈴木 純 (すずき じゅん) 教授

---



出生年 : 1949 年  
在籍 : 2005 年 4 月～  
最終学歴 : 東京大学法学部  
専門分野 : 一般民事事件  
現職 : 弁護士  
社会的活動 : 元 東京家庭裁判所調停委員 ('98.4～'02.3)  
元 東京地方裁判所調停委員 ('02.4～'06.3)  
元 第二東京弁護士会副会長 ('06.4～'07.3)  
現 東京地方裁判所鑑定委員 ('02.1～)

## 鈴木 満 (すずき みつる) 教授

---



出生年 : 1942 年  
在籍 : 1996 年 4 月～  
最終学歴 : 岐阜大学農学部  
学位 : 経済法  
前職 : 公正取引委員会首席審判官  
現職 : 弁護士(横浜弁護士会)  
学会 : 日本経済法学会、日本流通学会、法と経済学会  
社会的活動 : 立川市入札等監視委員会委員長  
農水省・植物防疫所入札監視委員会委員長  
農水省・動物防疫所入札監視委員会委員長  
防衛省関東防衛局入札監視委員会委員長  
独立行政法人水産総合研究所入札監視委員会委員長



## 著書出版

---

「経済法-判審決の争点整理-第2版」

(共著:鈴木満、鈴木深雪) 奨学社

2009年7月

「新下請法マニュアル改訂版」

(単著) 商事法務

2009年12月

## 論文掲載

---

一問一答下請法・下請取引(1)「法律家からみた問題点の整理と実務の勘所」

(単著) NBL908号、16-21頁

2009年7月

「平成21年独禁法改正の概要と課題」

(単著) 横浜弁護士会専門実務研究第4号、168-178頁

2010年3月

## その他

---

### ○海外出張

中国河南省鄭州市河南財經学院法学院で講演

2010年3月

## 中島 肇 (なかじま はじめ) 教授

---



出生年 : 1955年

在籍 : 2007年4月～

最終学歴 : 東京大学法学部

専門分野 : 倒産法、企業法、民事法

前職 : 東京高等裁判所判事

社会的活動 : 司法試験審査委員(商法)

## 著書出版

---

(2008年度 未掲載分 2件)

「公立保育園廃止をめぐる事件」

(単著) イマジン出版 ビーコンオーソリティ(実践自治)Vol. 36

2008年12月25日

「社会保障法の理論に見る司法と立法」

(単著) イマジン出版 ビーコンオーソリティ(実践自治)Vol. 37

2009年3月25日

「民事再生手続におけるリース契約の処遇」

(単著) NBL907

2009年6月15日

「自治体の違法な公金支出と議会による賠償請求権の放棄」

(単著) イマジン出版 ビーコンオーソリティー(実践自治)Vol. 40

2009年12月25日

---

**行方美彦 (なめかた よしひこ) 教授**

---



出生年 : 1953年

在籍 : 2010年4月～

最終学歴 : 中央大学法学部

前職 : いちよう坂法律事務所

現職 : 弁護士

社会的活動 : 東京簡易裁判所民事調停委員、(財)全国中小企業取引振興協会下請適正取引推進センター調停人候補者、災害復興まちづくり支援機構代表委員

---

**西本靖宏 (にしもと やすひろ) 教授**

---



出生年 : 1968年

在籍 : 2003年4月～

最終学歴 : 明治学院大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学

学位 : 法学修士

Master of Legal Institutions (University of Wisconsin)

学位論文 : 会社合併の法的構造と課税理論

専門分野 : 租税法、行政法

前職 : 大分大学経済学部 助教授

留学 : University of Wisconsin Law School (97～99年)

学会 : 租税法学会、公法学会

---

**総説・論説**

---

「相続開始後に生じた過納金還付請求権の相続財産性(上野事件)」

(単著) 税研 148号 151-153頁

2009年11月

---

**学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演**

---

(口頭発表)

「神戸地裁平成19年11月20日判決」

第665回租税判例研究会(法務省)

2009年9月

## 講演会・研修会・セミナー講師

---

(講師)

「固定資産税の情報開示制度と守秘義務」 専門実務研修課程「固定資産課税事務(土地)」(全1回)

財団法人全国市町村研修財団市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)

2009年6月

## 早坂 禧子 (はやさか とみこ) 教授

---



出生年 : 1944年  
在籍 : 1998年4月～  
最終学歴 : 東北大学大学院法学研究科修士課程  
学位 : 法学修士  
専門分野 : 行政法  
前職 : 東京大学法学部助手  
学会 : 日本公法学会、国際憲法学会、日米法学会  
社会的活動 : 会計検査院情報公開審査会委員、神奈川県医療審議会委員、神奈川県国民健康保険審査会会長、横浜市情報公開・個人情報保護審査会委員、中央区情報公開審査会々長

## 著書出版

---

「ケースブック行政法(第三版)」

(共著: 早坂禧子、芝池義一、高木光 編) 弘文堂

2010年3月

## 論文掲載

---

(2008年度 未掲載分 1件)

「公共工事の裁判的救済覚え書」

(単著) 桐蔭法科大学院紀要第3号、123-146頁

2009年3月

## 廣江 健司 (ひろえ けんし) 教授

---



出生年 : 1948年  
在籍 : 1993年4月～  
最終学歴 : 早稲田大学大学院法学研究科修士課程  
学位 : 法学修士  
学位論文 : 植物新品種の国際的保護  
前職 : 東京大学助手、九州国際大学法経学部助教授  
資格 : 弁護士  
学会 : 国際私法学会、国際法学会  
社会的活動 : 第一東京弁護士会会員

## 古野豊秋（ふるの とよあき）教授

---



出生年 : 1943 年  
在籍 : 1993 年 4 月～  
最終学歴 : 中央大学大学院法学研究科修士課程  
学位 : 法学博士  
学位論文 : 違憲の憲法解釈  
専門分野 : 憲法学  
資格 : 弁護士(第二東京弁護士会)  
学会 : 日本公法学会、日独法学会、ドイツ国家学研究会(DAS研)、憲法裁判研究会、ドイツ憲法判例研究会、東京法哲学研究会

## 宮島里史（みやじま さとし）教授

---



出生年 : 1951 年  
在籍 : 1994 年 4 月～  
最終学歴 : 中央大学大学院博士後期課程  
学位 : 法学修士(中央大学)  
Master of Laws (Northwestern Univ. School of Law)  
学位論文 : 弁護権の意味と機能(中央大学)、  
Waiver of the Sixth Amendment Right to Counsel at the Pretrial Stages (Northwestern Univ. School of Law)  
専門分野 : 憲法、刑事訴訟法、少年法  
留学 : Northwestern Univ. School of Law (U.S.A)  
学会 : 日本刑法学会、日米法学会  
社会的活動 : 第二東京弁護士会懲戒委員会委員

## 森保憲（もり やすのり）教授

---



出生年 : 1961 年  
在籍 : 2003 年 4 月～  
最終学歴 : 中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学  
学位 : 法学修士  
学位論文 : フランス第 5 共和制における「違憲審査制」  
専門分野 : 憲法  
前職 : 青森中央学院大学経営法学部専任講師  
留学 : ドイツ チュービンゲン大学(2008 年 9 月～2009 年 3 月)  
学会 : 日本公法学会、全国憲法研究会、法文化学会など

## 吉田 宣之 (よしだ のぶゆき) 教授

---



出生年 : 1945 年  
在籍 : 1993 年 4 月～  
最終学歴 : 中央大学大学院法学研究科刑事法専攻博士課程修了  
学位 : 法学博士  
学位論文 : 違法性の本質と行為無価値  
専門分野 : 刑法  
前職 : 桐蔭横浜大学法学部法学研究科教授  
留学 : ルードウィッヒ・マクシミリアン大学法学部刑事法研究所、レーゲンスブルク大学法学部刑事法研究室、ヴェリッブルク大学ヒルゲンドルフ研究室  
資格 : 弁護士  
非常勤講師 : 財務省税関研修所講師  
学会 : 日本刑法学会、日本生命倫理学会、東京大学刑事判例研究会、中央大学刑事判例研究会  
社会的活動 : 神奈川県学生柔道連盟会長、自由民主党かながわ政治大学校校長、財務省東京税関審査委員、(財) 大学基準協会委員

### 論文掲載

---

クラウス・ロクシン 著

『刑法総論』第一卷(第三版)[十]の一」

(共訳: 吉田宣之・四條北斗) 桐蔭法学 第 16 卷第 1 号 85-119 頁

2009 年 9 月 25 日

クラウス・ロクシン 著

『刑法総論』第一卷(第三版)[十]の二(完)」

(共訳: 吉田宣之・四條北斗) 桐蔭法学 第 16 卷第 2 号 69-110 頁

2010 年 3 月

クラウス・ロクシン 著

『刑法総論』第一卷(第三版)[十一]

(共訳: 吉田宣之・秋山栄一) 桐蔭法学 第 16 卷第 2 号 111-154 頁

2010 年 3 月

## 菅 谷 貴 子 (すがや たかこ) 准教授

---



出 生 年 : 1972 年  
在 籍 : 2010 年 4 月～  
最 終 学 歴 : 慶應義塾大学法学部法律学科  
専 門 分 野 : 刑事法、労働法、会社商事関係全般 等  
現 職 : 弁護士(第二東京弁護士会)  
学 会 : 日本民事訴訟法学会 司法アクセス学会、財団法人日本法律家協会  
社会的活動 : 財団法人楠田育英会(常務理事)、東京大学セクハラ防止委員会(外部委員)

## 千 葉 理 (ちば おさむ) 准教授

---



出 生 年 : 1963 年  
在 籍 : 2010 年 4 月～  
最 終 学 歴 : 東京大学法学部  
専 門 分 野 : 会社法  
現 職 : 弁護士(第二東京弁護士会)・曙綜合法律事務所  
社会的活動 : 第二東京弁護士会常議員、日本弁護士連合会代議員、第二東京弁護士会民事介入暴力被害者救済センター運営委員会委員

## 弓 削 田 博 (ゆげた ひろし) 准教授

---



出 生 年 : 1974 年  
在 籍 : 2010 年 4 月～  
最 終 学 歴 : 明治大学法学部  
前 職 : 小林綜合法律特許事務所  
現 職 : 弁護士(第二東京弁護士会)、弁理士  
学 会 : 日本工業所有権法学会  
社会的活動 : 第二東京弁護士会民事介入暴力被害者救済センター運営委員会監事、日本弁護士連合会代議員会議員

## 嶋村 哲（しまむら さとし）助手

---



出生年 : 1975 年  
在籍 : 2010 年 1 月～  
最終学歴 : 桐蔭横浜大学大学院 法務研究科  
学位 : 法務博士(専門職)  
前職 : 司法修習生  
現職 : 弁護士

## 先端医用工学センター (Biomedical Engineering Center)

### 奥井理予 (おくい みちよ) 講師

---



出生年 : 1972 年  
在籍 : 2005 年 4 月～  
最終学歴 : 広島大学大学院医学系研究科博士課程後期修了  
学位 : 博士(薬学)  
学位論文 : ダウン症関連領域からクローニングされたMNB遺伝子の発現解析  
専門分野 : 分子生物学、細胞生物学  
前職 : 慶応義塾大学医学部助手  
留学 : St. Jude Children's Research Hospital (2008.11～2010.9)  
資格 : 薬剤師免許  
学会 : 日本分子生物学会、日本薬学会、日本癌学会、アメリカ癌学会

### 論文掲載

---

“Correlation between morphology and EGFR mutations in lung adenocarcinomas Significance of the micropapillary pattern and the hobnail cell type”

(Ninomiya H, Hiramatsu M, Inamura K, Nomura K, **Okui M**, Miyoshi T, Okumura S, Satoh Y, Nakagawa K, Nishio M, Horai T, Miyata S, Tsuchiya E, Fukayama M, Ishikawa Y.)  
Lung Cancer 63(2), pp.235-240, 2009

### その他

---

#### ○海外出張

American Association for Cancer Research 100th Annual Meeting 2009  
April 18-22, 2009 Colorado, Denver, USA

### 吉田 薫 (よしだ かおる) 講師

---



出生年 : 1970 年  
在籍 : 2004 年 6 月～  
最終学歴 : 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻博士課程修了  
学位 : 博士(理学)  
学位論文 : ニシン精子活性化タンパク質による精子活性化機構の生理生化学的研究  
専門分野 : 細胞生理生化学、生殖生物学  
前職 : 科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業「内分泌かく乱物質」岩本チーム研究員  
学会 : 日本動物学会、日本分子生物学会、日本生殖医学会、日本ヒトプロテオーム機構



## 論文掲載

---

“Functional implications of membrane modification with semenogelins for inhibition of sperm motility in humans.”

(Yoshida K, Krasznai ZT, Krasznai Z, Yoshiike M, Kawano N, Yoshida M, Morisawa M, Tóth Z, Bazsáné ZK, Márián T, Iwamoto T.)

Cell Motil Cytoskeleton 66(2), 99-108, 2009

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

(研究会口頭発表)

「カタユレイボヤ精子誘引物質 SAAF の精子受容体同定の試み」

(吉田薫、稲葉一男、吉田学)

第 5 回鞭毛ダイニン研究会、東京大学理学部 2 号館大講堂

2010 年 3 月 23 日

「精囊分泌タンパク質 SVS による精子受精能抑制機構」

(荒木直也、河野菜摘子、宮戸健二、吉田薫、吉田学)

第 5 回鞭毛ダイニン研究会、東京大学理学部 2 号館大講堂

2010 年 3 月 23 日

(シンポジウムでのシンポジスト)

「ヒト精囊分泌タンパク質 SEMG1&2 による精子受精能獲得過程の制御」

(社)日本動物学会第 80 回大会・第 8 回受精シンポジウム(静岡グランシップ)

2009 年 9 月 18 日

(ポスター発表)

「マウス精子受精能獲得における精囊線タンパク質 SVS の機能解析」

(荒木直也、吉田学、吉田薫)

(社)日本動物学会第 80 回大会(静岡グランシップ)

2009 年 9 月 17 日

“Proteome Analysis of Tissues from Ascorbic Acid-deficient Rats”

(Takashi YAMAGUCHI, Kaoru YOSHIDA, Hiromi HAGWARA)

TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2009

2009 年 10 月 30 日

「アスコルビン酸により発現調節されているタンパク質の同定」

(山口貴史、吉田薫、萩原啓実)

第 32 回日本分子生物学会年会(パシフィコ横浜)

2009 年 12 月 9 日

「AR コリプレッサー TZF のマウス精巣での局在」

(佐古典久、佐々木克稔、鎌倉将、山崎加奈子、吉田薫、萩原啓実)

第 32 回日本分子生物学会年会(パシフィコ横浜)

2009 年 12 月 9 日

**「金コロイド粒子のマウス体内動態」**

(波田野賢一、萩原啓太郎、村田雄輔、**吉田薫**、萩原啓実)

第 32 回日本分子生物学会年会 (パシフィコ横浜)

2009 年 12 月 12 日

**その他**

---

**○特許申請等**

**「セミノジェリンの精子運動抑制因子 (SPMI) 部分を認識するモノクローナル抗体、及び、これを用いる検出方法」**

(佐藤至、吉池美紀、**吉田薫**、岩本晃明、向井敏二、児島浩一郎、山崎肇史、高野昇一)

特許 4327436 聖マリアンナ医科大学、学校法人桐蔭学園 登録日 2009-06-19

**○補助金・助成金等**

科学研究費補助金・若手研究(B)

**「精囊分泌タンパク質による膜ラフトを介した精子機能制御機構の解明」**

研究代表者 平成 19-21 年度

科学研究費補助金・基盤研究(B)

**「受精時における精子受精能制御機構の解明」**

研究分担者 平成 21-23 年度

科学研究費補助金・基盤研究(C)

**「精囊蛋白をマーカーとした精子の質を判定する検査法の確立」**

研究分担者 平成 20-22 年度

## 2009年度 退職教員

(法学部・法律学科)

### 石山 宏一 (いしやま こういち) 教授

---



- 出生年 : 1947年  
在籍 : 1999年4月～2010年3月  
最終学歴 : 米国タフツ大学フレッチャー法律外交大学院修士課程  
学位 : 国際学修士  
学位論文 : The Shinmi Mission: Japan's "First" Encounter With The United States  
専門分野 : ビジネス英語、時事英語、ジャーナリズム論  
前職 : 駒沢女子短期大学英語英文科助教授、ビジネスタイムズ(シンガポール)記者、ザ・ストレーツタイムズ(シンガポール)記者日本経済新聞記者、ザ・タイムズ(ロンドン)記者、AP通信(ニューヨーク)記者、(株)サイマル・インターナショナル会議通訳者  
留学 : 米国ミドルベリー大グルー基金生(1965～1969)  
同タフツ大フレッチャースクール(1969～1970)  
資格 : 通訳案内業(英語)免許(国家資格)  
非常勤講師 : 大妻女子大学文学部コミュニケーション文化学科  
学会 : 日本時事英語学会(2000～2003年度理事(関東支部長))  
社会的活動 : (社)日本外国特派員協会(外人記者クラブ)図書委員、母校ミドルベリー大学(米国)同窓会東京支部顧問  
受賞・表彰 : 「現代用語を英語にする」(単著、ジャパントイムズ 1991)が東京・八重洲ブックセンター(本店)の語学部門ベストセラーリスト(同年10月第3,4週)で第8,9位を占める。米国ミドルベリー大学教養学部政治学科より High Honors(上席優秀賞)受賞(1969)。「ポケットプログレッシブ[ポケプロ]英和・和英辞典」(共編著、小学館)が初版('95年)から第2版('01)、第3版('08)を経て'09年3月末までの約15年間での推定実売部数が150万部を突破し(小学館外国語辞書編集部調べ)、新規市場参入本としては異例のミリオンセラーとなった。また、'02年2月実施された東大前期日程英語入試問題の一部が'01年担当の桐蔭高校3年生向け特別講義(「難関校リスニング対策」と「難関校自由英作文対策」)内容と酷似、ほぼ的中し現役合格した同校3年生から熱烈感謝され、学校説明会で(Bhonorable mention(名誉ある言及)を受ける。07年5月発売の新刊書「トレンド日米表現辞典第4版」(編集主幹担当)がオンライン最大書店アマゾン(日本)の「和書・和英辞典」部門の「売れている順」で10月24日初めて第1位(753冊中)を占め、和英辞典ランキングの頂点に立った。また、上記の「ポケプロ辞典」第3版が三省堂書店神保町本店の一般書部門「週間ベストセラー」ランキング(09年3月29日調べ)で1位を占める。猶、'76年から続けているライフワークの日英新語研究で、冠コラム[「石山宏一の新語ウォッチング」(小学館)]は形を変えて10年継続しており、業界トップの評価を得ている[同社調べ]。

## 論文掲載

---

### 「新しいマクロ経済英語入門教科書試案その6」

(単著) 桐蔭横浜大学編『桐蔭論叢』第20号 5-14頁

2009年7月10日

### 「新しいマクロ経済英語入門教科書試案その7」

(単著) 桐蔭横浜大学編『桐蔭論叢』第21号 35-43頁

2009年12月15日

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

### 「銀行・会計英語最前線: investment bank から bad bank まで」

日本時事英語学会第85回新語・語法研究分科会(中央区京橋区民館)

2009年5月9日

### 「新語解剖シリーズ(53) - 『smart grid』から『白ロム』まで」

日本時事英語学会第85回新語・語法研究分科会(中央区京橋区民館)

2009年5月9日

### 「新語解剖シリーズ(54) - 『Carrotmob』から『リカツ』まで」

日本時事英語学会第86回新語研究分科会(中央区立明石区民会館)

2009年7月11日

### 「新語解剖シリーズ(55) - 『putpockets』から『生物農薬』まで」

日本時事英語学会第51回年次大会新語・語法研究分科会(大阪府立大学中百舌鳥キャンパス)

2009年10月4日

### 「経営英語最前線: 内部統制からコアコンピタンスまで」

日本時事英語学会第88回新語・語法研究分科会(中央区立明石町区民館)

2009年11月21日

### 「新語解剖シリーズ(56) - 『patent troll』から『直葬』まで」

日本時事英語学会第88回新語・語法研究分科会(中央区立明石町区民館)

2009年11月21日

### 「産業英語最前線: 第一次産業から情報家電まで」

日本時事英語学会第90回新語・語法研究分科会(青山学院大学)

2010年3月13日

### 「新語解剖シリーズ(57) - 『sexting』から『撮り鉄』まで」

日本時事英語学会第90回新語・語法研究分科会(青山学院大学)

2010年3月13日

## その他

---

### ○雑誌・新聞記事掲載

#### 「石山宏一の新語ウオッチング(34)」

(英日編)(34) recession beard 不況ヒゲ/(日英編)(34) ヒトカラ one-man karaoke

小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)

2009年4月6日

「石山宏一の新語ウォッチング(35)」

(英日編)(35)hypermiling ケチケチ運転／(日英編)(35)白ロム an unprogrammed cellphone  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2009年4月20日

「石山宏一の新語ウォッチング(36)」

(英日編)(36)smart grid スマートグリッド(日英編)(36)宇宙ゴミ space debris  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2009年5月11日

「石山宏一の新語ウォッチング(37)」

(英日編)(37)wordle 文字組絵／(日英編)(37)水際対策 front-line containment measures  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2009年5月25日

「石山宏一の新語ウォッチング(38)」

(英日編)(38)credit munch 不況によるやけ食い／(日英編)(38)内食 home cooking  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2009年6月8日

「石山宏一の新語ウォッチング(39)」

(英日編)(39)Party A and Party B (同性結婚の)当事者甲および乙／(日英編)(39)リカツ divorce-seeking activities  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2009年6月22日

「石山宏一の新語ウォッチング(40)」

(英日編)(40)Carrotmob キャロットモブ(日英編)(40)輪行 bicycle travel  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2009年7月6日

「石山宏一の新語ウォッチング(41)」

(英日編)(41)tweets ツイーツ／(日英編)(41)ネゲ廃人 net game addicts  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2009年7月21日

「石山宏一の新語ウォッチング(42)」

(英日編)(42)defriend (SNSの)友人の輪から外す／(日英編)(42)歴女 history-loving women  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2009年8月3日

「石山宏一の新語ウォッチング(43)」

(英日編)(43)texting shorthand メール用略字語／(日英編)(43)電子看板 digital signage  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2009年8月31日

#### 「石山宏一の新語ウォッチング(44)」

(英日編)(44)putpockets 逆スリ／(日英編)(44)アラカルト婚 a la carte wedding  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2009年9月14日

#### 「石山宏一の新語ウォッチング(45)」

(英日編)(45)crunch creep 不況ブルー／(日英編)(45)生物農薬 biological pesticide  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2009年9月28日

#### 「石山宏一の新語ウォッチング(46)」

(英日編)(46)patent troll 特許の怪物／(日英編)(46)直葬 a cremation-only funeral  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2009年10月26日

#### 「石山宏一の新語ウォッチング(47)」

(英日編)(47)severance economy 退職金経済／(日英編)(47)テンパる become flustered  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2009年11月24日

#### 「石山宏一の新語ウォッチング(48)」

(英日編)(48)funt 金融アンタッチャブル／(日英編)(48)政治主導型政治 politicians-led politics  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2009年12月21日

#### 「石山宏一の新語ウォッチング(49)」

(英日編)(49)sexting セックスメール／(日英編)(49)追い出し屋 evictor  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2010年1月25日

#### 「石山宏一の新語ウォッチング(50)」

英日編(50)PIGS ピッグス(ポルトガル、イタリア、ギリシャ、スペイン)／(日英編)(50)無縁社会 a society of the unknown dead  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2010年2月22日

#### 「石山宏一の新語ウォッチング(51)」

英日編(51)the Noughties 2千ゼロ年代／(日英編)(51)撮り鉄 a train-buff photographer  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2010年3月15日

#### 「石山宏一の新語ウォッチング(52)」

英日編(52)a deleb 有名故人／(日英編)(52)別れさせ屋 a couple buster  
小学館編「小学館ランゲージワールド」(電子隔週刊誌オンラインコラム)  
2010年3月22日

## ○その他特記事項

(2008年度未掲載分 1件)

「iPhoneアプリ採用の共編著『ポケプロ辞典』が App ストアのレファレンス部門 ベスセラーリストで3位」

2009年3月26日

「共編著『ポケプロ辞典』が三省堂神保町本店一般書売上ランキング1位」

2009年4月8日

「母校米国大学レセプション企画統括・司会」

2009年4月20日

「ポケットプログレッシブ英和・和英辞典第3版ピーターラビット版」

小学館 1242頁

2009年5月13日

「外人記者クラブ図書委員就任」

2009年7月1日

「(財)グルー・バンクロフト基金」評議員就任」

2009年7月1日

「『アルダーマン教授を囲む会』通訳」

2009年9月7日

「コメント仏国ラジオ引用」

2009年9月17日

「バイリーガル・コース・リーフレット第2号編集長」

2009年12月1日

「母校米国ミドルベリー大学同窓会英語司会」

2010年3月26日

## 加藤 英夫 (かとう ひでお) 教授

---



出生年 : 1942年  
在籍 : 1993年4月～2010年3月  
最終学歴 : 早稲田大学大学院文学研究科修士課程  
学位 : 文学修士  
学位論文 : ドライザー文学の文明諸相の研究  
専門分野 : アメリカ研究、アメリカ文学研究  
前職 : 千葉工業大学教授  
留学 : ミシガン大学  
学会 : アメリカ学会、千葉大学英文学会(評議員)

(医用工学部・臨床工学科)

**平井紀光 (ひらい としみつ) 准教授**

---



出生年 : 1942年  
在籍 : 2002年3月～2010年3月  
最終学歴 : 東京電機大学工学部  
東京大学大学院医学系研究科医用生体工学講座  
生体機能制御学分野研究生(1991～1999)  
学位 : 工学士  
専門分野 : 医用レーザー、臨床工学、医用安全工学  
(低エネルギーレーザーの臨床的生体作用機序に関する  
基礎的研究)  
前職 : 片柳学園日本工学院専門学校臨床工学科学科長  
資格 : 第2種電気工事士免許(国家資格)  
第1種・第2種ME技術者(学会資格)  
学会 : 日本生体医工学会、日本公衆衛生学会、日本医療器械学  
会、日本レーザー医学会、医療マネジメント学会  
社会的活動 : 社会保険横浜看護専門学校看護学科(医療工学)  
東海大学開発工学部医用生体工学科(医用機器安全管理学)  
東京大学大学院医学系研究科生体工学講座生体機能制  
御学分野客員研究員  
日本臨床工学技士教育施設協議会会長(1988～1997)  
日本臨床工学技士教育施設協議会教育課程等検討委員  
臨床工学技士国家試験委員(1994～1998)  
(社)東京女子医科大学未来医学研究会理事(1989～  
2006)、同研究会会員運営委員(2007～)  
日本生体医工学会 CE 教育委員会委員  
第1種・第2種 ME 技術実力検定試験委員

(医用工学部・生命医工学科)

**川田淳一 (かわた じゅんいち) 講師**

---



出生年 : 1946年  
在籍 : 1990年4月～2010年3月  
最終学歴 : 放送大学教養学部人文自然コース  
専門分野 : 分光学、有機薄膜  
前職 : 桐蔭学園工業高等専門学校講師



(工学部・電子情報工学科)

## 倉持内武 (くらもち ないむ) 教授



出生年 : 1941年  
在籍 : 1992年4月～2010年3月  
最終学歴 : 東京工業大学大学院理工学研究科修士課程  
学位 : 工学博士  
学位論文 : Rb原子発振器用ポンピング光源の分光的特性に関する研究  
専門分野 : 精密周波数制御、電磁波計測  
前職 : 東京工業大学精密工学研究所助手  
非常勤講師 : 東京工業大学(1993～1995)  
学会 : 電気学会、電子情報通信学会、応用物理学会、日本時計学会、日本工学教育協会、IEEE  
社会的活動 : 日本学術会議URSI分科会電磁波計測小委員会委員、電気学会 精密周波数発生回路の新技术調査専門委員会委員

### 著書出版

「身近な例で学ぶ 電波・光・周波数 -電波の基礎から電波時計、地デジ、GPSまで-」

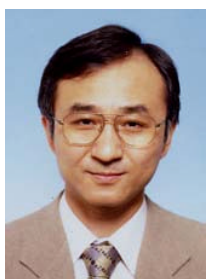
(共著: 倉持内武、吉村和昭、安居院猛)

森北出版株式会社、菊版全 192 頁7章構成(第4章、第5章、第6章を担当)、

2009年9月30日

(工学部・ロボット工学科)

## 工藤成史 (くどう せいし) 教授



出生年 : 1951年  
在籍 : 1997年4月～2010年3月  
最終学歴 : 東北大学工学研究科博士後期課程  
学位 : 工学博士  
学位論文 :  $K_2SeO_4$ の構造相転移に関する研究  
専門分野 : 応用物理学、生物物理学  
前職 : (株)豊田中央研究所(新技术実業団宝谷超分子柔構造プロジェクト研究員)、(株)安川電機つくば研究所課長(新技术実業団さきがけ研究21「細胞と情報」領域研究者)  
学会 : 日本物理学会、Biophysical Society、文理シナジー学会、応用物理学会(有機分子バイオ分科常任幹事、講演会企画運営委員、講演奨励賞委員、論文賞委員、1991-1999)、日本生物物理学会(学会誌編集委員、1997-1998)、可視化情報学会  
社会的活動 : 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)委託調査「バイオニックデザイン」調査委員(1992～1993)、科学技術振興調整費「極限環境下におけるマイクロライボロジーに関する基盤的研究」研究推進委員会第2分科会委員(1996～2001)、科学技術振興事業団・創造科学技術推進事業・難波プロトニックナノマシンプロジェクト研究推進委員(1998～2002)、NEDO テーマ公募型事業ピアレビュー(2004～)

受賞・表彰 : IEEE 論文賞 (James Melcher Prize Paper Award) (1994)、  
第 2 回ニューテクノロジー振興財団懸賞論文「文化としての  
遊びと科学技術」入賞 (1997)、可視化情報学会 第 19 期  
学会賞 (論文賞) (2008)

### 論文掲載

---

“Effect of Intracellular pH on the Torque-Speed Relationship of Bacterial Proton-Driven Flagellar Motor”

(S. Nakamura, N. Kami-ike, J. P. Yokota, **S. Kudo**, T. Minamino, and K. Namba)  
J. Mol. Biol., 386, 332-338  
2009 年

### 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「センター試験について考える」

(**工藤成史**、片山富美代、竹内正顯) 文理シナジー学会平成 21 年度春の大会、要旨集 p.4  
2009 年 5 月

“Chemotaxis-like motion of a model bacterium”

(Toshiki Sasaki, **Takeshi Morishita**, **Seishi Kudo**)  
Proceedings of The Fourth International Symposium on Aero Aqua Bio-Mechanisms, P01, China  
2009 年 9 月

「細菌モデルによる目標への誘導システム構成」

(佐々木敏樹、**森下武志**、**工藤成史**) 日本ロボット学会学術講演会'09 講演論文集, 1M1-02  
2009 年 9 月

“Biased random walk of a model bacterium”

(Toshiki Sasaki, Takeshi Morishita, Seishi Kudo)  
The 47th the Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan  
2009 年 10 月

### 講演会・研修会・セミナー講師

---

「バクテリアの行動とべん毛モータ」

東北大学応用物理学セミナー  
2009 年 9 月

## 若山 信行（わかやま のぶゆき）教授

---



出生年 : 1942 年  
在籍 : 1988 年 4 月～2010 年 3 月  
最終学歴 : 東京大学大学院博士課程  
学位 : 理学博士  
学位論文 : 有機半導体の触媒作用  
専門分野 : 物理化学、生物物理化学  
前職 : 三菱化成生命科学研究所主任研究員  
留学 : カナダ国立研究機構 (1969～1972)  
学会 : 日本化学会、日本生物物理学会、高分子学会

(工学系)

## 赤堀 正宜（あかほり まさよし）特任教授

---



出生年 : 1931 年  
在籍 : 1992 年 4 月～2010 年 3 月  
最終学歴 : 東京教育大学大学院博士課程  
学位 : 博士(教育学)  
学位論文 : ポストン公共放送局(WGBH)と市民教育  
～マサチューセッツ州産業エリートと大学の連携～  
専門分野 : 教育工学  
前職 : 放送教育開発センター助教授、国際武道大学教授  
留学 : 文部省在外研究員  
(ペンシルバニア州立大学) (1985.3～4)  
学会 : 日本教育学会、日本教育社会学会、日本教育工学会、  
日本教育メディア学会  
社会的活動 : 日本メディア教育学会理事、日本メディア教育学会、  
「教育メディア研究」編集委員

## 著書出版

---

「生きて歩いて～塵から造られて～」

(単著) 深夜叢書社 210 頁

2010 年 3 月

## 論文掲載

---

「在留外国人子女のためのアイデンティティを考慮した理科教育の実践的研究Ⅱ」

(共著: 中丸久一、アルベルト・パラシオス、角替弘規、赤堀正宜)

桐蔭論叢 第 20 号 99-105 頁

2009 年 6 月 15 日

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「NHKビデオクリップ利用の授業実践」

放送教育研究会(NHK会議室)

2009 年 11 月

## 涌井 史郎 (わくい しろう) 特任教授



- 出生年 : 1945 年  
在籍 : 2000 年 4 月～2010 年 3 月  
最終学歴 : 東京農業大学農学部造園学科中退  
専門分野 : 造園学  
前職 : (株)石勝エクステリア代表取締役社長  
現職 : (株)石勝エクステリア取締役相談役  
客員教授 : 中部大学客員教授、東京農業大学客員教授  
東京都市大学客員教授  
学 会 : 日本造園学会、日本レジャー・レクリエーション学会  
日本緑化工学会  
社会的活動 : どうきゅう環境浄化財団助成金選考委員、山口県 21 世紀未来博覧会チーフプロデューサー、国土庁水資源対策アドバイザー、NTV「知ってるつもり?!」、TBS「サンデーモーニング」等レギュラー出演、2005 年日本国際万博博覧会(愛知 EXPO)ランドスケープコーディネーター(2002.2～2002.12)、青少年公園緑化修景計画検討委員会、道路緑化保全協会菊池奨励賞選考委員会委員(2002.9～2004.5)、道路緑化保全協会社会情勢の変化に応じた緑化事業推進研究会座長、国営沖縄記念公園長期計画策定委員会委員(2002.11～2003.3)、国土交通省造園工事等の実施に関する諸問題への対応検討委員会委員(2002.11～2003.3)、2005 年日本国際博覧会(愛知 EXPO)会場総合プロデューサー、みちのく杜の湖畔公園整備計画検討委員会委員長(2003.3～2004.3)、国土交通省キャッチボールのできる公園づくり懇話会座長(2003.6～2004.3)、青葉山公園整備基本計画検討委員会委員(2004.6～)、北ぐんま地域交流連携検討会委員、日本農学会評議員、みちのく公園自然共生園整備基本計画検討委員会委員長、財団法人公園緑地管理財団 研究顧問、タイ・ラーチャブルック国際園芸博覧会屋外出典委員会委員、多摩・三浦丘陵自治体広域連携会議 座長、沖縄記念公園基本計画更新委員会委員、(財)都市緑化基金 調査研究協力委員、(社)日本インド・グリーン協会活性化検討特別委員会委員、フラワーツーリズム推進協議会理事、全国産業観光推進協議会理事、みちのく自然共生園整備・管理運営計画検討委員会委員長、都市公園を拠点とした環境配慮型社会の形成に関する調査委員会委員、中越みどり復興アクション理事、(社)道路緑化保全協会顧問、農林水産省 健康で快適な給食施設等表彰審査委員会委員、生物多様性広報・参画推進委員会委員、等々力緑地再編整備検討委員会委員、佐賀県美しい景観づくり審議会委員、全国エコロジカルネットワーク構想検討委員会、H20 都市公園の収益構造の再構築に関する研究会委員、出雲市環境保全型公園基本構想検討委員会委員、大橋 JCT 周辺緑化アドバイス会議座長、低炭素社会における高速道路空間のあり方に関する研究委員会委員、国土交通省 南関東エコロジカル・ネットワーク形成に関する検討委員会、(財)日本生態系協会顧問

受賞・表彰：東京農業大学「造園大賞」受賞(1974.5)、日本造園学会「日本造園学会賞」受賞(1993.5)、(財)日本造修景学会「下山奨励賞」受賞(1993.5)、国土交通大臣表彰(2001.7)、2000年度材料技術研究協会討論会ポスター賞受賞、黄綬褒章受賞(2005.5)、日本公園緑地協会第18回佐藤国際賞受賞(2010.5)

## 著書出版

---

「オープンガーデンガイドブック 2009～2011年度版」

(単著) マルモ出版、担当部分 8-9 頁

2009年5月30日

## 論文掲載

---

「芝生の歩行踏圧ストレスに関する事例報告」

(共著: **飯島健太郎**、**涌井史郎**) 桐蔭論叢 第20号 49-55 頁

2009年6月15日

「低木を用いた基盤設置型壁面緑化による暑熱環境緩和効果」

(共著: 石井伸明、**涌井史郎**、佐藤忠継、**飯島健太郎**) 芝草研究 38(2) 156-161 頁

2010年3月

## 総説・論説

---

「生物多様性を尊重した生態環境都市への提言」

(単著) グリーン・エージ 10月号 3-7 頁

2009年10月

「環境の世紀」

(単著) 新都市 10月号とみどり 15-19 頁

2009年10月

「コンパクトシティを支えるエコモビリティ」

(単著) ランドスケープデザイン(69) 78-82 頁

2009年12月

「『江戸モデル』から学ぶ都市環境の再生」

(単著) ランドスケープデザイン(70) 78-82 頁

2010年2月

「山川草木悉皆成仏」

(単著) 仏教文化講座たより・蓮華 78号 15-26 頁

2010年2月

「道路は『人間とともにある』空間へ、緑は防災、生物多様性、健康に貢献」

(単著) 道路 2010・3月号 4-9 頁

2010年3月

## 学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演

---

「パネル型壁面緑化による暑熱環境緩和効果に関する研究」

(石井伸明、**涌井史郎**、**飯島健太郎**) 日本芝草学会春季大会(東京大学)

2009年6月14日

「芝生の歩行踏圧ストレスに関する事例報告」

(荒川純、金澤健、中島由香里、石井伸明、**涌井史郎**、**飯島健太郎**)

日本芝草学会春季大会(東京大学)

2009年6月14日

“Effect of Wall Greening on improving the Thermal Environment”

(Nobuaki ISHII, **Shiro WAKUI**, **Kentaro IJIMA**) TOIN International Symposium on BME2009

2009年10月30日

“Psychological Effect of Horticultural Therapy on the Nursing home the Conversational Analysis that Uses KJ method”

(Masashi TAKEUTHI, **Shiro WAKUI**, **Kentaro IJIMA**) TOIN International Symposium on BME2009

2009年10月30日

“On the Insulating Effect and Air Temperature Moderation by Planting Form In Rooftop Gardening”

(Tetsuro YOKOBORI, **Shiro WAKUI**, **Kentaro IJIMA**) TOIN International Symposium on BME2009

2009年10月30日

## 講演会・研修会・セミナー講師

---

「いのちと暮らしを支える生物多様性」

公開講座、なごや環境大学実行委員会

2009年5月16日

「生き物とのつながりを振り返れば未来が見える」

野村不動産主催、「ホテルを通して環境を考える」2009 基調講演

2009年6月4日

「杜の都の新たな挑戦」

仙台市、景観審議会、景観計画施行祈念シンポジウム、基調講演

2009年7月1日

「見直そう！生き物を見方にした日本の生活」

朝日新聞メーテレ環境7大学集中公開講座 2009

2009年7月18日

「多摩・三浦丘陵みどりのシンポジウム」

多摩・三浦丘陵の緑と水景に関する広域連携会議、総合コーディネーター

2009年8月1日

「地域遺伝子で時代をひらく」

九州創発塾 2009、佐賀新聞社主催

2009年8月7日

### 「COP10を迎えるにあたって」

基調講演、第1回東山再生フォーラム、人と自然をつなぐ懸け橋、名古屋市主催  
2009年9月27日

### 「生物多様性を支える都市のみどり」

(社)公園緑地協会、シンポジウム都市と生物多様性、基調講演  
2009年10月5日

### 「環境とヘルスプロモーション／生命潮流を攪乱する地球環境問題とヘルスプロモーション対応」

第44回九州医学検査学会、文化講演  
2009年10月10日

### 生物多様性国際対話

生物多様性国際対話議長、環境省  
2009年10月15日～16日

### 「歴史と文化資源を生かしたまちづくりと中心市街地の活性化」

小城市役所、講演  
2009年10月20日

### 「あかねさす希望都市、東松江」

東松江市・(財)自治総合センター、わがまちづくりシンポジウム基調講演  
2009年10月21日

### 「都市と緑、公園の未来」

名古屋市緑政土木局、鶴舞公園100周年記念事業、つるまこうえん・百歳・祭。記念シンポジウム、基調講演  
2009年10月24日

### 「流域で考える生物多様性」

豊田市矢作川研究所主催、第15回豊田市矢作川研究所シンポジウム、流域でまもる生命の豊かさ、基調講演  
2010年1月23日

### 森・川・海講演会

岐阜県、森・川・海ひだみの流域連携協議会主催、森・川・海ひだみの流域サミット、講演  
2010年1月31日

### 「景観の保全・再生・創造から地域ブランドを創る」

佐賀県県土づくり本部まちづくり推進課主催、景観シンポジウム、基調講演  
2010年2月14日

## その他

### ○産学協同研究

「植物による重金属等の土壌汚染物質の除去作用とその効果を指標する生育反応に関する研究」  
(涌井史郎、飯島健太郎) (株)熊谷組  
2009年4月～2010年3月

「遮熱・断熱塗料による断熱効果の性能比較検証研究」

(涌井史郎、飯島健太郎) (株)東急ホームズ

2009年8月～2010年3月

「遮熱・断熱塗料による断熱効果の性能比較及び快適性の定量的検証研究」

(涌井史郎、飯島健太郎) (株)日進産業

2009年10月～2010年3月

### ○その他特記事項

「港区をケーススタディとした立体的空地の現況と都市環境改善寄与に関する研究」(報告書)

(涌井史郎、飯島健太郎) 森ビル・桐蔭横浜大学

2009年10月

(法務研究科)

**猪股孝史 (いのまた たかし) 教授**

---



出生年 : 1959年  
在籍 : 1994年4月～2010年3月  
最終学歴 : 中央大学大学院博士課程後期課程  
学位 : 法学修士  
学位論文 : 既判力論の構造的基礎  
—その客観的範囲を中心として—  
専門分野 : 民事訴訟法、民事紛争処理法  
前職 : 放送大学助教授  
学会 : 日本民事訴訟法学会、仲裁ADR法学会

### 論文掲載

---

(2008年度未掲載分 1件)

「和解的仲裁判断—仲裁判断との同等性と異別性」

(単著) 桐蔭法科大学院紀要3号 3-97頁

2009年3月31日

### 総説・論説

---

「調停・和解の理念と技法 コメント①」

東北アジア民事訴訟法国際学会報告書『多元化する紛争解決方法 ～日中韓の対話』

(単著) 桐蔭横浜大学(助成・協力 社会科学国際交流江草基金) 104-108頁

2009年5月



## 河 邊 義 正 (かわべ よしまさ) 教授

---



出 生 年 : 1942 年  
在 籍 : 2007 年 4 月～2010 年 3 月  
最 終 学 歴 : 中央大学法学部法律学科  
専 門 分 野 : 刑事実務  
前 職 : 元東京高等裁判所判事部総括  
1986-1990 司法研修所教官  
1986-1990 司法試験考查委員  
現 職 : 弁護士(東京弁護士会)

## 三 宅 弘 人 (みやけ ひろと) 教授

---



出 生 年 : 1934 年  
在 籍 : 1999 年 4 月～2010 年 3 月  
最 終 学 歴 : ノースウエスタン大学ロースクール修士課程修了  
学 位 : 法学修士  
専 門 分 野 : 民事法、民事訴訟法、倒産法  
前 職 : 東京高等裁判所部総括判事、東京家庭裁判所長  
現 職 : 弁護士(第一東京弁護士会)  
留 学 : ノースウエスタン大学、シカゴ大学(1963～1965)  
資 格 : LL. M.  
学 会 : 民事訴訟法学会

## 村 瀬 統 一 (むらせ とういち) 教授

---



出 生 年 : 1940 年  
在 籍 : 2005 年 4 月～2010 年 3 月  
最 終 学 歴 : 中央大学法学部  
専 門 分 野 : 民事・行政法  
現 職 : 弁護士  
学 会 : 民事訴訟法学会  
社会的活動 : 民事調停委員

(先端医用工学センター)

**中島伸江 (なかじま のぶえ) 助手**

---



出生年 : 1954年  
在籍 : 2007年4月～2010年3月  
最終学歴 : 東京理科大学理学部応用化学科  
専門分野 : 神経生理学、薬理学、細胞生化学  
前職 : 自治医科大学神経内科学研究室、学習塾経営  
現職 : 桐蔭横浜大学先端医用工学センター 助手  
留学 : Medical Research Council in Cambridge  
Department of Neuropharmacology  
資格 : 高等学校・中学校理科教諭免許  
受賞・表彰 : 「色材協会 優秀ポスター賞」(2008年9月)  
「材料技術研究協会討論会 ゴールドポスター賞」(2008年12月6日)

**論文掲載**

---

“Comparison of ATP level in U937 cells in vitro using two different photosensitizers in photodynamic therapy.”

(**Nobue Nakajima** and **Norimichi Kawashima**)

Proceedings of the SPIE, Volume 7380 (2009)., pp. 73804G- 73804G-10(2009)

2009年6月2日

**学会・研究会・シンポジウムでの発表・講演**

---

(口頭発表/Oral presentation)

“Comparison of ATP level in U937 cells in vitro using different photosensitizers in PDT.”

(**Nobue Nakajima** and **Norimichi Kawashima**)

International Photodynamic Association world congress (2009)

2009年6月15日

“Comparison of ATP level in U937 cells in vitro using two different photosensitizers in photodynamic therapy.”

(**Nobue Nakajima** and **Norimichi Kawashima**)

Toin international symposium on biomedical engineering (2009)

2009年10月30日

(ポスター発表/Poster presentation)

“Hypericin-PDT of U937 combined with different kinds of chemotherapeutic drugs.”

(**Nobue Nakajima** and **Norimichi Kawashima**)

13<sup>th</sup> congress of European Society for Photobiology and the 2<sup>nd</sup> conference of the European platform for photodynamic medicine (2009)

2009年9月7日

“Photodynamic therapy for cancer cells using mixed wavelength LEDs.”

(Yasushi Takei, Toshiyuki Kosobe, **Nobue Nakajima**, **Norimichi Kawashima**)

Toin international symposium on biomedical engineering (2009)

2009年10月30日

“Effect of cyclic poly lactate (CPL) and F88/poly lactic acid-block copolymer (PLLA-F88) on U937.”

(Yuki Kubo, **Nobue Nakajima, Norimichi Kawashima**)

Toin international symposium on biomedical engineering (2009)

2009年10月30日

“Effect of Sea buckthorn on the growth inhibitory activity of U937 in vitro.”

(Sawami Konuma, **Nobue Nakajima, Norimichi Kawashima**)

Toin international symposium on biomedical engineering (2009)

2009年10月30日

“Effect of Hypericin-PDT on U937 using different lamps.”

(Saori Shirasu, **Nobue Nakajima, Norimichi Kawashima**)

Toin international symposium on biomedical engineering (2009)

2009年10月30日

“Effect of Hypericin-PDT on U937 using different solvents.”

(Hideaki Tanaka, **Nobue Nakajima, Norimichi Kawashima**)

Toin international symposium on biomedical engineering (2009)

2009年10月30日

「U937における抗がん剤と Hypericin の併用による抗がん効果」

(**中島伸江、川島徳道**) 材料技術研究協会

2009年12月5日

「ALA-PDTにおける二波長同時照射型 LED の PDT 効果」

(竹井靖、古曾部俊之、**中島伸江、川島徳道**) 材料技術研究協会

2009年12月5日

「ベニバナインゲンを用いた湛水条件下における根の酸素濃度測定」

(高橋三男、仁木輝緒、**中島伸江、川島徳道**) 材料技術研究協会

2009年12月5日

## その他

### ○表彰・受賞

「材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞」

「U937における抗がん剤と Hypericin の併用による抗がん効果」

(**中島伸江、川島徳道**) 材料技術研究協会

2009年12月5日

「材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞」

「ALA-PDTにおける二波長同時照射型 LED の PDT 効果」

(竹井靖、古曾部俊之、**中島伸江、川島徳道**) 材料技術研究協会

2009年12月5日

「材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞」

「ベニバナインゲンを用いた湛水条件下における根の酸素濃度測定」

(高橋三男、仁木輝緒、**中島伸江、川島徳道**) 材料技術研究協会

2009年12月5日

**○海外出張**

2009年6月11日～6月15日

International Photodynamic Association world congress (2009): (Seattle, USA)

2009年9月5日～9月10日

13th congress of European Society for Photobiology and the 2nd conference of the European platform for photodynamic medicine (2009): (Wroclaw, Poland)

## 公開講座・セミナー・シンポジウム・イベント等開催

(学術講演会)

### 第1回・第2回 学術講演会

日時: 2009年6月16日(火) 15:00~17:00

会場: 先端医用工学センター カンファレンスルーム

(第1回)

講師: 桐蔭横浜大学 終身教授 川久保 達之

テーマ:「科学は自然現象をどこまで明らかにできるか?」

(第2回)

講師: 桐蔭横浜大学 日本法史研究所 名誉所長 石井 紫郎

テーマ:「近代日本の土地公有論」



(特別講演)

### スポーツ健康政策学部特別講演

日時: 2009年8月20日(土) 12:40~15:00

場所: 桐蔭横浜大学法学部棟 J205 講義室

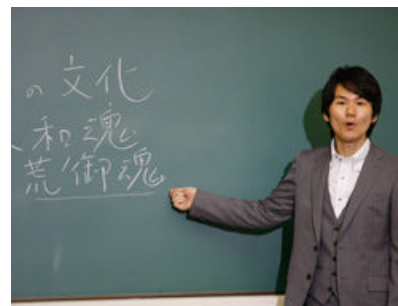
プログラム概要

学部長挨拶

特別講演 (講師) 南原 清隆 氏

テーマ:「笑い、スポーツ、狂言」~日本人のカラダを知ろう~

(学部説明会・個別相談会同日開催)



(公開研究会)

## 桐蔭横浜大学メディアエーション交渉研究所 公開研究会

### 【2009年度第3回公開研究会】

日時：2009年7月25日(土) 13:30～17:00

場所：桐蔭横浜大学法学部棟 J205 講義室

プログラム概要

個別報告

第1報告 小貫 篤 (筑波大学大学院教育研究科修士)

テーマ「小学校における紛争解決に関する学習指導についての研究 -「交渉」の手法を用いて-」

第2報告 小山 香 (弁護士)

テーマ「対話型紛争解決としての労働審判」

パネルディスカッション

### 【特別公開研究会】～交渉プロフェッションにみる対話の神髄～

日時：2009年12月12日(土) 13:20～17:00

場所：桐蔭横浜大学法学部棟 J205 講義室

プログラム概要

第1部・特別講演 瀬谷 ルミ子 氏

テーマ「対話から生まれる希望の光 -平和構築の現場から-」

第2部・シンポジウム

(1)コメント - ペマ・ギャルポ 氏・小島 武司 氏

(2)対談 - 瀬谷 ルミ子 氏、ペマ・ギャルポ 氏、小島 武司 氏

〈司会・大澤恒夫 氏〉

### 【公開研究会】

日時：2010年3月6日(土) 13:30～17:00

場所：桐蔭横浜大学法学部棟 J205 講義室

プログラム概要

個別報告

第1報告 江上 光美 (リクルート株式会社カスタマー苦情窓口スーパーバイザー)

テーマ「カスタマー対応とコミュニケーション(話を聴くこと)-対応のゴールはどこですか？」

第2報告 秋田 知子 (桐蔭横浜大学法学部助教)

テーマ「アメリカにおける家族法弁護士の役割」

パネルディスカッション

(公開講座)

よこはま大学開港塾～第二の開国に向けた出航～

第3回 桐蔭横浜大学「東洋と横浜 I -インドと横浜-

日時：2009年9月12日(土) 14:00～17:00

場所：桐蔭学園メモリアルアカデミウム ポロニアホール

共催：横浜市都市経営局大学・都市パートナーシップ協議会

プログラム概要

冒頭挨拶 野田 由美子 氏(横浜市副市長)

第1部 基調講演 テーマ「日印関係の過去と未来」

アフターブ・セット (元駐ギリシャ・ベトナム・日本国インド特命全権大使)

第2部 パネルディスカッション テーマ「インドと横浜」

パネリスト

福永 正明 氏(岐阜女子大学客員教授 同南アジア研究センター長補佐)

サンジーヴ・スィンハ 氏((株)サンアンドサンズアドバイザーズ代表取締役社長)

内田 千代 氏(横浜インドセンター事務局)

コーディネーター ペマ・ギャルポ 氏(桐蔭横浜大学法学部教授)



(国際シンポジウム開催)

## 桐蔭医用工学国際シンポジウム 2009 (第4回)

### The 4<sup>th</sup> Toin International Symposium on Biomedical Engineering 2009

日時: 2009年10月30日(金) 9:30~18:00

場所: 桐蔭横浜大学法学部棟J205 講義室および交流会館

#### Program Over View

##### 1) Plenary session –invited speakers–

Session1 : “Progress Towards Developing Functional Tissue Engineering Small Diameter Blood Vessels”

Dr. Peter S. McFetridge

Associate Professor, School of Chemical, Biological and Materials Engineering, University of Oklahoma

Session2 : “A Role for Bach 1 and HO-2 in Suppression of Basal and UVA-induced HO-1 Expression in Human Keratinocytes”

Dr. Julia Li Zhong

Professor, College of Bioengineering, Chongqing University

Session3 : “Intracellular Signaling in Antiproliferative Effect of HGF on Hepatocellular Carcinoma Cells”

Dr. Naomi Kitamura

Professor, Graduate School of Bioscience and Biotechnology/ Biological Sciences, Tokyo Institute of Technology

Session4 : “New Nanomaterials for Solid-State DyeSensitized Solar Cells”

Dr. Henry J, Snaith

RCUK Fellow in Photovoltaics, Department of Physics-Condensed Matter Physics, University of Oxford

##### 2) Oral presentation

Presentation1 : Dr. Makoto GOTO, Faculty of Biomedical Engineering, TOIN University of Yokohama

Presentation2 : Dr. Yoshinori HAYAKAWA, Faculty of Biomedical Engineering, TOIN University of Yokohama

Presentation3 : Mr. Naoki KATSURA, Graduate School of Engineering, TOIN University of Yokohama

Presentation4 : Dr. Nobue NAKAJIMA, Biomedical Engineering Center, TOIN University of Yokohama

Presentation5 : Mr. Masaomi OBATA, Graduate School of Engineering, TOIN University of Yokohama

Presentation6 : Dr. Mareki OHTSUJI, Faculty of Biomedical Engineering, TOIN University of Yokohama

Presentation7 : Dr. Yasuhiro F. MIURA, Graduate School of Engineering, TOIN University of Yokohama

Presentation8 : Mr. Keisuke SUGANO, Graduate School of Engineering, TOIN University of Yokohama

Presentation9 : Mr. Takenori TAMURA, Graduate School of Engineering, TOIN University of Yokohama

Presentation10 : Dr. Tomoaki YONESAKA, Faculty of Biomedical Engineering, TOIN University of Yokohama

Presentation11 : Mr. Ryosaku TOMIOKA, Graduate School of Bioscience and Biotechnology, Tokyo Institute of Technology

##### 3) Authors Present at Poster

BIOMEDICAL ENGINEERING – 31 posters

GENETIC ENGINEERING – 7 posters

LIFE and ENVIRONMENTAL SCIENCE – 12 posters

INFORMATICS and MECHANICAL ENGINEERING – 4 posters





(学会開催)

## **第22回日本交渉学会全国大会**

日時：2009年11月14日(土)・15日(日)

場所：桐蔭横浜大学

プログラム概要：

**【第1日目(14日)】** 司会：御手洗 昭治

○大会実行運営委員長挨拶 小島 武司 (桐蔭横浜大学 学長)

○ワークショップ 司会：山城 崇夫 (桐蔭横浜大学 教授)

小山 齊 (弁護士)・秋沢 伸哉 (弁護士)

テーマ：「裁判員を説得する」

○特別講演 司会：豊田 愛祥 (弁護士・本学会理事)

草野 芳郎 (学習院大学教授)

テーマ：「訴訟上の和解と交渉」

○特別講演 司会：上原 要佐 (本学会常務理事)

鷲尾 友春 (国際経済交流財団主任研究員兼企画部長、経済産業研究所コンサルティング・フェロー&前ジェトロ理事)

テーマ：「ノー・ニュース (No News) をどう読むか」

○懇親会 司会：大西 啓義 (アクティビジネス株式会社社長)

**【第2日目(15日)】**

○総会 司会：麻殖生 健治 (立命館大学経営大学院教授)

1.平成20年度活動及び決算報告 2.平成21年度活動計画 3.その他(新会長挨拶)

○研究発表 司会：土居 弘元・御手洗 昭治

挨拶その他 藤田 忠 (日本交渉学会会長)

1.酒井 一郎 (元田園調布学園大学教授)

テーマ：「子ども大学かわごえ創設の交渉経緯 -大学のビュロクラシーとセクショナルリズム-」

2.上原 要佐 (本学会常務理事)

テーマ：「アメリカの親イスラエルロビーと米国の中東政策」

3.秋沢 伸哉 (英国ウェールズ経営大学院教授)

テーマ：「プレッシャー、感情と意思決定：裁判員裁判における組織的意思決定」

4.早野 木の美 (消費生活専門相談員)

テーマ：「消費者問題の歴史からみる交渉の変遷」

(公開講座)

**桐蔭横浜大学 医用工学部 ジュニア公開講座 -TOIN OPEN College 2009-**

日時： 2009年6月13日～12月5日(全10回) 各回14:00～15:00

場所： 桐蔭横浜大学先端医用工学センター棟2階 カンファレンスルーム

概要： 本学の専門教員が中心に、現代医療に用いられているさまざまな理工学技術について、高等学校などで学ぶ物理学、化学、生物学などと結びつけながら、わかりやすく紹介する。

(第1回・6月13日) 講師： 医用工学部 准教授 小寺 洋

テーマ：「血液の不思議」

(第2回・6月20日) 講師： 医用工学部 准教授 徳岡 由一

テーマ：「ニキビ、どうしていますか？」

(第3回・6月27日) 講師： 医用工学部 教授 小山 行一

テーマ：「色と色覚」

(第4回・7月11日) 講師： 医用工学部 教授 竹内 真一

テーマ：「医療診断技術 -医用画像診断の進歩-」

(第5回・7月18日) 講師： 医用工学部 准教授 落合 晃

テーマ：「医薬品開発と先端医薬品 -薬のすべて-」

(第6回・10月10日) 講師： 医用工学部 教授 西村 裕之

テーマ：「ゲノムサイエンスの新しい時代」

(第7回・10月24日) 講師： 医用工学部 准教授 平井 紀光

テーマ：「”安全とは”について考える」

(第8回・10月31日) 講師： 医用工学部 客員教授 辻 毅一

テーマ：「骨と歩行の力学」

(第9回・11月7日) 講師： 医用工学部 教授 萩原 啓実

テーマ：「あなたの骨は大丈夫？」

(第10回・12月5日) 講師： 医用工学部 教授 早川 吉則

テーマ：「癌放射線治療の最前線」

(イベント/学内)

## 第11回おもしろ理科教室

日時： 2009年8月22日(土) 10:00～15:30

場所： 桐蔭横浜大学 法学部棟 他

対象： 小学生以上の児童、生徒およびその保護者 他

実施テーマ

「大人を投げよう(柔道はてこで動くか、てこでも動かないか)」

「草の笛を鳴らそう」

「車いすダンス」

「サボテンのふしぎ発見」

「さわれない黒いかべ！偏光って何だ？」

「磁石の力を感じよう」

「正多面体を作ろう」

「社交ダンス」

「じゃんぼシャボン玉に挑戦」

「人体から出てくる電気のふしぎ」

「振動で左右自由に回る回転物を作ろう」

「壺の笛を鳴らそう」

「電気力でコインを飛ばそう」

「てんさいになれる？そろばんすうじ！」

「なりきり裁判官」

「日本の裁判制度」

「はっぱのいろいろ」

「風船うきうき～科学手品を覚えよう～」

「立体写真を楽しもう」

「レッツ温度」

「礼儀作法」

「連鶴を折ってみよう」

「新校舎建設現場見学ツアー」



(イベント/学外)

## よこはま“学☆遊”フェア 2009/夏

日時： 2009年7月10日(金)～12日(日)

場所： 横浜駅東口新都市プラザ(横浜そごう地下2階正面入口前)

主催： 横浜市都市経営局大学・都市パートナーシップ協議会

内容： ブースにて本学の紹介、パンフレット配布 等



(イベント/学外)

## 第12回社会人のための大学フェア in かながわ

日時: 2009年7月3日(火)16:00~19:00 / 4日(水) 10:00~16:00

2009年9月5日(土)、6日(日) 9:00~17:00

場所: かながわ県民センター

内容: ブースにて本学の紹介、パンフレット配布 等

主催: かながわ大学生涯学習推進協議会

(イベント/学外)

## かながわ発・中高生のためのサイエンスフェア

日時: 2009年8月25日(火)・26日(水) 10:00~17:30

場所: 新都市ホール(そごう横浜店9階)、新都市プラザ(そごう横浜店地下2階入口前)

主催: 神奈川県・神奈川県教育委員会・参加大学・財団法人神奈川科学技術アカデミー

内容: 科学や理工系に係る実演・体験コーナー/理工系大学ブースコーナー

医療技術を体験してみよう!(本学からの参加テーマ・ライフサイエンス)

(1)音で身体の中を測る

医用工学部生命医工学科 准教授 米坂知昭、講師 清水智美

(2)魔法のスティックで健康を測る

医用工学部生命医工学科 准教授 落合 晃、講師 大辻希樹

(3)遺伝子の個性を測る

医用工学部生命医工学科 准教授 小寺 洋、講師 大辻希樹

講座番号	講座名	講師	講義日	時間	回数	受講料
01	現代と宗教	八木 誠一 (元桐蔭横浜大学教授)	5月14日(木) ~7月16日(木)	10:30 ~ 12:00	10	20,000
02	イエスと現代	八木 誠一 (元桐蔭横浜大学教授)	5月14日(木) ~7月16日(木)	13:30 ~ 15:00	10	20,000
03	短歌 実作の楽しみ	宇都宮 とよ (歌誌「心の花」選歌委員)	5月12日(火) ~7月21日(火)	13:30 ~ 15:00	9	18,000
04	続日本紀を読む(2)	寺田 恵子 (湘南短期大学教授)	5月11日(月) ~6月29日(月)	13:30 ~ 15:00	8	16,000
05	現代史考 ( 両大戦史 )	赤堀 景章 (桐蔭横浜大学名誉教授)	5月8日(金) ~7月10日(金)	13:00 ~ 14:30	10	20,000
06	朗読基礎コース	鈴木 正導 (元NHKアナウンサー)	5月14日(木) ~7月16日(木)	10:30 ~ 12:00	10	25,000
07	朗読を楽しむ	鈴木 正導 (元NHKアナウンサー)	5月14日(木) ~7月16日(木)	13:30 ~ 15:00	10	20,000
08	基礎スペイン語講座④ - 文化と共に学ぶ -	高橋 悦子 (日本ペルー共生協会副会長)	5月13日(水) ~7月1日(水)	10:30 ~ 12:00	8	16,000
09	入門・初級中国語会話	曾 雪 (桐蔭横浜大学大学院生)	5月13日(水) ~7月15日(水)	14:15 ~ 15:45	10	25,000
10	中級中国語会話	曾 雪 (桐蔭横浜大学大学院生)	5月13日(水) ~7月15日(水)	12:30 ~ 14:00	10	20,000
11	上級中国語会話	曾 雪 (桐蔭横浜大学大学院生)	5月13日(水) ~7月15日(水)	10:30 ~ 12:00	10	25,000
12	シネマ・イングリッシュ -名作映画で学ぶ素敵な英語表現-	勝田 友子 (英会話学校講師)	5月13日(水) ~7月22日(水)	13:30 ~ 15:00	11	22,000
13	楽しく Basic 英会話	勝田 友子 (英会話学校講師)	5月13日(水) ~7月22日(水)	10:30 ~ 12:00	11	22,000
14	学びなおす英語 - 中級程度 -	岡田 俊恵 (桐蔭横浜大学教授)	5月1日(金) ~7月10日(金)	13:15 ~ 14:45	11	22,000
15	学びなおす英語 - 上級程度 -	岡田 俊恵 (桐蔭横浜大学教授)	5月1日(金) ~7月10日(金)	15:00 ~ 16:30	11	22,000
16	Focus on Communication - はじめての英会話 -	エリザベス・小野寺 (桐蔭横浜大学講師)	5月14日(木) ~7月16日(木)	13:30 ~ 15:00	10	20,000
17	English is fun! - 初級英会話 A -	ジェフリー・シンハ (桐蔭学園講師)	5月11日(月) ~7月13日(月)	13:30 ~ 15:00	10	20,000
18	Develop your Word and Speech Powers ! - 初級英会話 B -	エリザベス・小野寺 (桐蔭横浜大学講師)	5月13日(水) ~7月15日(水)	14:00 ~ 15:30	10	20,000
19	Talk It Over -初中級英会話 -	ロバート・カトレット (拓殖大学講師)	5月11日(月) ~7月13日(月)	10:30 ~ 12:00	10	20,000
20	You Can Do it in English ! - 中級英会話 -	ジェームズ・グラジアニ (桐蔭学園講師)	5月14日(木) ~7月16日(木)	14:30 ~ 16:00	10	20,000
21	Advanced English Conversation - 上級英会話 -	エリザベス・小野寺 (桐蔭横浜大学講師)	5月14日(木) ~7月16日(木)	10:30 ~ 12:00	10	20,000
22	パソコン入門講座	中丸 久一 (桐蔭横浜大学講師)	5月12日(火) ~6月30日(火)	13:30 ~ 15:00	8	20,000
23	初めての写真講座(一眼レフ入門)	玄 一生 (写真家)	5月12日(火) ~7月21日(火)	10:30 ~ 12:00	11	27,500
24	楽しい写真講座	玄 一生 (写真家)	5月12日(火) ~7月21日(火)	13:30 ~ 15:00	11	27,500
25	はじめてのフルートアンサンブル	遠藤 まり (昭和音楽大学附属音楽教室講師)	5月8日(金) ~7月10日(金)	14:00 ~ 15:30	9	22,500
26	たのしいフルートアンサンブル (火曜クラス)	遠藤 まり (昭和音楽大学附属音楽教室講師)	5月12日(火) ~7月7日(火)	10:30 ~ 12:00	9	22,500
27	たのしいフルートアンサンブル (金曜クラス)	遠藤 まり (昭和音楽大学附属音楽教室講師)	5月8日(金) ~7月10日(金)	10:30 ~ 12:00	9	22,500
28	楽しい絵画教室	今村 昭寛 (洋画家 一創会運営委員)	5月14日(木) ~7月16日(木)	10:30 ~ 12:00	10	22,000

2009年度 第Ⅱ期  
桐蔭生涯学習センター講座一覧表

講座番号	講座名	講師	講義日	時間	回数	受講料
01	現代と宗教	八木 誠一 (元桐蔭横浜大学教授)	9月17日(木) ～11月26日(木)	10:30～ 12:00	11	22,000
02	イエスと現代	八木 誠一 (元桐蔭横浜大学教授)	9月17日(木) ～11月26日(木)	13:30～ 15:00	11	22,000
03	短歌 実作の楽しみ	宇都宮 とよ (歌誌「心の花」選歌委員)	9月29日(火) ～11月24日(火)	13:30～ 15:00	8	16,000
04	続日本紀を読む(3)	寺田 恵子 (湘南短期大学教授)	11月2日(月) ～12月14日(月)	13:30～ 15:30	6	16,000
05	現代史考 - 両大戦史 -	赤堀 景章 (桐蔭横浜大学名誉教授)	9月18日(金) ～11月20日(金)	13:00～ 14:30	10	20,000
06	朗読基礎コース	鈴木 正導 (元NHKアナウンサー)	9月17日(木) ～11月26日(木)	10:30～ 12:00	11	27,500
07	朗読を楽しむ	鈴木 正導 (元NHKアナウンサー)	9月17日(木) ～11月26日(木)	13:30～ 15:00	11	22,000
08	基礎スペイン語講座⑤ - 文化と共に学ぶ -	高橋 悦子 (日本ペルー共生協会副会長)	9月30日(水) ～12月9日(水)	10:30～ 12:00	10	20,000
09	入門・初級中国語会話	曾 雪 (中国語講師)	9月16日(水) ～12月9日(水)	14:15～ 15:45	11	27,500
10	中級中国語会話	曾 雪 (中国語講師)	9月16日(水) ～12月9日(水)	12:30～ 14:00	11	22,000
11	上級中国語会話	曾 雪 (中国語講師)	9月16日(水) ～12月9日(水)	10:30～ 12:00	11	27,500
12	Let's challenge TOEIC(R) - 少人数 TOEIC(R)チャレンジ講座 -	勝田 友子 (英会話学校講師)	9月16日(水) ～12月16日(水)	13:30～ 15:00	12	24,000
13	楽しく Basic 英会話	勝田 友子 (英会話学校講師)	9月16日(水) ～12月16日(水)	10:30～ 12:00	12	24,000
14	学びなおす英語 - 中級程度 -	岡田 俊恵 (桐蔭横浜大学教授)	9月18日(金) ～12月4日(金)	13:15～ 14:45	12	24,000
15	学びなおす英語 - 上級程度 -	岡田 俊恵 (桐蔭横浜大学教授)	9月18日(金) ～12月4日(金)	15:00～ 16:30	12	24,000
16	Focus on Communication - はじめての英会話 -	エリザベス・小野寺 (桐蔭横浜大学講師)	9月17日(木) ～11月19日(木)	13:30～ 15:00	10	20,000
17	English is fun! - 初級英会話 A -	ジェフリー・シンハ (桐蔭学園講師)	9月14日(月) ～12月7日(月)	13:30～ 15:00	10	20,000
18	Develop your Word and Speech Powers! - 初級英会話 B -	エリザベス・小野寺 (桐蔭横浜大学講師)	9月16日(水) ～12月2日(水)	14:00～ 15:30	10	20,000
19	Talk It Over - 初・中級英会話 -	ロバート・カトレット (拓殖大学講師)	9月28日(月) ～12月14日(月)	10:30～ 12:00	10	20,000
20	You Can Do it in English! - 中級英会話 -	ジェームズ・グラジアニ (桐蔭学園講師)	9月17日(木) ～11月19日(木)	14:30～ 16:00	10	20,000
21	Advanced English Conversation - 上級英会話 -	エリザベス・小野寺 (桐蔭横浜大学講師)	9月17日(木) ～11月19日(木)	10:30～ 12:00	10	20,000
22	たのしいビデオ教室 - 10倍楽しむホームビデオの撮影と編集 -	赤塚 直史 (デジタルクリエイター)	9月25日(金) ～11月27日(金)	10:30～ 12:00	10	25,000
23	初めての写真講座(一眼レフ入門)	玄 一生 (写真家)	9月15日(火) ～12月8日(火)	10:30～ 12:00	11	27,500
24	楽しい写真講座	玄 一生 (写真家)	9月15日(火) ～12月8日(火)	13:30～ 15:00	11	27,500
25	はじめてのフルートアンサンブル	遠藤 まり (昭和音楽大学附属音楽教室講師)	9月25日(金) ～12月11日(金)	14:00～ 15:30	10	25,000
26	たのしいフルートアンサンブル (火曜クラス)	遠藤 まり (昭和音楽大学附属音楽教室講師)	9月29日(火) ～12月8日(火)	10:30～ 12:00	10	25,000
27	たのしいフルートアンサンブル (金曜クラス)	遠藤 まり (昭和音楽大学附属音楽教室講師)	9月25日(金) ～12月11日(金)	10:30～ 12:00	10	25,000
28	楽しい絵画教室	今村 昭寛 (洋画家 一創会運営委員)	9月17日(木) ～12月3日(木)	10:30～ 12:00	12	26,000

2009年度 第Ⅲ期  
桐蔭生涯学習センター講座一覧表

講座番号	講座名	講師	講義日	時間	回数	受講料
01	現代と宗教	八木 誠一 (元桐蔭横浜大学教授)	1月14日(木) ～3月11日(木)	10:30～ 12:00	8	16,000
02	イエスと現代	八木 誠一 (元桐蔭横浜大学教授)	1月14日(木) ～3月11日(木)	13:30～ 15:00	8	16,000
03	短歌 実作の楽しみ	宇都宮 とよ (歌誌「心の花」選歌委員)	2月2日(火) ～3月9日(火)	13:30～ 15:00	6	12,000
04	続日本紀を読む(4)	寺田 恵子 (湘南短期大学教授)	3月 4日(木)5日(金)8日(月)	10:30～12:00 13:30～15:00	6	12,000
05	現代史考(2) - 両大戦史 -	赤堀 景章 (桐蔭横浜大学名誉教授)	1月15日(金) ～3月5日(金)	13:00～ 14:30	8	16,000
06	朗読基礎コース	鈴木 正導 (元NHKアナウンサー)	1月14日(木) ～3月11日(木)	10:30～ 12:00	8	20,000
07	朗読を楽しむ	鈴木 正導 (元NHKアナウンサー)	1月14日(木) ～3月11日(木)	13:30～ 15:00	8	16,000
08	基礎スペイン語講座⑥ - 文化と共に学ぶ -	高橋 悦子 (日本ペルー共生協会副会長)	1月13日(水) ～2月17日(水)	10:30～ 12:00	6	12,000
09	入門・初級中国語会話	曾 雪 (中国語講師)	1月13日(水) ～2月24日(水)	14:15～ 15:45	7	17,500
10	中級中国語会話	曾 雪 (中国語講師)	1月13日(水) ～2月24日(水)	12:30～ 14:00	7	14,000
11	上級中国語会話	曾 雪 (中国語講師)	1月13日(水) ～2月24日(水)	10:30～ 12:00	7	17,500
12	Let's challenge TOEIC® - 少人数 TOEIC®チャレンジ講座 -	勝田 友子 (英会話学校講師)	1月13日(水) ～3月3日(水)	13:30～ 15:00	8	16,000
13	楽しくBasic 英会話	勝田 友子 (英会話学校講師)	1月13日(水) ～3月3日(水)	10:30～ 12:00	8	16,000
14	学びなおす英語 - 中級程度 -	岡田 俊恵 (桐蔭横浜大学教授)	1月15日(金) ～3月5日(金)	13:15～ 14:45	8	16,000
15	学びなおす英語 - 上級程度 -	岡田 俊恵 (桐蔭横浜大学教授)	1月15日(金) ～3月5日(金)	15:00～ 16:30	8	16,000
16	Focus on Communication - はじめての英会話 -	エリザベス・小野寺 (桐蔭横浜大学講師)	1月14日(木) ～3月11日(木)	13:30～ 15:00	8	16,000
17	English is fun! - 初級英会話 A -	ジェフリー・シンハ (桐蔭学園講師)	1月18日(月) ～3月8日(月)	13:30～ 15:00	8	16,000
18	Develop your Word and Speech Powers! - 初級英会話 B -	エリザベス・小野寺 (桐蔭横浜大学講師)	1月13日(水) ～3月3日(水)	14:00～ 15:30	8	16,000
19	Talk It Over - 初中級英会話 -	ロバート・カトレット (拓殖大学講師)	1月18日(月) ～3月8日(月)	10:30～ 12:00	8	16,000
20	You Can Do it in English! - 中級英会話 -	ジェームズ・グラジアニ (桐蔭学園講師)	1月14日(木) ～3月11日(木)	14:30～ 16:00	8	16,000
21	Advanced English Conversation - 上級英会話 -	エリザベス・小野寺 (桐蔭横浜大学講師)	1月14日(木) ～3月11日(木)	10:30～ 12:00	8	16,000
22	作品として創るビデオ編集教室 - 10倍楽しむホームビデオの撮影と編集 -	赤塚 直史 (デジタルクリエイター)	1月22日(金) ～2月26日(金)	10:30～ 12:00	6	15,000
23	初めての写真講座(一眼レフ入門)	玄 一生 (写真家)	1月19日(火) ～3月9日(火)	10:30～ 12:00	8	20,000
24	楽しい写真講座	玄 一生 (写真家)	1月19日(火) ～3月9日(火)	13:30～ 15:00	8	20,000
25	はじめてのフルートアンサンブル	遠藤 まり (昭和音楽大学附属音楽教室講師)	1月22日(金) ～3月12日(金)	14:00～ 15:30	8	20,000
26	たのしいフルートアンサンブル (火曜クラス)	遠藤 まり (昭和音楽大学附属音楽教室講師)	1月19日(火) ～3月9日(火)	10:30～ 12:00	8	20,000
27	たのしいフルートアンサンブル (金曜クラス)	遠藤 まり (昭和音楽大学附属音楽教室講師)	1月22日(金) ～3月12日(金)	10:30～ 12:00	8	20,000